

第五十九回帝國議會
衆議院

米穀法中改正法律案外一件委員會會議錄(速)第十三回

付託議案
米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正
法律案(政府提出)

會議

昭和六年二月二十八日(土曜日)午前十
時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事 關矢 孫一君

理事 風見 章君

理事 東郷 實君

理事 胎中楠右衛門君

北浦圭太郎君 高橋壽太郎君

三好榮次郎君 村上 國吉君

宮澤 胤勇君 生方 大吉君

松田 正一君 田中 義達君

武知 勇記君 三田村甚三郎君

篠田 有德君 出井 兵吉君

片野 重脩君 東 武君

松山常次郎君 平井信四郎君

清家吉次郎君 石井 次郎君

同日委員岡野龍一君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ菅村太事君ヲ議長ニ於テ選定セ

リ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 井上準之助君

內務大臣 安達 謙藏君

農林大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

內務省地方局長 次田大三郎君

大藏政務次官 小川郷太郎君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林書記官 田淵 敬治君

拓務政務次官 小坂 順造君

拓務省殖産局長 殖田 俊吉君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左

ノ如シ

農林書記官 荷見 安君

農事試驗場技師 安藤廣太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律

案(政府提出)

○西村委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ

開キマス、清家君

○東郷委員 チョット材料問題ニ付テ

發言シタイト思ヒマス

○西村委員長 宜シウゴザイマス

○東郷委員 昨晚頂戴致シマシタ昭和

五年度農産收入減調デアリマスガ、此

間私達ガ要求致シマシタノハ收入減ト

同時ニ此支出ノ方ノ減モ御願シテ置キ

マシタ、何カ極ク大略デ宜イノデスガ

御推定下サル可能性ハゴザイマセヌカ

○石黒政府委員 昨日ノ御請求ハ私チ

ヨット席ニ居リマセヌデシタケレドモ、

貴族院ノ方ニ出シタモノガアルカラ、

ソレヲト云フ御話デアッタヤウニ思ヒ

マシタノデ刷リマシタ同ジ物ヲ、取敢

ヘズ差出シタノデゴザイマス、ソレデ

今ノ御話ノ、支出ノ減ノ方ノコトヲ考

ヘテト云フ御希望モゴザイマスカモ知

レマセヌガ、是ハドウモ計算ガ困難ノ

ヤウニ思ヒマス、頻リニヤッテ見テ居リ

マスケレドモ、一寸見當ガ付キ兼ねテ

居ルノデアリマス

○東郷委員 過般御願致シタノハ收支

ヲ突合セテ、大體ヲ知リタイト云フ意

味デ御願致シテ置イタノデスカラ、今

御調査下サル途中デアルト云フナラ

バ、成ベク一ツ御調査下サイマシテ、

大體デモ宜シウゴザイマスカラ御示ヲ

願ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一

ツ私昨晚頂戴シタ御調デ疑ガアリマス

カラ一寸御尋シテ置キマスガ、昨年ノ

十二月ノ幾日デシタカ、農林省カラ主

要農産物十八品目ニ對シテ市價低落ノ

模様ガ分ルヤウナ調査ヲ御發表ニナッ

タト思ヒマス、ソレト今度ノ此減少歩

合ヲ比較シテ見ルト大分違フヤウデス

ガ、私今十二月御發表ニナッタ表ヲ持チ

マセヌカラ、ハッキリハ分リマセヌケレ

ドモ、サウ云フヤウナ氣分ガ致シマス、

其十二月ニ御發表ニナッタモノヲ此委

員會ニ一ツ御出シテ願ヒタイト思ヒマ

スガ、サウ云フ事ガアッタノデゴザイマ

セウカ

○石黒政府委員 私十二月ニドウ云フ

モノニ付テ出シマシタカ、一寸只今記

憶ニゴザイマセヌガ、或ハ農務局ノ課

長ガ計算ヲ致シマシテ、一個ノ意見ト

シテ出シタノガ新聞ニ出テ居タト云フ

話ヲ聞イテ居リマス、ソレデアリマセ

ヌカト存ジマスガ、能ク取調ベマス

○東郷委員 御調ノ上ニ一ツ御願致シ

マス、ソレカラモウ一ツ委員長ニ御願

致シマスガ、此委員會ノ速記録ガ私達

ノ手許ニハ二十三日迄シカ參ッテ居リ

マセヌ、ソコデ色々審議ノ上ニ不都合

ヲ感ジマスカラ、之ヲ急イデ出來タモ

ノハ私達ノ手ニ渡ルヤウニ御盡力ヲ願

ヒマス

○西村委員長 承知致シマシテゴザイ

マス、實ハ昨日モ催促致シテ置キマシ

タ

○清家委員 段々日モ經テ居ルコトデ

アリマスシ、且ツ東郷君其他カラ微ニ

入り細ヲ穿ッテノ質問ガアッタコトデア

リマス、成ベク簡單ニ致シタイト思ヒ

マス、ケレドモ私ノ農林省ノ關係ニ付

キマシテ、先づ大體カラ伺ッテ置キタイ
ト思フノデアリマス、農林省ヲ初メト
シテ其管下ニ居リマス府縣ノ勸業ニ至
リマスルマデ、生産ノ方ノ獎勵ハ絶エ
ズ怠ラズニヤッテ居ラレマスケレドモ、
販賣方面ニハ大抵無關心デアリマシ
テ、農作物ニ致シマシテモ副業ニ致シ
マシテモ、折角ノ生産品ガ忽チニシテ
生産過剰ト相成ッテ損失ヲ被ムル、是ガ
殆ド毎度ノ事デアリマス、丁度私共ノ
子供ノ頃、維新直後ニマダ肉食ガ盛ニ
ナラヌ頃ニ、士族離散ノ爲ニ豚ヲ飼ハ
シタ事ガアリマシタガ、家々ニ飼育致
シマシテ繁殖ヲ致シマシタ、サア今日
ハ幾ラ儲ケタト云フ喜ビハ忽チニシテ
悲ミニナリマシタ、肉食ガ一向行ハレ
ヌノデアリマスカラ、生肉トシテハ勿
論「ハム」「ベーコン」ノ製造モアリマセ
ス、遂ニ飼料ダケヲ損ヲ致シマシテ、
野原ニ放リ出シ、豚ハ共食ヒラシタト
云フ事ガアリマスガ、販路ノ無イ品物
ヲ作ラセル時ニハ總テ斯ウナルノガ當
然デアリマス、米ノ問題ノ如キモ、是
ハ日本人ノ常食ト致シマシテ、日本人
ノ一番嗜好ニ適スルモノデアアル、日本
人以外ニハ殆ド用ヒナイモノデアリマ
ス、内地用トシテノミニ有要ノ品物デ
アリマス、世界的食物デアリマセヌカ
ラ、殊ニ始末ニ困ル、實ニ「デリケー
ト」ナ問題ト相成ッテ居ルノデアリマ
ス、米ノ産出ノナイ處デモ食ッテ行ク米
ダケハアリマスケレドモ、併ナガラ日
本米ガ、今日或ル論者ニ於テ唱へ、又
農林省ガ試ミテ居ルヤウニ海外ニ出シ
得ルモノデアアルカト云フニ、價格ノ點
ニ於テ到底問題ニナラヌト思フノデア
リマス、西南戰爭以後、明治二十二年
ノ大不作ヲ致シマスマデ、米價ガ非常
ニ安クアリマシテ、一俵一圓二十錢、
結局三圓ヲ絶頂ト致シマシテ、三圓以
上ニ頭ヲ出スコトガ出來ナカッタ、其頃
ニ於キマシテハ盛ニ輸出ヲセラレタモ
ノデアリマスケレドモ、日清戰役以後
生活ノ向上ニ連レマシテ米食ガ普及ヲ
致シマシタ、即チ米ノ需要ガ著シク増
シ、隨テ價格ガ高クナリマシタ以後ト
云フモノハ、日本米ハ殆ド外國ニ出ナ
イコトニナリマシタ、布哇ノ如キ十幾
萬ノ同胞ガ居リマシテ、五十六萬俵ノ
米ヲ消費スルノデアリマスケレドモ、
殆ド一石ノ米モ行カスト謂ッテ宜イ、悉
ク「サクラメント」産ノ所謂加洲米ヲ
使ッテ居ルヤウナ状態ニナッテ居リマ
ス、近來人口ノ増加ニ驚イテ、或ハ産
兒制限トカ云フコトガ高調セラレ、食
糧問題ガヤカマシク言ハレマスケレド
モ、是ハ實ハ真相ヲ知ラナイ私ハ議論
ダト考ヘテ居ルノデアリマス、子供ガ
殖エテ行クト云フコトハ國家ノ繁榮ヲ
增長スルモノデアリマシテ、兎角國力
ノ隆昌ヲ圖リマスニハ悉ク金錢ヲ以テ
計算ヲ致シマスケレドモ、人間ノ數ヲ
以テ計算スル方ガモット的確デアリマ
ス
所ガ何ニ驚イタカ食糧ガ不足スル、
隨テ人口ヲ制限シナケレバナラヌト云
フ議論ガ起ッテ、政府デサヘモ食糧人口
ノ調査會ヲ設ケラレタヤウナ次第デア
リマス、私共ハ怪シカラヌコトニ考ヘ
ルノデアリマス、米ガ年々四五百萬石輸
入セラレルノニ驚イタノカモ知レマセ
ヌガ、日本内地ニ於テ日本ノ需要ヲ滿
ス位ノ米ヲ作ルコトハ容易ナ事デアリ
マス、昨年ノ産額ニ付テモ私共大ナル
疑ヲ持ッテ居リマス、私共ハ子供ノ中カ
ラ米ヲ食ッテ、米ヲ作ッテ居リマスカラ、
一目見タラ此田ニハ何石生産スルカト
云フコトハ直グ様分ル、去年ノ米ガ一
段歩二石六升トハ何人ガ考ヘテモ分ラ
ナイコトデアアル、六千六百萬石ヲ作ッ
タト云フケレドモ、私共非常ニ疑フモ
ノデアリマス、其數量ハモット大キイモ
ノト心得テ居ルノデアリマスガ、一體
米ノ問題ヲ解決スル基調トナルベキ、
其統計ヲ確實ニスルコト云フコトハ如何
デアリマスカ、農林省ハ二三年前ニ確
實ナル統計ヲ徵セラレタコトガアリマ
ス、併ナガラ是モ本當ノ數字ハ出マセ
ヌ、昨年ニ比ベテ當年ハ一割良イカ五
分良イカト云フヤウナコトデ見て居リ
マシテ、坪刈デモ致シマシテ精密ニ報
告ヲ致スト云フ處ハ殆ドナイノデアリ
マスガ、之ニ付テハ如何ヤウニシテ精
密ナル數字ヲ得ヨウトセラレルノデア
ルカト云フコトガ一ツデアリマス、時
間ガアリマセヌカラ二ツ三ツ續ケテ御
尋致シマス、ソレデ作ラウトスルナラ
バ明治三十年前後ニ於キマシテ既ニ多
收獲ノ獎勵ヲ致シマシタ頃ニ私ノ縣ニ
於キマシテ日本デ初メテ六石幾ラト云
フ「レコード」ヲ出シマシタ、次デ熊本
縣ニ於キマシテモ六石幾ラト云フ「レ
コード」ヲ出シタノデアリマス、今日
ニ於テハ八石ノ「レコード」ガ出テ居リ
マス譯デアリマス、若シ農業ノ技術ノ
全幅ノ力ヲ入レテヤリマシタナラバ、
今日ノ二倍即チ四石ノ收穫ハサウ不可
能ノコトデアリマセヌ、ケレドモ多收
獲ヲヤッテ見ルト云フト生産過剰ニナリ
マシテ價ガ暴落ヲ致シマス、ソコデ遂
ニ誰教ヘルトナシニ農民達モ茲ニ實驗
上、多收穫ヲシタナラバ損失ガ行ク、
故ニ農民トシテハ多收穫ヨリ多收益即
チ稍、不作ナルコトガ望マシイト云フ變
態ヲ生ジマシテ、前ハ豐年ダト云フト
躍リ狂ッテ喜ンダモノデアリマシタガ、
今ハ豐年飢饉トサヘ唱ヘルヤウナ状態
ニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ帝國
農會ハ四石以上作ルハ無用ナリト宣言
シテ居リマス、斯様ナ次第デアリマシ

テ皆作ラナイコトニ志スヤウニナリマシタガ、若シ天候ガ悪イ時ニ於キマシテ非常ナル不作ニ出會フタ時ニハ何トナサル御積リデアラウカ、恐ルベキ事ガ生ジハシナイカト思フ、即チ國際貸借ニ於キマシテモ大ナル輸入超過ヲ見テ金貨ノ流出モ非常ナル數量ダト思ヒマスガ、是ハドウシテ左様ナ傾向ヲ防ガウト云フ御考ヲ持ッテ居ラレルカ、餘リ問題ガ重ナリマシテモイケマセヌカラ一其點ヲ農林大臣ニ伺ッテ置キマス

○町田國務大臣 大體私カラ御答致シマス、長イ間ノ農業ノ御實驗カラ出マシタ御尋ト思ヒマス、色々初メニ御尋ガアリマシタガ、産兒制限等ノ問題ニ付キマシテハマダ私共左様ナ事ハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、是ハ實際問題トシテ現内閣ハ産兒制限ノ問題ハマダ考ヘテ居リマセヌ

第一ノ御尋ノ要領ハ米價對策ヲ立テマスニ付テ米ノ需給關係ヲ明ニシナケレバナラス、ソレニ付テハ先ヅ年々ノ統計ガ正確デナケレバ對策ガ立テ得ラレヌデハナイカト云フ御趣意デアリマシテ、至極御同感デアリマス、當局トシテハ常ニ米價對策ヲ講ズル前ニ其年ノ收穫ノ正確ナルコトヲ得ヨウト努メテ居リマス、實ハ今年モ内閣側ノ統計局ノ方カラモ、斯様ナ問題ヲ中心ト致

シマシテ相當ナ要求ヲ致セルコトニ私共努力致シマシタガ、甚ダ遺憾ナガラ多收穫ノコトニ對シテ今日以上ニ進ンダ統計ノ經費ヲ取ルコトガ出來ナカッタノハ甚ダ遺憾デアリマス

御承知ノ通り先年耕地ノ調査ハ費用ヲ取リマシテ、稍、今日デハ全國ノ耕地面積田畑等ノ數字ニ對スル大要ナドハ先ヅ一通リ出テ居リマスガ、如何ニモ稻ノ收穫ニ對スル統計ハ十分ハ參リマセヌ、申スマデモナク全國十二萬デアリマスカト記憶シテ居リマスガ、斯様ナ町村ノ部落ニ涉ッテ人ヲ依囑シテヤラシテ居ル其統計ヲ大體信ジテ參テ居リマスガ、此統計ガマダ精密ニ參ラヌノハ甚ダ遺憾デアリマス、今ノ經費ダケデヤッテ居リマスモノヲ、御話ノ通り、私共ノ立場ニ於テモ至極精密ナル統計ヲ基礎トシナケレバ米價對策ハ立テラレマセヌカラ、御意見ノ通り當局トシテハ努メテ近イ内ニ精確ナル統計ヲ得ル經費ノ要求ハ實現シタイト思ッテ居リマス

第二ハ御話ノ通り多收穫ニ依ッテ人口食糧問題ノ解決ヲ内地ダケデモ相當ノ點マデ參リタイト私モ思ッテ居リマス、先年大阪毎日新聞ガ此事ニ力ヲ盡シテ居リマス時ニ、前内閣時代モ左様デアリマスガ、私モ特ニ參リマシテ此獎勵ニ參加シテ居ル次第デアリマス、

農林省ノ方ニ於キマシテハ、此多收穫ノ獎勵ニ對シテハマダ自ラ出動スルマデノ譯ニハ、先年マデハ參ッテ居ラナカッタノデアリマスガ、昨年以來此處ニ居ル農事試驗場長モ、是ハ麥ノ方デアリマスガ、ヤハリ多收穫ノ方ニ對シテ間接ニ努力モ致シテ居ルデアリマス、唯私ノ聞キマス所デハ相當努力ヲスレバ多收ハ出來サウデアリマス、今御話ノ通り御縣デハ六石ガ始マリデ、次デ熊本ガアッテ、最近デハ島根縣カ鳥取縣デアリマシタカ八石マデ行ッテ、今農林省デ研究致シテ居リマスノハ、多收穫ト生産費ガ果シテ一致シテ行ケルカ否ヤ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、多收穫ノ割合ノ如ク生産費ヲ掛ケズシテ、多收穫ガ果シテ經濟的ニ出來ルカ否ヤト云フ問題ト、多收穫ヲ得ルニハ非常ナル日夜ノ努力ト氣候、主ニ風雨ノ關係ナドモ大變多イヤウデアリマスカラ、肥料ヲ多クヤッタガ爲ニ生ズル所ノ稻ノ強サガ、果シテ風雨ニ堪ヘルカ否ヤト云フコトノ方カラノ研究ヲ今致シテ居リマス、何レニ致シテモ、相當ナ分量ガソレニ依ッテ出來ルコト、思ヒマス、隨テ年々増ス所ノ人口ノ増加ニ伴フ食糧問題ニ對シテ、是ガ解決シ易クスル所ノ一ツノ要素トナラウト云フコトハアラウト考ヘテ居リマス、併シ反對ニ只今不作ノ時ニハドウスルカ

ト云フ御話デアリマスガ、御承知ノ通り從來ノ長イ經驗カラ申シマス、學術ノ進步、經營法ノ改善ニ依リマシテ、從來ノヤウナ不作ト云フモノハ長イ平均ニ依ッテ見マス、氣候ノ變化ニ依ッテ收穫ノ減ズル分量ハ、學術ノ進步、經營法ノ改善ニ依ッテ相當避得ラレルヤウニ次第ニ進ミツ、アルノデアリマスガ、併シ萬一是デモ凶作デアアル、朝鮮、臺灣、内地ヲ合セテマダ足リナイト云フヤウナ不作ガ生ジマシタ時ニハ、已ムヲ得ズ一時外國米ヲ買入レテ、御話ノ通り是ガ爲ニ國際貸借ノ上ニ多少ノ不利益ヲ來ス場合ガアリマセウガ、生活ノ必要ノ上カラ已ムヲ得ヌトシマシテ、餘ル時ニハ出來ルダケ海外ニヤル、二十二年ノ不作ノ時デサヘモ相當外國ニモ出テ居リ、又外國カラモ入ッテ來ズニ參ッテ居リマス、此事情ハ人口ノ増加ニ依ッテ變ッテ來テ居リマスカラ、豐作ノ場合ニ處スル對策ヲ講ズルト共ニ、不作ノ場合ニ於テ生活ノ安全ヲ脅スト云フ場合ニ對シテハ當局トシテ兩方面カラ出來ルダケノ對策ヲ講ズル次第デアリマス、ドウゾ其邊デ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○清家委員 私ハ統計ヲ確實ニスル爲ニ國家ガモウ少シ金ヲ使フノガ本當デアラウト思ヒマス、總テノ事ヲ市町村ニ委セテ居ルガ、市町村ガ多額ノ費用

ヲ使フコトハ勿論不可能ノコトデアリマス、私ハ是ガ確實ナル統計ヲ得ナイ根源ニナルト思ヒマス、國務ノ大本ニ關スル調査デアリマスカラ農林省ハ金ヲ御出シニナツテ然ルベキモノト思ヒマス、今日市町村ト國家ノ關係ヲ見マスト國家ノ蟲ノ良サハ驚入ッタモノデアリマス、國勢調査ノ際デモ國家ハ僅カノ金ヲ出シテ皆市町村ニ委セル、平生デモ市町村自體ノ事務ト云フモノハ僅ナモノデアツテ、殆ド大部分ハ國家事務デアリマス、ソレニ對シテ何ノ償ヒモ致サナイ、僅ニ徵稅ニ對シテ手數料ヲ交付スルニ過ギナイ、斯ウ云フ譯デ餘リニ市町村ニ對シテ顧ルコトガ、少イト私ハ考ヘテ居リマス、恐ラク農林大臣モ私ニ同意デアラウト思ヒマスカラ、モット金ヲ使フコトヲ御勸告申上ゲテ置キマス

次ニ多收穫ノ場合ハ損失ヲスルト云フ傾向ニナツテ居ル際ニ、帝國農會モ四石以上ハ作ルナト勸メルヤウニナツテ來テ居ルガ、將來段々米ヲ作ラヌヤウニ進ンデ行ッタナラバ其對策ハドウスルカ、飢饉ノ時ニ外國米ヲ買フコトハ當然デアルガ、併シ能ク考ヘナイト玆ニ非常ナ間違ヲ生ズルト思ヒマス、一方工業ニ從事スル人々ガ、生産過剰ニナツテ價格ガ非常ニ低落致シタ時ニハ、所謂操短、休業ヲ致シマス、所ガ農民

ガ自分ノ作ッタ米ナリ繭ナリヲ相當ノ値段デ賣レナケレバ、工業家ニ倣ッテ作ルコトヲ差控ヘルコトガ出來ルト誰ガ保證シ得マスカ、此點ヲ私ハ聽イタノデアアル、不足ノ時ハ外國米輸入ヲ以テ補ヒ、ソレニ依ッテ、内地ノ食糧ヲ充タスト云フ御答デアリマシタケレドモ、其價格維持ニ對スル御考ハ如何、即チ一方カラ云ヘバ農業ヲ獎勵スル根本ノ對策ヲ御尋シタノデアルガ、ソレニ御答ガナカタ、モウ一應御願致シマス

○町田國務大臣

生産ノ方ニ相當努力シテ居ルガ、配給即チ生産者ガ消費者ニ、賣渡ス値ノ中ニ、出來ルダケ生産者ガ堪ヘ得ベキ利益ヲ含マシタイト云フコトニ對シテハ御同感デアリマス、豫算ノ取方ハ甚ダ少イノデアリマスカ、從來農會等ニ配給ノ爲ニ努力サセラル積リデ補助ヲシテ居リマスガ、今年ノ豫算ハ金額ハ少カッタノデアリマスケレドモ、從來御尋ノヤウナ心持ヲ持ッテ居リマスカラ農產物配給等ノ經費ヲ僅カバカリデアリマスガ取りマシテ、將來此方ニ努力スル心持ダケハ現シテ居ルノデアリマスカラ、御諒解ヲ得テ置キタイノデアリマス

ソレカラ只今ノ問題ハ大體ニ於テ御同感デアリマス、併シ根本的ノ問題ト致シマシテハ、豐作デアツテ、値ノ下ッ

タガ爲ニ農家ガ或ハ多少作り方ヲ減ラサウカト云フ考ガアルトノ御話デアリマシタガ、是ハ農家ノ機微ニ觸レタ御尋デアツテ、左様ナ事ハアリ得ルト思ヒマス、併ナガラ私共トシテハ出來ルダケ農業經營ニ改善ヲ加ヘテ、生産費ヲ安クシテ、農家ノ收益ヲ増スト云フヤウナ意味カラ、肥料ノ用方、品種ノ選方、其他ノ方法ヲ以テ生産費ヲ減ズル方ニ努メテ參リマシテ、人口増加ニ伴フ食糧ノ充實ニ向ッテモチット、手加減ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマスガ、收穫ヲ多クシナイト云フ意味ニハ私共考ヘテ居ラヌノデアリマス、大體主トシテ農產物ノ生産費ヲ節約シテ農家ノ收入ヲ幾分タリトモ増シタイト云フ意味ヲ以テ種々ナル根本的施設ヲシテ居ル次第デアリマス

○清家委員

只今ノ御趣旨ハ能ク分リマス、又私モ贊成デアリマス、併ナガラ生産費ヲ安クスルコトニ付キマシテハ、昨日モ質問應答ヲ重ネラレタ譯デアリマスガ、肥料問題ノ如キ、獨逸ニ於テハ三十八圓乃至四十圓デ出來得ベキ硫酸ガ、尙ホ日本デハ七十圓ノ最低生産費ヲ要スルト云フ狀態デアアルノデ、學術的研究ニ依ッテ是ガ低減ヲ圖レナイカト云フト、商工大臣ハ今頃ソナ事ヲ言ッテモ問ニ合ハナイト云フヤウナ御議論デハ、到底生産費ヲ安クス

ルコトハ出來ナイデハアリマセヌカ、斯ノ如ク同ジ閣僚ノ間ニ於テ間違ッタ意見ヲ持ッテ居ラレルコトハ甚ダ遺憾ト思ヒマス、常ニ閣議ニ於テモ嚴シク御話合ニナリマシテ、此誤謬ヲ吾々ガ言ハナクテモ、農林大臣カラ改メサスヤウニ御努力ヲ願ヒタイ、私ハ先月農林大臣官邸ニ於キマシテ一時間バカリ御邪魔ヲシテ、大藏大臣ガ居ラレナイカラ大藏大臣ニ其意ヲ傳ヘラレタイト云フコトヲ中上ゲテ置イタノデアリマスガ、サウ云フ點ハモ少シ元氣ヲ出シテ、取ッテ伏セル位ノ考デセラレルコトヲ希望致シマス

次ニ生産費ヲ減ズルコト、是ガ經濟

化スルコト、ハ別問題デアリマスケレドモ、既ニ多生産ノ見込ガ付イタト云フコトハ結構デアリマス、併シ命ノ爲ニハ農家モ代ヘラレナイ、即チ四石、六石ト云フ生産ガ出來ルコトガ證據立テラレタ以上ハ、吾々ノ食糧問題ハ九分九厘マデ解決サレタ、アトハ算盤ガ探レルカ探レスカノ問題デアアル、獨逸ニ於テハ一反歩十九石モ大麥ガ穫レル之ニ依ッテ見テモ人類ノ食糧ハ行詰ルモノデハナイト思フ、其點ニ付キマシテハ特ニ當局ニ於テ御指導願ヒタイト思ヒマスガ、一方現在ノ日本ノ米ハ海外輸出ニ適シナイノデアリマシテ、餘程世界中ノ嗜好ヲ旨ク導イテ行カナケ

レバ海外輸出ハ樂觀出來ナイ、是ハ質ヲ以テ爭フト云フコトニナルト此處ニ疑問ガアリマス、海外輸出ハ廢メタクナイト云フ農務局長ノ先日ノ御話モアリマシタ、私共モ廢メタクナイ、成ベク外國ニ賣出シタイノデアリマスガ、品質論カラ申シマシテ、日本米ノ特有ノ性質ハ既ニ失ハレテ居リマス、朝鮮米、臺灣米ノ改良ガ内地米ヨリモ更ニ美味ナリト云フニ至ッタコトデモ手近イ所デ立證シテ居リマスガ、其上ニ「カリフォルニア」ノ米ト云フモノハ、私共實ニ播州米ヨリ却テ旨クハナイカト云フ程ニ感ジテ居ルノデアリマス、サウ云フコトデ、如何ニ嗜好ヲ粘力ノ多イ、脂氣ノ多イ方ニ向ケルニ致シマシテモ考慮ノ中ニ置カナケレバナラス、而モ大抵一俵ニ付テ一圓以上ノ差額ヲ「カリフォルニア」米ト日本トニ持ッテ居ルノデアリマス、是ハ御參考マデニ申上ゲテ置キマス、中々容易デナイト思フ、ソコデ先日東君カラ朝鮮農業ノ經營ノ方法ガ米ニ偏シテ居ル、又其米ノ處分ニ付テノ御説ハ私共モ贊成デアリマスガドウシテ農林省ノ御方ナドハ、甚ダ失禮ナ言分ダケレドモ、モウ少シ目ガ御利キニナラスガラウカト思フ、先年私ハ北海道ヲズツ廻ッテ開拓使此方北海道ガ偏農業ノ政策ヲ執ッタコトハ誤リデアル、ヤハリ牧畜ト農業トヲ相兼ネズンバ北海道ノ立行キヨウハナイト直感シタモノデアリマスガ、近頃ニナリテ漸クソレガ實現シサウニナリマシテ、酪農ノ大ナル進歩ヲ認ムルノデアリマス、何ト云フモ外人マデ備ウテ來テ經營シテ、ア、云フ指導ノ方法ト云フモノハ農林省ノ方々トバカリ言ヘマセスガ、開拓使ノ人々モ今日ニ至リマスマデドウモ御目ガ御利キニクイヤウニ思ヒマス、是ハ皮肉デアリマスケレドモ、又同様ニ朝鮮ヘ私共參ッテ居リマシテ、大邱デスカノ農事試驗場ヘ參ッテ親シク觀ルト云フト、彼處デサヘモ裸麥ノ栽培ガ非常ニムヅカシイ、寒氣ガ強過ギル、隨テ北上致シマシテ平壤近邊ニ參リマスト冬作ハ殆ド無イト云フ、是ハ大變ダト思フ、西伯利亞サヘモ小麥及ビ大麥ハ盛ニ栽培セラレテ居ルノニ、朝鮮デ冬作ヲヤレスト云フコトハ何タルコトカト私ハ思フ、此點ニ付キマシテハ農林大臣モ同感デアル、今カラ朝鮮農業ハヤリ方ヲ變ヘルト仰シヤッテ居リマスカラ、私ハ追窮ハ致シマセスケレドモ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ非常ニ私ハ粗ナル點ガアルト思フ、少シ頭ノ働ク人ガ欲シイト思フノデアリマス

所ガ朝鮮ニ於ケル農業ノ一變ヲ企圖セラレルト同様、私ハ内地ニ於テモ考ヘザルヲ得ヌ、徳川鎖國三百年ノ間内地用ヲ足セバ宜イ、自給自足デ満足スレバ宜イト云フ世ノ中ハ兎ニ角デアリマスガ、今日ハ總テガ「インスターナショナル」ニ産業ヲシナケレバナラス、農作物ト雖モ世界ヲ目途スルノガ當リ前デアルト思ヒマス、然ルニ米ハ前述ノ如ク日本ニ限ッタモノデアアル、海外ニハ價格ノ關係カラ大ナル輸出ノ望ハナイトスルナラバ何トカ之ヲ考ヘナケレバナラス、第一ニ差向キ畑作及ビ田ノ返リ作ト致シマシテノ裸麥デアリマスガ、近年ハ價格ガ餘リ安イノデ作ッテモ引合ハナイト云フノデ、裸麥ノ耕作ハ衰ヘテ居リマス、ソレデハ私ノ説ガ當ラスカモ知レマセスガ、寧ロ小麥ニ一變サスト云フコトニシタナラバドウデアアルカ、小麥ハ年々八千萬圓、一億萬圓カラ買フ、日本デ出來ナイモノナラバ仕方ガナイガ、耕作可能ノ問題デアリマスカラ、小麥ヲ作ッテ、若シ米ガ一朝不作ノ時ニハ、若クハ平年作以下ノ時ニハ團子ナリ麵麴ナリニシテ米ノ不足ヲ補フヤウニシ、豊年ノ時分ニハ製粉ニシテ輸出スレバ宜イ、一體日本ノ農業ニ統制ナキノミナラズ、世界的ニ統制ノ無イ農業ノ狀態デアル、即チ加奈陀、北米合衆國、南米、亞爾然丁、濠洲ト云フヤウナ大量生産ノ處ニ於テ、實ニ始末ニ終ヘナイコトニナッテ居ルノハ御存知ノ通りデアリマシテ、一昨年ノ如キ加奈陀ガ四分五厘作、濠洲ガ五分作デスカ、ソレニ賣場ガナカッタ、實ニ困ッタノデアリマス、唯濠洲獨リ拔駟ヲヤッテ歐羅巴ニ「ダンペン」ヲヤッタ、所ガ目前ニ濠洲ノ小麥ガ投賣セラレテ加奈陀、合衆國、亞爾然丁ハ口アングリノ狀態デ居ル、斯様ナ工合ニ世界ノ食糧モ何等統制ガアリマセスカラ、ソレデ小麥ヲ作ッテ果シテ善イカ惡イカ知ラスケレドモ、兎ニ角輸入ヲ防グダケデモ大變ナ問題デアルト思フ、殊ニ農林省ハ數年來此點ニハ注意セラレマシテ、全國ニ六箇所カノ農事試驗場ニ委託サレテ、小麥ノ試驗ヲシテ居ル、初メ日本ノ小麥ハ硝子質ガ多クテ粘力ガ強クテ、麵麴ノ製造ニ甚ダ不向ダト言ハレテ居ッタガ、今日デハ「メンデル」ノ法則ガ採用セラレテ、如何様ニモ品質ノ改良ガ出來ル、其粉量ニ於キマシテモ、亦其性質ニ於キマシテモ、亞爾然丁ノ小麥ニモ劣ラナイモノガ既ニ出來テ居ル筈デアリマス、之ヲ一ツ御獎勵ニナッテ行カレルトコトガ、是ハ國際的ノモノデアルダケニ日本ノ農業ニ一進歩ヲ見ル譯デアリマスガ、此點ハドウ云フヤウニ爲サレテ居リマス、又試驗ダケガ農林省ノ能事デハアリマセス、如何ニシテ實行出來ルカト云フコトニ付テ御考ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 大變小麥ノ事情ヲ詳

御諒解ヲ願ヒタイ

○清家委員 其決心ヲ更ニ實行ニ御進

シク承ッテ、實ハ私モマダ知ラス海外ノ事ニ付テモ御引用デアリマシタガ、大體ニ於キマシテ、御承知ノ通り小麥ノ獎勵ト云フコトハ、御話ノ如ク世界的商品トシテ、日本ノ農產物トシテ、極メテ始末ノシ易イ性質ヲ持ッテ居ルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、先年小麥ノ關稅ヲ相當ニ高メマシテ衆議院ニ提出シマシタ所、衆議院デハ政府提出以上ニ幾分多ク小麥ノ關稅ヲ高メタト云フ事實ハ御承知ノ通りデアリマス、隨テ急デハアリマセヌガ、昨今ノ狀態デハ小麥ノ產額ハ漸次増加ノ趣ヲ呈シテ居ル實際ノ事情ニアルコトハ御承知ノコト、思ヒマス、又此處ニ偶然臨席シテ居リマス農事試驗場長モ從來ハ主トシテ米ノ品種ノ改良等ヲ主ニ研究サレ、獎勵サレテ居リマシタガ、昨今ハ小麥ノ獎勵ノコトニ付キマシテ、農事試驗場ヲ督勵シマシテヤッテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ御話ノ通り國際貸借ノ上カラ見マシテモ、若シ餘ッタ時ニハ外ニ出スト云フコトハ、日本ノ米ヲ出スヨリモ、小麥ノ方ノ關係デヤッタ方が至極宜イト思ヒマスカラ、御趣意ハ至極御同感デアリマシテ、今後ト雖モ一層小麥ノ獎勵ニ努力致ス決心ヲ持ッテ居リマス、小麥ノ獎勵ニ努力スル決心ヲ持ッテ居ルト云フコトニ

メヲ願ッテ置キマス、ソレカラ海外輸出ニ付キマシテモ、今一通リ申上ゲマシタケレドモ、一體農林省ノ方々ハ商賣ヲ御存ジデアアルカドウカト云フコトハ、是ハ私ガ問フ方が無理デアリマセウケレドモ、今回ノ米ノ輸出ニ付キマシテモ、第一ニ上海ニ御送込ニナッテ居ルガ、ドウ云フ御積リデ南清ノ米產地ニ米ヲ御輸出ニナリマシタカ、北清其他ノ米ノ出來ナイ處ニ御送りニナルノガ當然デハナカッタカ——併シ是ハ深ク問ヒマセヌ、遠慮セイト此間モ御話デアリマス、私モ遠慮シテ居ルノデアリマス、ダカラ深クハ問ヒマセヌガ、サウ云フ點モチット御留意ニナラヌト困ルト思フノデアリマスカラ、序ニ申上ゲル次第ナノデアリマスカラ、モウソレ以上申上ゲマスマイ、遠慮致シマセウケレドモ茲ニ一ツノ疑問ガ私ハ生ジテ居ルノハ、此間東君ガ御問ニナッタ米穀法ト海外輸出ノ關係デアリマス、時價ニ依ッテ賣買セラルベキモノガ、日本ノ時價ニ非ズシテ、東印度米ノ時價デ賣買セラル場所ガアル、勿論ソレヨリ高イノモアリマセウケレドモ、時價ト云フコトハ日本内地ノ時價デアアルベキモノデアアル、海外ノ時價ト云フ意味ハ、此米穀法制定ノ本來ノ趣意カラ

シテアラウ筈ガアリマセヌ、アナタ方ハ違法デナイト仰シヤルサウデアリマスケレドモ、私ハ違法ダ、少クトモ違法ニ近キモノデアアル、斯ウ思ッテ居ル、之ニ付キマシテハ海外輸出ヲ今後續ケテヤラウト御思ニナルナラバ、明瞭ニ法律ヲ御變ヘニナル必要ガアリマス、少クトモ東君ナリ私ナリハ、違法ダ、若クハ違法ニ近イト云フ頭ヲ以テ此議論ヲ致ス次第デアリマスカラ、或ル機會ニ左様ナ疑問ノ起ラナイヤウニ御取計ニナルノガ、當局大臣トシテ當然ナコトデアリマス、是ハ御忠言申上ゲテ置キマス、是モ議論ヲスレバ際限ガアリマセヌカラ私ハ避ケマス、大變私モ人ガ好イデセウ(笑聲)

是カラ愈、米穀法ノ本論ニ這入ッテ參リマスルガ、先ヅ米穀法ノ今回ノ改正ニ付キマシテモ、其當否ヲ檢討スル前ニ、大體今迄ノ米穀法ノ由來ニ付キマシテ一應考察スル必要ガアルト思ヒマス、私ハ田舎ノ一農民ト申シテモ宜シイ、何ト言ッテモ宜イ男デアリマスカラ、大正四年ノ總選舉ニ——即チ大隈内閣ノ時デアリマシテ、今ノ農林大臣ハ當時ノ憲政會ノ重要ナ位置ニ居ラレタト思ヒマスガ、米價ハ頻ニ下リマシテ、遂ニ一石十二圓ヲ割ルト云フ狀態ニナリマシタ、農民ハ公租公課モ拂フコトガ出來ナイ、仰イデ父母ヲ養ヒ、俯シテ妻子ヲ哺ムコトモ困難ニ相成リマシタ、ソコデ私ハ人ノ應援演說ヲシテ廻ッタルデアリマスカラ、到ル處ニ農政ト稅制ニ付キマシテ議論ヲ致シタコトデアリマシタ、總選舉ガ濟ミマシテ、丁度對支外交二十一箇條ニ付キマシテ國交斷絶ノ日——五月何日デアリマシタカ私ハ上京致シマシタ、其途中デ大阪カラ乘リマシタ中橋德五郎君、原嘉道君、頭本元貞君、ソレカラ國民黨ノ有森新吉ト云フ私ノ知ラヌ人ガ一人乘ッテ居リマシタ、ソレ等ノ人々ト丁度名古屋ニ著クマデ、米價論ニ付キマシテ、隨テ是等ノ救濟ノ爲ニ米穀法ヲ作ラナケレバナラスト云フコトヲ極論致シテ參ッタルデアリマス、東京著後モ政治上ノ重要ナ地位ニ居ル人々ニ、米穀法ヲ制定シナケレバナラス、而モ米穀法ハ如何ニ制定スベキカト云ヘバ、何ト云ッテモ今ノ西洋學問ヲシタ農學士ヤ、農學博士ヤ、法律ヲ學ンダリ、經濟ヲ學ンダリシタ連中ニハ米ノ問題ハ分ラナイ、維新以後ノ學問ヲシタ連中ニハ米ノ問題ハ分ラナイ、鎖國ノ三百年ノ間、豐年ナラバ米ヲ濫用シ、一朝凶作ニ遭ヘバ餓殍途ニ滿ツト云フ恐シイ事ヲ體驗シタ徳川時代ノ經世家ガ最モ切實ニ感ジ、又深ク研究ヲ致シタ、其研究ヲ致シタ結論ハ色々アルニシマシテモ、結局支那ノ常平倉ニ倣ッテ豐凶二作ヲ

平均スル調節スルト云フ事ニ外ナラヌ
ノデアリマス、私共左様ニ考ヘル、其
議論ヲ段々進メテ行ク内ニ、終ニ大正
六年ノ選舉トナリマシテ、其時モ私ハ
又東京ヘ出テ參リマシテ、時間ヲ惜マ
ズニ——丁度外國ヘ輸出ガ増シテ金ガ
ドン／＼流入シテ來ル此際ニ於テ農村
ヲ荒廢サセヌヤウニスルニハドウスル
カト云フナラバ、戰時中ニ國債ヲ募ル
ノ方法ヲ以テ政府ガ金ヲ借リルガ宜
イ、サウシテ之ヲ米穀問題ノ基金トシ
テ備ヘテ置クガ宜イ、此上ニ金ヲ國民
ニ儲ケサセレバ、小人壁ヲ懷イテ罪ア
リデ、著物モ拵ヘタ、サウ／＼澤山要
ルモノデナイ、家モ建替ヘタ、サウ／＼
建テル譯ニ行カヌ、次イデ來ルモノハ
何デアルカ、遂ニ相場ヲ弄ブトカ云フ
ヤウナ事ニナリハセヌカ、今ノ此ノ好
イ景氣ガ將來ニ恐ルベキ結果ヲ貽スノ
デアル、斯ウ云フ事ヲ私ハ到ル處ニ
勸告シタガ、遂ニ段々勸告ノ末ガ大正
十年ニ米穀法トナツテ現レマシタケレ
ドモ、私ノ望ンダ所ノモノトハ似テモ
似ツカヌ米穀法ニ相成リマシテ、今日
モ改正ノ必要ガアツテ御提案ニナルヤ
ウニナツテ居ルノデアリマス

價格ガ上ル時ニ外米ヲ輸入シテ、サウ
シテ上ル價格ヲ抑ヘタ效能ハ確ニア
タ、ケレドモ價格ノ下落スル時、何時
防イデ呉レマシタカ、今回ノ率勢米價
ナント云フモノガ何時下落ヲ防ギマシ
タカ、コンナモノガ何ニナルト思ッテ居
ラレルノデアルカ、昨年二十七圓シタ
米ガ、今日十七圓九十五錢第一回ハ
御買入ニナツタ、九圓幾ラノ相違ヲ生ジ
テ置イテ、是ガ暴騰暴落ニ備ヘル法律
トシテ何ノ申譯ガアリマスカ、何ヲ爲
シタカ、問題ニナラヌデヤアリマセヌ
カ、果シテ暴騰暴落ヲ防グ所ノ法律ノ
效力ヲ奏シテ居マスカ、私共ニハ判リ
モシナイ直線趨勢ニ最小自乘法ヲ用ヒ
タナント云フ事ヲ言ハレルガ、左様ナ
事ヲナサラスデモ宜イデヤナイカ、何
モ必要ガナイ、一體算盤政治程惡イ政
治ハナイ、總テ算盤ニ割出シテ政治ヲ
スルナラバ人間ノ政治ハ要ラス、算盤
政治ヲシタラ宜イデハナイカ、私共ハ
府縣會ニ二十年モ居ッテ常ニ之ヲ責メ
タ、自作農ノ創定ヲシタツテ金ヲ貸スニ
モ百町歩以上ノ小作地ノアル處デナケ
レバ金ヲ融通セヌ、事情ハチットモ顧ミ
ナイ、斯様ニ活勢ヲ顧ミナイノガ算盤
政治ダ、サウシテ活勢ヲ知ラナイ所ノ
其惡政ヲ又農林省ハ今日ヤラウト云フ
ノダカラ吾々ハ驚カザルヲ得ナイ、如
何ニ民政黨ノ人ト雖モ吾々ノ議論ニ反

對ハ出來ヌ、出來ルナラバヤツテ御覽ナ
サイ、ヤツタラ次ノ總選舉ニ一票モアリ
ハシナイ、ソレハ本當ダ、左様ナ事ノ
アラウ筈ハナイデハナイカ、其價格ガ
相當ノ維持ガ出來ナケレバ農村ハ立行
カナイ、農村ガ立行カナケレバ農村ノ
立行カナイ責任ヲ農林大臣ハ御持ニナ
ラナケレバナラヌ
私ハ英國ニ行ッテ英國ノ農業狀態ヲ
見テ何トモ言ヘナイ感ジヲ得タ、倫敦
カラ「グラスゴー」ニ至ル間、又「エヂン
バラ」カラ倫敦ニ歸ル間、實ニ茫々タル
草原デ、人家モ何モ無イデハナイカ、斯
様ナ狀態ニナツテ英國政府ハ頻リト農
業ノ復興ヲ獎勵スルケレドモ誰モ應ズ
ル者ハナイ、日本ノ農民ヲシテ自暴自
棄ニ陥ラシメタラ何トナルカ、暴騰暴
落ヲ防グ爲メ米穀法デアリナガラ二十
七圓ガ十七圓九十五錢ニナツテ、而モ漸
ク發動スルト云フコトニナリマシテド
ウスル、二十七圓ガ十七圓九十五錢ニ
ナツタラ暴落デハアリマセヌカ、暴落ノ
上ニ出動シテ暴落ヲ與ヘテ來タラ何ニ
ナリマスカ

一體現内閣ノ施政ノ方針ト云フモノ
ガ全ク誤リヲ重ネテ居リマス、金ノ解
禁ヲ致スノニモ金解禁ノ準備ヲ爲サナ
ケレバナラヌ、大藏大臣ハ準備ハシタ
ンダ、所謂緊縮政策、節約ノ宣傳等ヲ
以テ準備ノ如ク言ハレルケレドモ、左
様ナ事ハ準備デモ何デモナイ、第一ノ
準備ハ爲替相場ダケデモ一割三分下ル
ノダカラ、隨テ負擔ヲ一割三分ハ下ゲ
テ置カナケレバナラヌ、況ヤ政策上總
テノ仕事ヲ廢メテシマツテ、失業者ヲ
造ッテ、勞銀ヲ低クシ、仕事ヲ無クシ、
物價ヲ下ゲタカラシテ、實ハ農林大臣
ノ謂フ所ニ依ッテサヘモ二割五分ハ物
價ガ下ツテ居ルデハナイカ、實際ソレト
言ハヌケレドモ——サウナレバ二割八
分ノ負擔ハ輕減セラレテ居ナケレバナ
ラヌノデアルガ、何處ニ負擔ガ輕減セ
ラレテ居ルカ、元ノ通りデハナイカ、收
入ヲ少クサシテ、サウシテ負擔ハ以前
ノ如シト云フコトデドウシテ立行キマ
スカ、況ヤ二十七圓ノ米ガ十七圓九十
五錢ニナツテ何デ立行キマスカ、此點ガ
私共ハ根本ノ問題デ、總テ委員諸君ハ
一致セラレルコト、思フノデアリマス
ガ、斯ウ云フ發動ノ法ハナイト思ハレ
ルデアラウト思フ
又基準何カヲ御作リニナラヌデモ宜
イデハアリマセヌカ、家計表ガ出來ヌカ
ラト仰シヤルケレドモ、大正十五年デ
スカ、内閣統計局カラ家計表ハ出シテ
居ルデハナイカ、間違ッテ居ッテモ宜イ
デハナイカ、厘錢モマデ正確ニ合ハヌ
デモ宜イデハナイカ、國家ハ大物デス
ヨ、小サイモノヲ御取扱ニナツテ、算盤
カラ割出シタ厘錢モマデハ要リマセヌ

ヨ、大局ニ目ヲ著ケテサウシテヤッタ間違ハナイ、今度ノヤウナ高等數學ナドヲ用ヒルカラ、玆ニ大キナ間違ヲ今日生ジテ居ルデハナイカ

ソレデ農林大臣、アナタハ先日モ物價指數ニ對シテ其十七圓九十五錢モ尙ホ二割方ハ高イノダ、故ニ米ヲ消費スル所ノ人々ハソレダケ無理ヲ忍ブコトニナルガ、生産者ハ二割ダケ利益ヲスルンダト云フコトヲ仰シヤッテ居ル、ソレハ本氣デ言ハレタコトデアリマスガ、私ハ一寸此處デ御答シテ置キマスガ、今度ノ所謂失業救済ニ依リマシテ、人ヲ使フト云フコトヲ唱ヘテ居ラレルガ、費用ヲ一體何ボト計算シテ居ラレマスカ、政府委員デモ、誰デモ宜シウゴザイマス、一寸ソレヲ聽イタ後デナケレバ、私ノ議論ヲ進メラレナイカラ、一時質問ヲ打切ッテ之ヲ先ヅ御答致シマス

○石黒政府委員 失業救済ノ爲ノ事業ニ雇入レル勞賃ノ計算ハ私ハ確實ニ承知致シテ居リマセヌ、必要ガゴザイマシタラ一ツ……

○清家委員 必要ドコロデハナイ、私ノ議論ヲ進メルノニドウシテモ必要デアル、ソナ事ガアルモノカ(所管ガ違フデハナイカ)ト呼フ者アリ(所管ガ違ヒハシナイ、政府ノ總掛リノ仕事デハナイカ

○町田國務大臣 今ノ御質問モ無論御尤デアリマス、ソレカラ七千萬圓ヲ出シマシタノハ、主トシテ失業救済並ニ農村振興ノ意味ヲ以テ、名前ハ失業救済ヲ中心シテ居リマスケレドモ、農村救済ノ意味モ這入ッテ居リマス、而シテ先日モ慥カ此席デアルト思ヒマスガ御答シタ所ノ、此七千萬圓ノ七割五分ト申シマシタカ、兎モ角低利資金七千萬圓ノ七八割ハ主ニ勞銀ニ拂フノダ、而シテ其拂ッタ爲ニ三千百萬ノ延人員ノ失業者ヲ救済スル、之ヲ半ケ年ト計算スルト、十九萬ノ人間ヲ毎日雇ッテ行クコトガ出來ル、其計算ノ基礎ハ七八割ト云フ勞賃ヲ基礎トシタコトハ申スマデモアリマセヌ、細カイ事ハ知リマセヌガ大體其當時各局ニ互ッテ聽キマシタノハ、其當時ノ普通ノ勞銀ヲ基礎トシテ三千百萬人ト云フ數字モ出マシタ、七千萬圓ノ七八割ハ勞銀ニ拂フベキ數字ガ出マシタ、其基礎數字ハ各地方マデ細カニ參ッテ居ルカ知リマセヌガ、大體ニ於テハ普通ノ勞銀ガ拂ヘルモノト云フ計算デ出タノデアリマシタ

ソレカラモウ一ツ一寸私ノ申上ゲヤウガ惡カッタカモ知レマセヌガ、二割上ッテソレダケ生産者ガ利益スル場合ガアルト云フ御話ハ、斯様ナ場合ニ申シタコトヲ私ハ記憶シテ居リマス、率勢米價ヲ中心ニ上値二割、下値二割、

下値二割ノ時ニ買フ時ニハ幾分カ生産者カラ見レバ不利益ナ感ジガ其處ニ生ズルノハ尤ダ、同時ニ率勢米價ヲ中心トシテ上値二割マデ政府ガ米ヲ賣ラナイト云フ場合ニハ、此際ハ消費者ガ不利益ナ地位ニ立ツヤウデアルガ、生産者ノ方ニハ相當利益ガアルト云フ意味ヲ申シタノハ、率勢米價ヲ中心トシテ上値二割マデ、政府ガ米ヲ賣ッテ米價ヲ安クスル政策ヲ執ラヌ其間ハ、消費者ノ方ニハ不利益デアアルガ、一方生産者ノ方ニハ利益デアアル、斯ウ云フヤウナ意味デ申シタノデアリマス

○清家委員 私ハ政府ノ計畫ニ於テ勞銀ガ一日幾ラト云フコトガ御分ニナラヌト云フヤウナコトデハドウモ困ルノデアリマス、併シ御分リニナラヌト云フノナラバ致方ガアリマセヌ、ケレドモ、私ノ縣デモ救済及ビ復舊工事ト云フヤウナ意味デ六十萬圓ノ溜池工事ノコトガ昨年ノ縣會ニ提出サレテ居ル、縣會ハ之ヲ否決致シマシタガ、縣ハ原案執行シタイト云フコトデ、知事ハ申請シタ事實ガアル、ソレノ平均ヲ見テモ一日一圓二十錢トアル、政府ノ方デ調ベラレル所モ是等ト餘リ遠カラザルモノト思ヒマスガ、細カイモノハ要リマセヌガ、大體ハ之ヲ御認メニナリマス

○町田國務大臣 ソレハ午後マデ御待チヲ願ヒマス、凡ソ三千百萬ノ延人員、竝ニ七千萬ノ七八割ハ平均ニ行クト云フ根柢ノ數字ガナケレバ出テ來マセヌカラ、午後マデ御控ヘテ願ヒマス

○清家委員 ケレドモ私ノ方ハ想像ハ出來マスガ、此議論ハ本當ニ本法ヲ論ジマス上ニ於キマシテ、私ガ質問スル上ニ於キマシテ、根幹トナル所ノ數字デアリマスカラ、然ラバモウ十二時モ近イカラ晝食ニ致シマシテ、午後質問ヲ繼續スルコトニ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○胎中委員 清家君ガ何レ午後モ質問スルト云フコトデアリマスカラ、此際時間モアリマセヌケレドモ、安藤博士モ今朝カラ見エテ居リマスカラ、出來ル限リ松山君トノ間ニ御話ヲ願フコトニ致シタイト思ヒマス

○西村委員長 ソレデハサウ云フコトニ致シマセウ松山君

○松山委員 安藤博士ノ非常ナル御努力ニ依リマシテ、先日私ノ御願ヒ致シテ置キマシタ曲線式ノ計算ヲ出シテ戴イタト云フコトニ付キマシテハ感謝ヲ致シマス、今カラ曲線式ト云フモノニ付テ、少シク直線式トノ比較ヲシテ、曲線式ノ主ナ要點ヲ此處デ述ベテ見タイト思フノデアリマス、是ハ外ノ方ニモ御諒解ヲ願フコトガ好都合デアルト思フノデアリマスガ、此曲線式ニ依リ

マスト、直線式ノ場合ハ趨勢値ガズウツト同ジ傾向ヲ以テ上テ行クモノガ、明治三十四年ノ初頃カラ下テ來ルノデアリマス、サウシテソレガ一番下ル所ガドレ位ニナルカト言ヘバ、是ハ安藤博士ノ御計算ニナリマシタ昭和六年度ノ率勢米價ヲ出スニ使フ趨勢値ノ「カーブ」デゴザイマス、ソレニ依リマスルト、明治四十三年七月頃ニ其「カーブ」ガ一番低イ所ニナッテ來ルノデアリマス、サウシテ之レカラ「カーブ」ガ上テ行クノデアリマスガ、明治三十四年ト同ジ位ノ之ガ高サニ上ル時ハ丁度大正十年デゴザイマス、ソレカラ此直線式ノモノト再ビ交又スル時ハ何時カト言ヘバ、大正十三年デゴザイマス、勿論是ハ各年度ノ率勢米價ヲ取ル場合ニハ、幾分變化ヲシテ來マセウガ、大體昭和六年度ノ率勢米價ヲ出ス其曲線カラ言ヘバ十三年デゴザイマス、即チ其十三年頃ヨリ以後ハ、直線式ノ場合ヨリモ曲線式ノ場合ノ方ガ率勢米價ノ値ハ高クナッテ來ル譯デアリマス、大體斯ウ云フ性質ヲ持ッテ居ル「カーブ」デゴザイマス、サウ云フコトデアリマスカラ、先日私ガ此直線式ハ困ル、ドウシテ困ルカト言ヘバ、其二ツノ點ヲ押ヘマシテ、大正七年頃ニ、若シ此米穀法ガ施行セラレテ居ッテモ、アノ七年度ノ米騒動ヲ抑ヘルコトガ出來ナカッタ

ト云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマス、此曲線式ニ依ルト、其米騒動ヲ抑ヘルコトガ出來ルコトニナルノデアリマス、即チ頂戴致シマシタ此表ヲ見マスト、大正七年度ニ於テ米穀法ノ發動致シマシタノガ、此曲線式ニ依ルト、三月カラ十一月マデノ間デゴザイマス、米騒動ハ七月ニ起ッテ、三月ニ既ニ米穀法ガ發動シテ、米ヲ賣出シテ居リマスカラ、若シ此曲線式ノ率勢米價ニ依リマスルト、アノ米騒動ヲ防グコトガ出來タノデアリマス、ソレカラモウ一ツ私ガ指摘致シマシタノハ、今日ノ米價デアリマス、今日ノ米價ガ此直線式ニ依ルト十八圓二十八錢ニナルマデ米穀法ガ發動シナイ、詰リ政府ハ買上テ呉レナイ、ソレデハ農民ガ耐マラヌト云フコトヲ申シマシタガ、此曲線式ニ依ルト、ソレガ十九圓七十三錢ト上テ來タノデアリマス、ソレダケ農民ノ

ニ付キマシテハ、尙ホ幾多ノ研究ヲ致シマセシケレバナリマセヌケレドモ、今日ハ時間ガアリマセヌカラ、先ヅ大體ニ於テ直線式ヨリモ曲線式ノ方ガ宜シイ、斯ウ私ハ自分デ判斷致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ次ニ私ノ話ヲ進メテ行キタイト思フノデアリマスガ、大體ソレダケノコトヲ前置キ致シマシテ、是カラ私ノ質問ヲ續ケテ行キタイト思フノデアリマス

○東郷委員 今ノニ關聯シテ一寸御尋シテ置キタイノデスガ、只今松山君モ御話ニナリマシタガ、私達ノ御願ヒシタ「バラボラ」式デ御計算下サレタモノト、直線式トヲ比較シテ、過去二十八年間ノ米價ヲ對照シテ見マス、中值ノ場合デモ、高値ノ場合デモ、低値ノ場合デモ、皆同ジデアリマス、直線式ニ比較シテ「バラボラ」式ニ依ルト過去二十八年ノ中高イ方ガ十九ヶ年、ソレカラ安ク出テ居ルノガ九ヶ年、斯ウ云フ事ニナッテ居ルヤウデアリマス、年度デ調ベマスレバ「サウスルト」之ヲ概括的ニ申シマスルト「バラボラ」式ニ依ッテ場合ハ直線式ニ依ッテ場合ヨリモ、政府ガ買ニ早ク出動シナケレバナラヌ年ガ十九ヶ年多イ譯デアリマス、ソレト同時ニ賣リニ遅ク出動シナケレバナラヌ年ガ、同ジク十九ヶ年、斯ウ云フ事ニナリマス、デスカラ早ク買上

ゲテ、サウシテ遅クマデ政府ガ賣ニ出動シナイト云フ年ガ、直線式ニ比較スレバ「バラボラ」式ハ二十八年間ノ中デ十九ヶ年多イコトニナリマスカラ、「バラボラ」式ハ直線式ニ比較シテ生産者ニ取ッテハ有利ニナッテ來タ、斯ウ云フ風ニ私達ハ解釋セザルヲ得ナイ、特ニ私ハ此間モ申シマシタガ、最近ガサウデス、最近大正九年以後ハ、僅ニ大正十一年ガ少シ「バラボラ」式ノ方ガ高イト云フコトニナッテ居リマス、ソレヲ除クト、大正九年カラ昭和六年マデズット「バラボラ」式ノ方ガ價格ガ好クナッテ居リマス、低値ノ場合ヲ比較シマシテモ「バラボラ」式ノ方ガ、値ノ好イコトガ、大正十二年ニ於テ二十四錢、大正十三年ニ於テ三十六錢、ソレカラ大正十四年ニ於テ三十一圓、大正十五年ノ方ガ二圓五錢、昭和二年ガ二圓七十四錢、昭和三年ガ三圓十四錢、昭和四年ガ二圓七十一錢、五年ニ於テ一圓九十四錢、六年ニ付テ、御算出ニナッテ居ル點ニ於テ一圓四十六錢、斯ウ云フ低値ノ場合ヲ比較シマシテモ非常ニ開キガアリマス、デスカラ直線式デ行クト云フト、生産者ハ必ズ非常ナ不利益ダ、斯ウ云フ數字ヲ私達ハ承知致シマスガ、サウ云フ結論ニナリマセウカ

○町田國務大臣 私ガ説明致シマス譯デハアリマセヌガ、松山サンノ今ノ初メ

第五類第五號 米穀法申改正法律案(政府提出)外一件委員會議錄 第十三回 昭和六年二月二十八日

九

ノ御尋ネカラ、更ニ進ンデ御意見ガ出ルヤウナ意味ニ受取リマシタガ、幸ヒ安藤博士ガ昨晚此表ヲ作ッタノデアリマスガ、此表ニ對シテハ、一切安藤博士ハ米穀法運用ニドチラガ利益ガアルカト云フ、此政策ニ關シマシタコトハ、安藤博士ノ御立場デ關係ナイガ、此表ヲ調ベタ色々ノ場合ガアルラシイカラ、一應此表ヲ作リマシタ説明ヲ願ッタル如何デゴザイマスカ

○松山委員 結構デゴザイマス、ドウゾ……

○安藤農事試験場技師 ソレデハ一應此表ヲ作リマシタコトニ付キマシテ御説明申上ゲタイト思ヒマス、昨日松山君カラノ御請求ニ依ッテ、此率勢米價ノ上二割、下二割ヲ割ッタ場合ノモノヲ調べト云フコトデアリマス、直線式ノヤツト同ジヤウナ計算ヲシテ吳レロト云フコトデアリマスノデ、昨日申シマシタ「バラボラ」式デ計算シマシタ米價率ノ趨勢値ニ、其前年ノ十一月ノ物價指數ヲ掛ケマシテ、サウシテ此三十三年ノ十月デスカ、基礎ニナッテ居リマスアノ十一圓八十一錢ヲ掛ケテ出シマシタ値段ガ、此率勢米價「バラボラ」式ニ依ルモノトノ中値ノ欄ガソレデゴザイマス、ソレカラ上二割下二割ト云フノハ、ソレカラシテ二割ヲ加ヘタモノト、二割ヲ引イタモノ、此中値ニ一・二

ヲ掛ケマシタノト、○八ヲ掛ケマシタモノガ、此上二割下二割トナッテ、各ノ値ヲ之ニ出シタノデアリマス、其次ニアリマスル上二割ヲ超エタル場合、下二割ヲ割リタル場合ハ、此數字ガ出マシタカラシテ、既ニ御手許ニ御配付ニナッテ居ルト思ヒマスガ、米穀要覽ニ依リマシテ、其前年ノ十二月カラ當年ノ十一月マデノ間ニ、此値段ニ上二割ハソレヨリ多イ月、下二割ハソレヨリ少ナイ月數ヲ掛ケマシタノガ此表デアリマス、ソレカラ尙ホ御參考ニナラウト思ヒマスルカラシテ、直線式ト「バラボラ」式トヲ比較シマシタノニ、中値ト高値ト、低値ト比較スル表ヲ、別ニ是モ昨晚作製シタンデス、是ハ厘ノ所ヲ四捨五入ヲ致シマシテ錢マデシカ出シテアリマセス、是ハ中値ト高値ト低値ト書イテ置キマシタガ、中値ノ方ハ前ノ表ノ中値デアリマスルシ、高値ノ計算ノ方ハ二割高、低値ノ計算ノ方ハ二割低イト云フヤウニ計算シタノデアリマス、尙ホ茲ニ説明シテ置キタイノハ、此實數ト書キマシタノハ、其前年ノ十二月カラシテ當年ノ十一月マデノ米價ノ平均價格デアリマス、是モ米穀要覽ニ依リマシテ、十二月カラ十一月マデ一々計算シテ居リマス、昨晚急ニヤラナケレバナラス譯デアリマスルカラシテ、此

中値ヲ出シマスニハ、米穀年度ノ前年ノ十一月カラ當年ノ十一月マデノ平均ノ數字ガ出テ居リマスルカラ、ソレニ十二ヲ掛ケマシテ、サウシテ前年ノ十一月ヲ除イテ、次ノ年ノ十一月ヲ加ヘルト云フ風ニシマシテ、前年ノ十二月カラ當年ノ十一月マデノ平均ニナルヤウナ計算ヲシタ數字デアリマス、ソレデアリマスルカラ、是ハ米穀要覽ノ米穀年度ノ實數トハ多少違ッテ居リマス、ソレカラ直線式ト「バラボラ」式ハ、直線式ハ農林省デ計算サレタ數字ニ依ッテ探ッタノデアリマス「バラボラ」式ハ、此別ノ表ニ勘定シマシタ數字ヲ其儘探ッタノデアリマス、ソレカラ高値モ低値モ、直線式「バラボラ」式ハ其數字デアリマスガ、實數ハ高値ノ場合ニ於テハ、前年ノ十二月カラ當年ノ十一月マデノ間デ、最高ヲ示シタ實數ヲ茲ニ出シテ置イタノデアリマス、ソレカラ低値ノ方ハ、ヤハリ同ジ期間ニ於テ最モ値段ノ安カッタ實數ヲ出シテ居ルノデアリマス、デスカラ高値ノ中デモ、是ヨリモ低イモノガ幾ラモアリ、又低値ノ方ニモ、是ヨリ高イ例ガアル、即チ最高最低ヲ茲ニ出シタモノト御承知願ヒタイト思フノデアリマス、大體作製シマシタコトニ付テノ御説明ヲ申上ゲテ置キマス

○松山委員 ソレデハ質問ヲ繼續シテ行キタイト思ヒマス……

○東郷委員 委員長、私ノ質問ニ對シテドナタモ御答ヘニナリマセスガ……

○西村委員長 松山サンノ前段ノ質問ト、アナタノハ、略似寄ッテ居ルノデハアリマセスカ

○東郷委員 關聯シテ居リマス……

○西村委員長 兎ニ角松山サンニ續ケテ貰ッタラドウデスカ

○東郷委員 私ノ申上ゲタコトニ付テ御説明願ヒタイ、默ッテ居ラレテハ困リマス、後カラデモ宜シウゴザイマスカラ御説明ヲ願ヒマス

○松山委員 ソレデ私ガ今質問致シマスコトハ政策ニ關係シテ來マスカラ、大臣ガ御答下サイマシテモ、或ハ政府委員ガ御答下サイマシテモ宜シウゴザイマスガ、是亦大分學理ニモ關係ガアリマスカラ、或ル場合ニハ安藤サンヲ煩ハシテモ、ドナタガ御答ナサッテモ宜シウゴザイマス

此米穀法第五條ニ最低價格ト最高價ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル事項ヲ基準トシ之ヲ定ムトアリマスガ、其事項ト云フノハ何カト云ヘバ、米穀生産費、家計費、米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依ッテ算出シタル價格、即チ此率勢價格、此三ツノモノニ米穀法ハナッテ居リマス、是ダケデハ詳シイコトガ分リマセスガ、ソレデハ

此三ツノモノヲドウ云フ風ニシテ定メ
ルカト云ヘバ、「率勢米價ノ説明」ト云
フ「パンフレット」ヲ下サツテアル、ソレ
ニ依リマス、最低價格ノ決定方法ハ、
米穀生産費ト、率勢米價ノ下値二割ニ
相當スル價格トノ間ニ於テ、適當ト認
ムル價格ヲ以テ最低價格トスト、斯ウ
書イテアリマス、適當ト認ムル價格ヲ
以テ最低價格トスト云フコトハ、ドウ
云フコトニシテ御定メニナルノデアリ
マス、即チ此二ツノ線ノ平均中值ヲ
大體探ルト云フヤウナ意味ニナリマス
カ、其點ヲ御説明ヲ願ヒタイノデアリ
マス

勢米價下二割ヨリモ上ニアルコトモ、
又下ニアルコトモアリ得ルト考ヘマス
ガ、兎モ角モ其間ニ於テ適當ナル所ニ
定メル、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマ
ス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、率勢
米價下二割ノ値段ト、ソレカラ生産費
トシテ出テ參リマシタ値段ト云フモノ
ノ間ニ於テ、農林省ガ適當ト考ヘル所
ヲ決メル、ソレヲ米穀委員會ガ十分ニ
審議ヲサレテ、ソコデ生キタル判斷ヲ
加ヘラレル、此間ニ於ケル決定ガ、農
林省ヨリ米穀委員會ノ自由ノ認定ニ委
サレテ居ル、斯ウ御考ヘ下サツテ宜シイ
カト思ヒマス

取引ノ自由ニ任シテ調節賣ニモ調節買
ニモ出ナイデ宜シイ値幅デアル、斯ウ
認メマシタ次第デアリマス
○松山委員 ソレデモウ一度先ノ質問
ニ返リマスガ、今申シマスル二割ト生
産費トノ間ハ、委員會ニ諮ツテ決メルノ
ダト云フコトデアリマスガ、其事情ニ
依ツテト云フノデアリマス、或ハ農
家生活ノ困難デアルトカ農家ノ生活ノ
状態、農村ノ困難ナ事情ヲ參酌ナサラウ
ト思ヒマスガ、ソレハ其事情ヲ參酌シ
テ動イテモ宜シイガ、大體生産費ト云
フ線ト、二割ノ線ト云フモノヲ同ジ程
度ニ重ク見テ、即チ外ニ何ニモナイ平
常ノ状態ヲ見テ、真中ヲ取ルト云フ意
味デアルカ、一方ヲ重ク見テ一方ヲ輕
ク見テ居ルノカ、其事ヲ御尋シタイノ
デアリマス

團ガ其處ニアルノデアリマス、ソレハ
當局者ガ責任ヲ以テ案ヲ立テマシテ、
米穀委員會ニ掛ケルノデアリマス、今
カラ想像ハ出來マセヌガ、主義トシテ
何方ニ重キヲ置クカト云フ建方ハ、一
寸困難デアルト思ヒマス、主義ト致シ
マシテハ、此二ツノ要素ニ輕重ガナイ
モノトスル建方デアリマス、併シ時ノ
經濟事情ニ依ツテ、農村ノ事情ニ依ツテ、
生産者ヲ出來ルダケ保護スルコトガ國
家ノ爲ニ利益デアリ、米穀對策ニ於テ
必要デアルトスレバ、率勢米價ヲ第二
ニシテ、生産費ニ近イ買入ヲ致ス場合
モアルト思ヒマス、ソレハ時ノ經濟事
情ニ依テ當局者ノ責任トシテヤル、從
來ヨリハ實ハ大體ノ基準ガ設ケテアリ
マスカラ、責任ノ範圍ガ幾分力減ツテ居
ル譯デアリマス、併シ其時ニ處シテ責
任ヲ執ルコトハ、當局者ガ立案シテ委
員會ニ掛ケル主義トシテ、ドチラガ重
イト云フコトハ、一寸私等ノ心持ハ、
日本全國ノ過半ヲ占メテ居ル農家ノ利
益ニ重キヲ置キタイト云フヤウナ感じ
ハ致シマス、事實左様ニ考ヘテ居リマ
スガ、建方トシテハ、ドウモ此二要素
ヲ何方ニ重キヲ置クカト云フコトハ、
主義論トシテ申シマスレバ輕重ガナイ
ト申スヨリ仕方ガアリマセヌ
○松山委員 ソコデゴザイマス、私ノ
御尋ネハ事情ニ依ツテ何方ニ向クカ分

○石黒政府委員 私前ニ申上ゲタト存
ジマスガ、ソレハ最高最低ノ基準價
格ヲ決定致シマス爲ノ米穀委員會ヲ十
二月ニ開キマス、サウシテ一米穀年度
全體ニ互ル基準ヲ決定致スノデアリマ
ス、其米穀委員會ニ提出ヲ致シマシ
テ、適當ニ決定ヲ致スノデアリマス、
ソレハ農林省ニ於テ案ヲ立テマシテ、
米穀委員會ノ委員諸君ノ十分ナル御審
議ニ依ツテ決定ヲ致スノデアリマスガ、
必ズ兩者ノ中值ト云フコトニハ考ヘテ
居リマセヌ、時ノ經濟上ノ事情ヲ參酌致
シマシテ、或ハ率勢米價一割ニ定メル
場合モアリマセウシ、或ハ生産費ヲ出
シマシタ其價格ニ近ク定メル場合モ
アラウト思ヒマス、而シテ生産費ガ率

○松山委員 二割ト云フ數字ハ何處カ
ラ來タノデアリマス、ソレヲ御説明
ヲ願ヒマス

○石黒政府委員 二割ノ値幅ハ、是モ
申シタト存ジマスガ、明治三十四年以
來ノ各米穀年度内ニ於キマスル平均米
價ト云フモノニ對シマシテ、其一米穀年
度内ニ於ケル最高米價ト最低米價トノ
開キヲ見マスルト、ソレハ長年ノ平均ニ
於キマシテ一割八分二厘何モト云フコ
トガ出マス、上ノ方ニモ一割八分二厘、
下ノ方ニモ一割八分二厘ト云フ風ニ出
マス、ソコデソレヲ二割ト見マシテ、
サウシテ其間ノ値幅ト云フモノハ、米
ノ取引ノ上ニ於テ年々アリ得ル平均ノ
動キデアル、斯ウ見マシテ、其間ハ米ノ

ノ經濟事情ニ依ツテ達觀スル裁量ノ範
圍ガ其處ニアルノデアリマス、ソレハ
當局者ガ責任ヲ以テ案ヲ立テマシテ、
米穀委員會ニ掛ケルノデアリマス、今
カラ想像ハ出來マセヌガ、主義トシテ
何方ニ重キヲ置クカト云フ建方ハ、一
寸困難デアルト思ヒマス、主義ト致シ
マシテハ、此二ツノ要素ニ輕重ガナイ
モノトスル建方デアリマス、併シ時ノ
經濟事情ニ依ツテ、農村ノ事情ニ依ツテ、
生産者ヲ出來ルダケ保護スルコトガ國
家ノ爲ニ利益デアリ、米穀對策ニ於テ
必要デアルトスレバ、率勢米價ヲ第二
ニシテ、生産費ニ近イ買入ヲ致ス場合
モアルト思ヒマス、ソレハ時ノ經濟事
情ニ依テ當局者ノ責任トシテヤル、從
來ヨリハ實ハ大體ノ基準ガ設ケテアリ
マスカラ、責任ノ範圍ガ幾分力減ツテ居
ル譯デアリマス、併シ其時ニ處シテ責
任ヲ執ルコトハ、當局者ガ立案シテ委
員會ニ掛ケル主義トシテ、ドチラガ重
イト云フコトハ、一寸私等ノ心持ハ、
日本全國ノ過半ヲ占メテ居ル農家ノ利
益ニ重キヲ置キタイト云フヤウナ感じ
ハ致シマス、事實左様ニ考ヘテ居リマ
スガ、建方トシテハ、ドウモ此二要素
ヲ何方ニ重キヲ置クカト云フコトハ、
主義論トシテ申シマスレバ輕重ガナイ
ト申スヨリ仕方ガアリマセヌ
○松山委員 ソコデゴザイマス、私ノ
御尋ネハ事情ニ依ツテ何方ニ向クカ分

ラスケレドモ、大體ニ於テ輕重ガナ、
所ガ私ノ考デハ、是ハ後デ此率勢米價
ト云フモノ、價值ヲ一般のニ批判ヲ致
シテ見タイト思ヒマスガ、此率勢米價
ナルモノハ、甚ダ頼リナイ數字ナンデ
ス、サウシテソレカラ二割ト云フ、其
二割ハ實ハ一割八分何ボデアリマス
カ、其二割ト云フモノハ腰ダメナンデ
ス、此極メテ頼リナイ二割ト云フ線ト、
今後十年モ掛カル——十年掛カルカ五
年掛カルカ二年掛カルカ分ラヌガ、政
府ガ非常ニ金ヲ掛ケテ、努力シテ調ベ
ル所ノ其生産費ト同ジ「ウエイト」ニ之
ヲ見ル、事情ニ依ッテ違ヒマセウケレ
ドモ、大體輕重ナシニ見ル、ソコニ私
ハ非常ニ大切ナ數字ト、サウシテホン
ノ目見當ニ見ル位ノモノト、同ジク輕
重ナシニ見ルト云フ所ニ、折角非常ナ
努力ヲシテ調上ゲタ其生産費ノ價值ト
云フモノガ目茶々々ニシテシマフ虞ガ
アルヤウニ思フノデゴザイマス、ソレデ
私等ノ考ハ、寧ロ本當ヲ言ヘバ、今言フ
買ノ發動スルノハ生産費ダ、賣ノ發動
スルノハ生活費ヲ出テ來タ米價ダト
云フヤウニ定メテ、ソレカラ今後此調
ベガ久シキ間掛カルノデアルカラ、ソ
レマデノ間ハ率勢米價ヲ定メテ、其上
二割、下二割ト云フコトデ、其處ヲサ
ウ云フヤウニ別ニシタ方ガ宜イデヤナ
イカ、大シテ價值ノナ、此率勢米價ニ

割ト云フモノヲ、非常ニ努力シテ掛ケ
タ所ノ生産費、家計費カラ出テ來タ米
價ト云フモノト、同ジク輕重ナシニ之
ヲ取扱フト云フ所ニ、此道方ニ非常ナ
缺陷ガアルノデハナイカ、斯ウ思フノ
デアリマス、當局ノ御意見ヲ伺ヒマス
○町田國務大臣 御意見トシテハ承ッ
テ置キマス、併シ先般來申シマス通り、
三十年間ノ日本ノ經濟狀態、經濟狀態
ト云フコトヲモウ少シ具體的ニ申セバ
一般物價指數、其經濟狀態ニ依ッテ動ク
所ノ一般物價ノ指數ニ對シテ、米價ニ相
當根據アル「ウエイト」ヲ加ヘタ其三十
數年間ノ統計ニ依ッテ得タ所ヲ——所
謂趨勢値ヲ見出シテ、率勢米價ナルモノ
ヲ此處デ作ルト云フコトハ、日本三十年
間ノ經濟上ノ實驗ニ基ク所ノ、相當大キ
ナ要素ト思ヒマス、ソレカラ松山君ノ御
話ノ通り、理論トシテハ、政府ガ米ヲ賣ル
時ニハ家計費、之ニ依ッテ一般労働者ヲ
併セタ人々ノ生活ヲ脅カスト云フ虞ガ
アル時ニ、國家ガ賣出ス、其生計費ヲ基
礎トスルト云フノハ、理論トシテハ正シ
イ一ツノ見方ニ相違ナイ、ソレカラ政府
ガ米ヲ買フト云フノハ、生産費ヲ割ッ
タ時ニ、生産者即チ日本ノ過半ノ人口ヲ
占メテ居ル大事ナル基礎産業ニ從事シ
テ居ル農家ノ利益ヲ擁護スル爲ニ、生
産費ニ依ルト云フノハ、理想トシテハ
一ツノ立派ナ見方デアリマス、吾々モ

斯様ニシタイ考ヲ持ッテ居リマスガ、先
頃カラ屢、申上ゲタ通り、諸テサウナ
テ見マス、果シテ一ツノ要素ニ依ッ
テ米ヲ買フト云フ其生産費ソレ自身
ガ、果シテ精確ニ參ルカ否ヤト云フコ
トニ對シテ、非常ナ困難ガアル、専門
家ガ申シマセウ、此處ニ居ル農務局長
等ヨリモ詳シク申シマセウガ、私ガ常
識ヲ以テ判斷シマシタ時ニ、先刻松山
君ノ御話ノ通り、昭和四年ノ米政策ノ
時モ、此研究ヲシタノデアリマス、併
ナガラ其當時甚ダシイ所ハ、確カ八十
圓カ九十圓ト云フ生産費ガ出タ地方ガ
熊本縣ニアッタト思ヒマス、又非常ニ安
イ生産費ノ地方モアリマス、部落、村
村ニ依テ、生産費ノ出ヤウガ違フノデ
アリマス、ソコデ一々其村ニ依テ計算
スル譯ニハ行カヌカラ、之ヲ達觀シテ
平均ノ數ヲ取ルヨリ外仕方ガアリマス
マイ、若シ平均數ヲ以テ、之ニ依テ農
家全體ノ利益ヲ擁護スルコトガ出來ル
カト云フト、計數ハマダ分リマセヌガ、
ソレナラバ生産費ガ價ハズシテ農業ヲ
止メナケレバナラヌト云フ地方ガ澤山
出ハセヌカト云フ感ジモ湧クノデアリ
マス、ソレデ出來ルダケ生産費ハ正確
ニスルガ、一方三十年間、日本ノ經濟
事情ニ依テ動イテ居ル物價指數ニ、米
價ノ趨勢ヲ加ヘタル一ツノ率ヲ見出シ
テ、此二ツヲ睨ミ合セテ、時ノ經濟事

情ニ應ジタヤウニ達觀シテヤル、ソレ
モ農林省當局ガ獨リデアルデナク、農
業ノ利益ヲ代表スル者ヲ比較的多クセ
ヨト云フ先年政友會カラ御希望ガア
ッテ、若槻内閣ノ時ニハ、今後米穀調査
委員ニハ生産者ノ利益ヲ代表スル者ヲ
多ク加ヘルト云フ政友會ノ御希望ニ依
テ左様致シテ居ル、其時ニハ生産者ヲ
代表スル側ノ有力者ガ相當多イノデア
リマスカラ、此基準ト、農林省ノ考ト、
米穀委員會ガ集マッテ發動ノ値ヲ定メ
ル、出動ノ時ヲ定メルノデアリマス、
達觀上此邊ガ穩當ニ參ルノデハアルマ
イカ、實際問題トシテハ斯様ニ致スヨ
リ外致シ方ガナイ、之ヲ理想のナ完全
ナ案デアルト思ヒマセヌ、又理想のナ
實行シ得ラル、完全ナル案ヲ得ルコト
ハ相當ムツカシイモノト思ッテ、斯様ニ
致シタノデアリマス

○松山委員 今農林大臣ノ御話ニナリ
マシタ率勢米價ニ對スル御意見、此事
ニ付テハ、後デ申上ゲタイガ、今ハ横道
ニ入ラナイデ、私ノ思フコトヲ眞直グ
ニ進メテ行キタイト思ヒマス、大體私
共ノ見ル所、多クノ人ノ研究スル所、マ
ダ此生産費ト云フモノハ御意見ガ定マ
ラナイヤウデアリマスケレドモ、此生
産費ト云フモノハ、大體二割線ヨリ上
ニ來ル、生産費ノ方ガ高ク付ク、此處
ニ帝國農會ノ岡田君ノ意見書モ出テ居

ル、農林省ノ生産費ハ二十一圓三十五錢ニナツテ居ル、ソレガ帝國農會デ調査シタルハ二十六圓十錢ト云フコトニ

ルナラバ、率勢米價ニ依ル其基準ノ中值カラ、下値ノ方ノモノハ二割ヨリモ少クシテ、上値ノ方ノモノハ二割ヨリ

確デアルカ、私共ハマダ是デ十分ダト云フコトヲ思ヒマセヌガ故ニ、此度豫算ヲ取ツテ此調査ニ掛カルノデアリマ

居リマスカラ暫ク休憩シマシテ、午後一時半カラ開會致シマス
午後零時三十五分休憩

ナツテ居ルト云フコトニ付テモ、色々意見ガ出テ居リマスガ、兎モ角此二割線ヨリモ多クノ場合ニ於テ吾々ハ生産費

多クスル、或ハ上値ヲ二割トスルナラバ下ノモノガ二割ヨリ少イ、是モ腰ダメデアリマスガ、今申シマヌヤウナ抽

ハ帝國農會ガ見テ居ル生産費ト云フモノヲバ眺メテ見マスレバ、松山君ノヤリ會議ヲ開キマス

午後一時四十分開議
○西村委員長 休憩前ニ引續イテ是ヨリ會議ヲ開キマス

ト云フモノハ上ニ來ルモノト思フ、是ハ私ダケノ意見デハアリマセヌ、多クノ人ガモウ大體サウデアル、本當ノキ

象的ノコトヲ言ツテ居ッテハ分リマセヌカラ、數字デ申上ゲマスガ、例ヘバ上

○松山委員 今カラ質問致シマスル事モ勿論大部分ハ農林大臣カラ御答ヲ戴

併シ特ニ安藤博士ノ御立會ヲ願ヒマスルコトハ、私ガ質問スル中ニハ數學ニ

チットシタ生産費ハ定マリマセヌケレドモ、サウ云フ風ニ來ルト思ヒマス、サウスルト實際其間、真中ヲ取りマス

テ今日疲弊シテ居ル農村ノ爲ニ有利ナル線ニナルト思フノデゴザイマスガ、

來マセヌケレバ、今ノ御話ニ對シテハ、正確ナ御答辯ハ出來マセヌガ、唯是ダ

關係スルコトガアリマスノデ、ソレデ餘リ慣レナイ素人ノ方ニ分ラヌカラ胡

カ、ドッチニ傾クカ知レマセヌガ、大體ニ於テ此米穀法ニ依ッテ發動スル、セヌハ、此二割線ト生産費ノ線トノ間ニナ

此限界線ヲサウ云フヤウニシテ御定メニナリ、下値ハ例ヘバ一割五分、上値

ケハ如何デセウ、今日ノヤウナ經濟界、農村ノ不況ナ際ニ處シテハ、寧ロ下値

二割ヲ下値一割半トシ、上値二割ノ所ハ其儘ニシテ置ク方ガ生産者ノ爲ニ利

ル、即チ此二割ヨリ少イモノニナルト大體私共ハ見テ居ルノデアリマス、ソ

益デナイカト云フ御感ジニ對シテハ、私モ御同感デアリマス、併シ是ハ百年

ニ互ル根本問題ニ關スル法律トシテ見マスレバ、當年ノヤウナ不況ニ際シテ

此不況ヲ救フ種々ナル對策ヲ考ヘルコトハ勿論デアリマスガ、此問題ニ對シ

レカラ生計費カラ出テ來ル米價ト云フモノガ、是ガ又實際ニ於テ二割線ヨリ

テ置キタイノハ、東郷サンノサッキノ實際ノ數字ヲ出シテノ御質問デアッタ、

私モ御同感デアリマス、併シ是ハ百年ニ互ル根本問題ニ關スル法律トシテ見

マスレバ、當年ノヤウナ不況ニ際シテハ、農林當局トシテハ、米穀法以外ニ

モマダ上ニナツテ居ルト云フコトハ、是ニ亦多クノ人モキチットシタ責任アル

ガ昨夜調べタ實際ノ實例モアルサウデアリマスカラ、ソレハ改メテ東郷サン

トハ勿論デアリマスガ、此問題ニ對シテハ、今日ノ經濟社會ニハ此方ガ宜カ

ラウト云フ其御感ジハ御尤デアリマスガ、此法律ヲ立テ建前ノ中ニハ、ソ

所ニ依ッテ隨分今マデ出テ居ルノデアリマスガ、其線ハ二割線ヨリモ上ニナ

依ッテ説明サレルサウデアリマスカラ、午後ニデモ其機會ニ願フコトニ致シマ

ス——只今ノ御話ハ、私モ左様ナ——統計局ニ隨分古イ時デアリマセウ、四

レハ別問題トシテ御研究下サルヤウニ私ハ希望シタイノデアリマス

計費ノ線ト二割線トノ間ニナル、サウスルト米ノ發動スルモノハ二割ヨ

リモ上ニナルト云フコトガ、大體ノ想像ガ出來ルノデアリマスガ、サウデア

コトヲ承知シテ居リマス、其調査ガ正

○西村委員長 最早十二時半モ過ギテ

云フコトノ御話ガアリ、詰リ買フ回数、賣ル回数ノ多少ニ付テ御話ニナッテ居リマスガ、之ニ付テ一應申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、是ハ成程大正七年ノ松山サンノ言ハレル高値ガ私ノ計算シマシタ所デハ、「バラボラ」式デハ二十五圓八十錢、直線式デハ二十九圓七十八錢デアル、モット早ク三月カラ米穀法ガ行ハレテ居ッタナラバト云フコトノ御質問ガアリ、又東郷博士ノ御質問モソレト同ジコトノヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ直線式ト「バラボラ」式ノ違ノ結果ガ此處ニ現レテ居ルノデアリマシテ、斯フ云フコトニナルノデハナイカト思フノデアリマス、松山サンノ言ハレル此出動ガ高値ノ折ガ七年ハ安カッタト云フ點ダケヲ御押ヘニナリマスケレドモ、同時ニ此事モ御覽ニ當然ナッテ御考ヘニ御入レ下サツタコト、思フノデアリマス、ソレハ高値ノ方デ申シマスレバ、大正二年ニ於テハ「バラボラ」式ノ高値ハ二十三圓八十五錢デアリマス、ソレカラ直線式ノ高値ハ二十圓七十七錢デアリマス、サウシテ見ルト此折ハ丁度今松山サンガ居ルノデアリマス、斯ノ如キ反對ガアルト云フコト、又同ジ例ヲ採リマスナテバ、昭和二年ヲ御覽下サレバ昭和二年ハ「バラボラ」式ニ於テハ高値ガ四十	一圓六錢、農林省ノ直線式デハ三十六圓九十四錢ニナッテ居ル、斯ウ云フ風ニ七年ト大正二年若クハ昭和二年ノ間ニ違ガアルコトハ「バラボラ」式ヲ使ヒマス場合ニ於テハ、昨日モ申上ゲマシタ通り前ニ高値ガ續イテ、米高ノ折ヲ基礎トシテ勘定ヲスルト、其折ノ中値ガ高クナル、直線式ニ較ベテソレヨリモ高クナッテ居ル、昨日表デ御覽ニ入レタ通りデアリマス、所ガ大正七年ノヤウニ大正四年以後段々米價ガ下落シテ居ル折ニナリマスレバ、其折ノ中値ガ低ク出ルト云フコトハ「バラボラ」式當然ノ結果デアリマシテ、直線式ニ較ベテ趨勢ヲ取リマスマデノ前年ノ間ニ、米高ノ高クナル傾向ガ續イタ折ハ中値ガ高クナリ、安イ傾向ガ續イテ居ル折ニハ低クナルト云フ傾向ガ直線式ヨリモ著シイノデアリマス、其結果ガ茲ニ出テ來テ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ反對ノ事實ガアルノハ、其一年ノ特殊ノ事情ヲ以テ此方ガ宜イノダト云フコトノ御判斷ハ、少シク私ハ承服ヲシ兼ネルノデアリマス、全體ヲ通ジテ御考ヘニナラナケレバナラスモノデアルト思ヒマス、又東郷博士ノ最近ニ於ケル低値ノ方ガ何時モ高イト言ハレルノハ、事實數字ヲ見レバ其通りニナッテ居ル、是ハヤハリ大正十三年以來米ノ高カッタ折ノ數字ガ影響ガアル爲	ニ、今ノ高値デ申上ゲタト同ジャウナ影響デ中値ガ高ク出テ居リマスカラ、ソレカラ二割引イタモノガ高ク出ルノハ當然デアリマスガ、ソレト同ジ反對ノ事實ガヤハリ此數字デ御覽下サレバ分ルノデアリマス、即チ大正六年ハ丁度事情ガ全ク違フ、四年以來米ガ下ッテ居ル折ニハ「バラボラ」式デハ中直ガ低イ、デアリマスカラ大正六年ニ於テハ「バラボラ」式デ計算シタ低値ガ十五圓八錢デアリマス、所ガ直線引デヤッタモノハ十六圓四十九錢、大正七年ニ於テハ直線式ガ十九圓八十六錢、ソレカラ大正八年ニ於テ「バラボラ」式ハ二十三圓三十四錢デアッテ、直線式ガ二十五圓九十七錢、丁度斯ウ云フ風ニ大正六、七、八ト云フ年數ノ時代トハ正反對ニナッテ居ルノデアリマシテ、高値ノ折ニ兩方ノ正反對ナ現象ガアルト同ジャウニ、低値ニ於テモ同ジ現象ガアルノデアリマス、是ハ「バラボラ」式ノ性質上、當然米ノ値段ガ高クナル頃ニハ著シク直線式ニ較ベテ中値ガ高ク出ル、又米ノ低落ノ時期ニ於テハ直線式ニ較ベテ著シク低ク出ルコトハ當然ノ結果デアリマス、唯其中ノ或部分ノ事實ヲ捉ヘテ、此方ガ宜イデナイカト云フ御判定ニハ、私ハ承服ヲシ兼ネルノデアリマス、寧ロドツチガ宜イト云フ	コトヲ判定シマスニハ、又數學ヲ言フヤウデ恐入リマスガ、誤差ノ理論ヲ應用スルノガ一層適當デアラウト思フノデアリマス、ソレハ普通ノ誤差ノ場合ニ於キマシテハ、色々ナ計算ノ數字ヲ平均シテ、其各數字ノ誤差ヲ勘定シテ行クノデアリマスカラ、私ハ此場合ニ於テ中値ヲ取リマシテ、實數ト直線式ト「バラボラ」式ノ差異ヲ一々調べテ見テ、ドチラガ差ガ全體ニ少イカト云フコトヲ判斷スルノガ最モ適當ダト思フノデアリマス、ソレニ付テ判斷シテ見マスルト云フト、實數ハ無論、値段ガ始終動イテ居リマスケレドモ、ソレガ中心ニナッテ居ルモノト考ヘテ計算ヲシテ見マスルト云フト、直線式ノ方ト「バラボラ」式ト、各、無論毎年誤差ガ殖エタリ減ッタリシテ居ルコトノア平均ノ誤差、或ハ——何ト譯シマスカ、吾々始終使ッテ居リマスル御承知ノ「プロバブル、エラー」ガドノ位カト云フコトノ判斷ニ依ッテ、其モノ、正確サヲ計ルヨリ仕方ガナイノデアリマス、ソレハ自乗ノ總和ヲ、使ヒマシタ年數ノ約自乗デ除シタモノ、自乗根デアリマスルケレドモ、略算ニ依レバ此誤差ノ「ブルス」マイナス」ヲ取ッテシマツテ、其數字ヲ皆加ヘタモノヲ今申シマシタ數デ除シテ、ソレニ〇・八四五三ヲ乗ズレ
--	--	---	--

バ大體ノ「プロバブル、エラー」ガ出ルコトハ御承知ノ通りデアリマスカラ、ソレニ從テ計算シテ見マス、此誤差ノ合計ガ直線式ニ於テ、「プラス」「マイナス」ヲ考ニ入レナイ數字ダケノ合計ガ八九・一四デアリ、ソレニ對スル「バラボラ」式ハ一一・三七デアリマス、ソレカラ勘定シマシタ或ル一ツノ實測ノ「プロバブル、エラー」ハ、直線式ニ於キマシテハ「プラス」「マイナス」ガ一一・八四デアリ、「バラボラ」式ニ於テハ「プラス」「マイナス」三・五五デアリマス、即チ「バラボラ」式ノ方ガ非常ニ誤差ノ範圍ガ廣イト云フコトニナルノデアリマスルカラ、同時ニ是ハ全體ノ米價率カラ申シマスレバ「プロバビリティー」ガ低イモノダト判斷スルノガ當然デアルト思ヒマス、私ハ此意味ニ於キマシテ、何處マデモ直線式ノ方ガ、趨勢値トシマシテハモット「プロバビリティー」ガ高イト云フコトガ言ヒ得ルト思フノデアリマス、隨テ率勢米價ニ付テ直線式ヲ採ッタト云フコトガ妥當ダト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、是ダケノ事ヲ申上ゲテ置キマス

○松山委員 今安藤博士ノ御話ニナッタ事ニ付キマシテ、此趨勢値ノ計算ノ仕方ニ直線式ヲ採ルカ曲線式ヲ採ルカ、ソレニ付テノ結論ノ批評ニ付キマシテハ後デ致シタイト思ヒマス、唯茲ニ安藤博士ハ誤差ノ理論ヲ持ッテ來ラレマシテ、ソレヲ比較シテドチラガ善イカト云フコトヲ御論ジニナリマシタカラ、私モ少シク失禮ナ申分デアルカモ知レマセスケレドモ申上ゲタイト思ヒマスルノハ、安藤博士ハ誤差ノ理論ノ適用ト云フモノヲ根本的ニ御間違ニナッテ居リハシナイカト云フコトヲ私ハ申上ゲタイノデアリマス、例ヘバ此處カラ東京驛マデノ距離、之ヲ色々ナ方法デ測量致シマシタ時ニ、機械ニ誤差ガアル、私共ノ視覺ニ錯覺ガアル、或ハ此間ノ空氣ノ溫度ノ變化ニ依ッテ、光線ガ屈曲シタリ、色々ノ變化ガ起ル、嚴密ニ申スナラバ百回測レバ、百回トモ其數字ガ違ッテ來ルノデス、其多クノ回數ニ依ッテ測ッタ誤差ヲ最モ正シクヤル理論ガ此最小自乘法ノ理論デゴザイマス、頂戴致シマシタ表ニ依リマシテモ、米價率ト云フモノガ非常ニ大キナ「カーブ」ヲヤッテ居リマス、元來誤差ノ理論、最少自乘法ノ理論ト云フモノハ、コンナ變化ノ大キイモノニ使フベキモノデハナイ、併シ此最小自乘法ノ理論ヲ使ッテ一ツノ公式ヲ作ッテ、比較的ニ少イ「カーブ」ヲ使フナラバ、計算表ニ便利デゴザイマスルカラ、學者ハ能ク之ヲ使ヒマス、今申ス東京驛カラ測ッタ距離ノ其誤差ヲ最小自乘法ニ依ッテ正シタイト云フヤウナモノハ、是ハ學

間的ニ權威ガゴザイマスガ、併シ今申スヤウナ米價率ノヤウナ變化ノ非常ニ甚シイモノハ、此最小自乘法ヲ元來使フベキモノデハナイ、サウ云フヤウニ誤差ノ理論ト云フモノハ出來タモノデハナイノデアリマス、之ヲ使ッテ最小自乘法デ出テ來タ「カーブ」ハ、學理的ニハ何等權威ノナイモノデアリマス、唯實驗式トシテ即チ「エンピリカル、フォーム」ミユラ「實驗的範式」トシテ、多クノ實驗ヲヤッテ見テ、ソレデ實際ニ近イ、間違ノ少イ計算ガ出テ來ルナラバ、有效ナモノトシテ學者ハ之ヲ使ヒマス、故ニ之ヲ實驗的範式「エンピリカル、フォーム」ミユラ「斯ウ致スノデアリマシテ、其ノモノガ實際ヤッテ見テ其誤差ガ實際ヨリ少イ時ニ初メテ效果ガアルノデ、學理的ニ何等權威ノアルモノデハナイノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ御使ヒニナッタモノハ……、其事ダケ私ハ申上ゲテ、私ノ質問ヲ續ケタイト思ヒマス、若シ御話ガゴザイマスナラバ此際承リタイト思ヒマス

○安藤農事試驗場技師 只今松山サンカラ、是ハ最小自乘法ヲ使ッタガ、實驗的範式デアッテ、學理的ノ根據ガナイト云フ御叱ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ私が先週ノ木曜日ニ參ッタ折ニ松山サンガ御居デニナラナカッタ爲ニ、サウ云フ御叱ヲ受ケタノデ、私ハ最初ニ其事ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス……
「生方委員」叱ルト云フコトカアルカ——叱ルト云フ法ハナイ」ト呼ビ發言スル者多シ」
○西村委員長 生方君靜肅ニ願ヒマス
○安藤農事試驗場技師 私只今御叱ヲ受ケタト申シマシタコトハ、其言葉ハ取消シマスガ、松山サンノ御話ニナリマシタコトハ、私ハ當初ノ場合ニ、此率勢米價ヲ算出スルニ、何等學術的ノ根據ハナイト云フコトハ明カニ申上ゲタ筈デアリマス、サウシテ是ハドウシテモ實驗的ノ範式ニ依ル、アナタノ今御話ニナル「エンピリカル、フォーム」ミユラ「ニ依ルヨリ外ナイノデアルト云フ事ヲ申上ゲタノデアリマシテ、其點ハ丁度松山サンハ御居デニナラナカッタカラ、或ハ速記録ヲ御覽下サラナカッタ結果ダト思ヒマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス
○松山委員 私ソレヲ知リマセヌデ、先刻ノ言葉ガツヒ失禮ナ事ニ互リマシタガ、其點ハ御許ヲ願ヒマス、サウシテ私ノ質問ヲ繼續致シタイト思ヒマス
私ハ先程カラ段々質問ヲ致シマシタ、ソレニ對シテ大臣ノ御答ニ、ナッタコトニ依ッテ、政府ハドウシテモ趨勢値ノ利用ニ依ッテ米價ノ中心ヲ定メヨウ、斯ウ云フ御方針ノヤウデアリマス、然ラ

バ私ハ今申シタヤウナ理由ニ依ッテ、此方法ニ依ッテ米價ヲ決定スルコト云フコトニハ満足スル者デハアリマセンケレドモ、政府ガ其方針デヤッテ居ル以上、私共少數デアリマスカラ奈何トモ致方ガナイノデアリマスガ、成ベク其誤ヲ少カラシムルガ爲ニ、今カラ少シク考ヲ述ベテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ物價指數ノ問題デゴザイマス、之ニ使フ所ノ物價指數ハ、日本銀行ノ調査ニ依ル指數ニ依ッテ、是ハ胎中君カラ大分御議論ガアリマシタガ、何等「レート」ヲ加ヘテナイ五十六ノ品物ニ付テ作ッタ物價指數デアル、是ハ農林大臣ガ能ク御承知デゴザイマセウガ、此物價指數ナルモノハ貨幣價值ヲ算定スル目的デ作ッタ物價指數デアリマス、貨幣價值ノ高低ヲ調ベル爲ニ作ッタ物價指數デアリマス、此物價指數ト云フモノハ千差萬別色々ノモノガ澤山アリマス、日本銀行ノモノハ貨幣價值算定ノ目的デ作ッタ物價指數デアル、ソレヲ持ッテ來ルト云フコトハ私共ハ適當デナイト思フノデアリマス

レデ行クコトガ私ハ實際ニ適當スルモノダト思フ、殊ニ此處ニ内閣統計局カラ御出シニナッテ居ル家計費調査ノ報告ト云フ、斯ウ云フ大キナモノガアル、此初メヲ見マスルト記述ノ部ト云フノ部ガ上下二冊ニ別レテ居ル、農業者ノ分ガ第四卷ニナッテコンナ大キナモノガ四冊出來テ居ル、之ニ依ッテ見テモ直グ分リマス、米穀代ハ幾ラ、其他ノ乾物代ニ付テハ幾ラ、調味料ニ付テハ幾ラト云フ金額ガ出テ居リマス、昨日カラヤカマシク議論ニナッテ居リマスルガ、日本銀行ノ物價指數ノ中カラ家計ノ要素ヲ成スモノヲ引抜イテ來テ、ソレニ家計費ノ米代ハ幾ラ、輕節代ハ幾ラト云ッテ風ニ、其使フ「レート」ヲソレニ掛ケテスルナラバ、其家計費ノ場合ハ政府ノ發動スル米價ヲ決メル基礎デアリマスカラ、其家計費ヲ成スニ必要ナル物價指數ハ茲ニ出テ來マス、又實際ニ於テ日本銀行ノ物價指數ナルモノヲ使フト云フコトハ非常ニ弊害ガゴザイマスル、今年ノ十二月二十一月ノ物價指數ニ依ッテ大體一箇年ノ率勢米價ヲ算定スルノデゴザイマスルカラ、是ハ非常ニ恐ルベキ弊害ガアル、之ヲ投機ニ利用サレル虞ガアルノデアリマス、之ヲ早ク知ッテ投機者ハ非常ニ活動スルダラウト思ヒマス、而モ賣買

ノ限界ガ決ッテシマフ、其範圍ニ於テ米價ガ動クノデスカラ、私ハ此米穀法ガ通ッテ、サウシテ今申シマスル米ノ賣買ノ基礎ガ決マルト云フト、非常ニ投機者ガ活動スルト思フ、殊ニ初メニ日本銀行ニ於テ決メル其物價指數ヲ、日本銀行カラ農林省ヘ知ラシテ來ル其前ニ之ヲ知ル者ガアッタナラバ、是ハ直グ投機ニ利用サレマス、又農林省ガ外ニ發表スル前二十日デモ幾日デモ之ヲ早ク知ル者ガアルナラバ、是ハ投機ニ直グ利用サレマス、此方法ガ宜シクナイト云フ一ツノ根據ハ其處ナンデスガ、是ガ決マレバ必ズ米ノ働ガ其範圍ト範圍ノ間ニ於テナサレルコトニナル、今ナラバ農林省ハ拔カザル傳家ノ寶刀ヲ抜イテ、何時發動シテ來ルカ知レマセヌカラ、投機者ハ恐レヲ爲シテデットシテ居リマスケレドモ、其限界ニ於テ農林省ガチットモ干渉シナイト云フコトニナルナラバ、其範圍内ニ於テハ投機者ガ活動シテ來テ、非常ニ變動ガ多クナッテ來ル、一年間是ト是トノ間ハ賣リモシナイ買モシナイト云フコトガ決ッテシマフ、今言フ十一月ノ物價指數ガ定マルト、ソレデ來年ノ率勢米價ガ出テ來ルノデアッテ、其率勢米價ガ出レバ賣買ノ範圍ガ決定シテシマフカラ、私ハ是ハ非常ニ投機者流ニ利用サレル虞ガアルト思フ

故ニドウシテモ物價指數ハ農林省自身デ作ラナケレバナラス、農林省ガ自身デ作ルナラバ、問題ハ生計費——生活費ガ根柢デアリマスカラ、ソレニ最モ關係ノ多イ米、或ハ麥、或ハ味噌ノ如キモノヲ寄セテ來テ、ソレノ物價指數ト云フモノヲ作ルノガ當然デアルト思フ、此五十六品ノ中ニハ電氣ノ機械トカ、ア、云フ色々ノ千差萬別ノモノガアリマセウガ、サウ云フモノハ除ケテシマッテ、生計費ニ關係ノアルモノヲ引抜イテ來テ、而モ政府ガ斯ウ云フヤウナ廣汎ナ調マデモ出シテ居ルノデアリマスカラ、「レート」ヲ掛ケテ、ソレニ適當シタ物價指數ヲ作ラナケレバナラス、ソレヲ日本銀行ニ委シテ置イテ、而モ見當ノ違ッテ、恰モ紙デ漢ヲ擲ムノニ表紙ノヤウニ強ク拵ヘタ紙デ擲ムヤウニマルデ目的ノ違フ貨幣ノ價值ノ高低ヲ知ル爲ニ、日本銀行デ拵ヘタ物價指數ナンカヲ持ッテ來テ、其物價指數ヲ使フト云フ所ニ非常ナ間違ガアルト思フ、私ハ政府ノヤリ方ノ一ツノ大キナ缺點ガ其處ニ在ルト見テ居ル、サウ云フ意味ニ於テ家計費ノ基礎ヲ爲ス所ノ物價指數ヲ出シテ來ル、「レート」ノ加ッテ其物價指數ニ依ッテ率勢米價ヲ算定スル、サウシテ二割上ノ所ヲ以テ米ヲ賣ニ發動スル所ノ基準ヲ決定スル、ソレカラモウ一ツハ生産費デゴザイマス、

生産費ヲ成ス要素モ亦私ハドウシテモ農林省自身デ作ルベキモノデアルト思フ、レイトノ掛ッタ生産費ノ物價指數ヲ作りサウシテ二割下ヲ以テ農林省ガ米ヲ賣ニ出ル基準ヲ決定スル、只今私ノ申シマスルコトハ安藤博士ノ御判斷ヲ要スルコトデアリマスルガ、家計費ニ關係ノ趨勢値ノ價格ト生産費ニ關係スル趨勢値ノ價格ト二本拵ヘマシテ、サウシテソレニ依ル率勢米價ヲ拵ヘテ、米ヲ賣買ニ發動スル所ノ基礎ヲ決定スルコトガ合理的デアルト私ハ思フノデアリマス、當局ノ御意見ヲ伺ヒマス

○町田國務大臣 極ク簡單ニ申上ゲマス、私ノ了解ガオ分デナイカモ知レマセスガ、今ノ率勢米價ヲ作ル物價指數ニ付テハ、物價ノ三十年間ニ於ケル趨勢ヲ一方ニ見テ居ルノデアアル、ソレニ御話ニ依ルト日本銀行ノ統計ハ不完全デアアル、五十六種ニ依ッテヤルノハ面白クナイ、又日本銀行ハ其ヤリ方ヲ秘密ニシテ居ルサウデアルト云フ風ニ、有ユル點カラ餘リ信用サレスト云フコトデアアル、サウシテ生産者ニ關係ノアルモノダケヲ集メタヤウナ物價指數ガ必要デアルト云フ御考ノヤウニ承リマシタ、其點ハ如何デゴザイマセウカ、私共ハ物價指數ヲ作ルノニハ、出來ルナラバ品物ヲ撰擇シテ、其種類ガ多々益、

多イコトヲ希望スルノデアリマス、アタタハ生産費ハ米ト類似ノヤウナモノカラ物價指數ヲ出スヤウニセヨト云フヤウニ承リマシタ、私ノ聞キヤウガ誤ッタクカモ知レマセスガ、私ハアタタノ御話ヲ左様ニ了解シマシタガ、ソレハ意味ガ違フト思ヒマス、私共ノ此物價指數ハ經濟界ノ大體ノ趨勢ヲ見テ行ク、其意味カラ出來ルナラバ五十六種ダケデナク、タシカ歐米各國デハモット數ガ相當多イノデアリマスガ、其數ヲ多クシテ、年數ガ長ケレバ長イ程物價指數ト稱セラル、モノガ稍完全ニ近イ方ニ段々參リマスト確信致シテ居リマスカラ、私共ハ相成ルベクハ日本銀行ヲ改良ヲ加ヘテ、「インデックス・ナンバー」ヲ作ル品目ヲ殖スコトヲ望ンデ居ルノデアリマス

ソレカラ松山君ノ御話デハ、日本銀行ノ物價指數ト云フノハ、貨幣價值ヲ見ル材料、ソレモ大キナツノ材料デアリマセウ、併シ一般物價ノ趨勢ト申スコトハ見方ニ依レバ、ヤハリ貨幣價值ヲ見ルノデアリマス、貨幣價值ガ即チ物價ノ高低ヲナス一番主ナル原因、若クハ物價ノ高低ハ貨幣價值ノ高下ニ依ッテキマルト、斯ウモ見ラレマスカラシテ、此間ノ關係ハドウモ二ツニ分ツノハ如何ナモノデアラウト思ヒマス、勿論日本ノ物價ガ世界ノ物價ニ比シテ

高イト云フ時ハ、貨幣價值ノ低イ場合トモ見ラレマセウ、又世界ノ物價ニ比シテ日本ノ物價ノ平均ガ安イ時ニハ、日本ノ貨幣價值ガ高イ、即チ亞米利加、英吉利ニ對スル對外貨幣價值ガ爲替相場ニモ變化ヲ與ヘテ居リマセウカラ、日本銀行ハソレヲ參考ニ致シマセウガ、私ノ知ル所デハ、ヤハリ日本ノ經濟界全體ノ趨勢ヲ見ル爲ニ、物價指數ヲ本トシタモノト思ヒマス、是ハ如何様ニモ判斷ガ出來マスガ、御話ノ通りニ貨幣價值ヲ見ル爲ニ作ッタト、御判斷下サツテモ、貨幣價值即チ物價ノ趨勢ト見ルコトモ出來ルノデアリマスカラ、其點ハ宜カラウト思フ、ソレカラ生産費バカリノ物價指數ト云フノハ、何カノ參考ノ爲ニ取ルコトハ必要デアルカモ知レマセス、或ハ吾々モ參考ノ爲ニ左様ナヤリ方モヤッテ見ルコトハ辭シマセスガ、併シ率勢米價ノ本ハ、一般物價ノ趨勢ヲ基礎トシテヤッタノデアリマスカラ、品目ヲ尠クシテヤルコトハ如何ナモノデアラウカ、マダ今ノ御意見ダケデハ私共ニハ諒解ガ出來スノデアリマス

○松山委員 今ノ農林大臣ノ御意見ニ依ッテハ、私モ承服ガ出來ナイノデアリマスガ、是ハ意見ノ相違デアリマスカラ、此位ニ止メテ置キマス

次ニ私ハ米穀法ノ價值ヲ批判スル基礎トシテ、少シ調べテ見タノデゴザイマスガ、此米穀法ハ大正十年ノ四月ニ制定實施セラレタノデアリマスガ、ソレカラ今日迄ニ米穀法ガ發動シタコトガ十五回デアリマス、併シ此米穀法ニ依ルト、其中四回シカ發動シテ居ラヌコトニナルノデアリマス、今迄米穀法ノ發動シタ時ニハ、政府ハ中々消費者ト生産者トノ間ニ立ッテヤリ澁ルノヲ國民ガ堪マラヌカラ、ヤイ／＼ヤカマシク言ッテ、隨分米穀法ノ發動ヲ希ッテ居ルノデアアルケレドモ、米穀法ト云フモノハ、サウ無闇ニ發動ハ致シテ居ラヌ、已ムヲ得ズシテ先ツ發動シタ、ソレガ十五回アリマス、若シ御希望ナラズニ其年月日其他ヲ申述ベマス、大正十年六月、此時ニハ内地米ヲ百萬石買入レテ居リマス、次ニハ大正十二年二月ニ内地米ヲ百萬石買入レテ居リマス、次ニハ大正十二年四月ニ米ガ高クナッテ外米百萬石ヲ買入レテ居リマス、次ハ大正十三年十月調節ノ爲ニ其外米ヲ賣出シテ居ル、次ハ大正十四年七月ニ内地米ヲ賣却シテ居リマス、ソレカラ次ハ昭和二年九月、十一月、十二月、昭和三年一月、三月、ソレカラ昭和四年四月、昭和五年七月、八月、九月、十二月此十五回發動致シテ居リマスガ、併シ眞ニ此米穀法ガ意義アル發動ヲ致シマシタノハ四回ヨリナイノデア

リマス、即チ大正十年ノ六月トソレカラ大正十三年ノ十月、十四年ノ七月、ソレカラ昭和五年ノ十二月ノ四回ダケ米穀法ガ發動シタコトニナリマス、斯ノ如クナルト云フコトハ、是ハ國民生活ニ非常ニ密接ナ關係ノアルコトデゴザイマシテ、連モ斯ウ云フヤウナ事デハ國民ハ堪ヘラレナイト思ヒマス、農林省ヘ行ッテモ、イヤ米穀法ニ決マッテ居ルカラ知ラナイ、法律デ定メラレテ居ルカラドウモシヨウガナイ、モウ一ツ云ヘバ責任ハ議會ニアルノダ、吾々ガソレヲ賛成シタノダ、斯ウ云フ事ヲ言ッテケロントシ、洒々トシテ居ラレルンヂヤ連モ國民ハ堪ラナイノデアリマス、之ニ對シテ農林大臣ハドウ云フ御所見ヲ持ッテ居ラレマスカ

○町田國務大臣 只今十何回ト御算ヘナサツタコトニ付キマシテハ、農務局長若クハ米穀課長カラ御答致サセマス、又其御言葉ノ中ニ買換ト云フヤウナ意味モアリ、整理賣却等モ這入ッテハ居ラヌカ——ト云フ風ニ拜聽致シマシタカラ、其點ハ後カラ私ノ方デ調べテ御答申上ゲマスガ、整理賣却等モ這入ッテ居ルカト思ヒマス、何レニ致シマシテモ、兎ニ角率勢米價一ツノ要素デ發動スルト云フコトニナリマス、大體ニ於テハ松山君ガ今御話ノ如ク從來ノ發動シタ場合ヨリ少クナルダラウト云

フコトハ、常識デモ左様ニ感ジラレルト思ヒマス、私ハ今後ノ事實ハ如何ニナルカ知リマセヌガ、今迄ノ所カラ

左様ニ御推定ナサル事ニ付テハ、別段反對モ致シマセヌ、唯率勢米價一ツノ基準デ、發動スルト云フコトハ、已ムヲ得ザル臨時ノ應急策トシテ用ヒタモノデアッテ、御承知ノ通り出來ルダケ早ク生産費ト生計費トラ精密ニ調査シテ、下値二割ノ政府ガ買フ場合ニハ生産費ト率勢米價、此二ツノ要素ヲ併セテ考慮シテ、時ノ當局者ガ米穀委員等ト相談シテ之ヲキメルト云フコトガ本體デアリマシテ、今ノ御話ハ唯附加ヘタダケデ、要スルニ已ムヲ得ザル臨機ノ方法トシテヤッタノデアルト云フコトヲ御承知下サレバ、法律ノ全體ノ立

方ハ率勢米價一本デ參ルノデアリマセヌカラ、今ノ御議論ハ私ハ反對モ致シマセヌガ、若シ一本デ行クコトニ、非常ナル不利益ガナク、大體三十年間ノ趨勢ヲ見テ、米ノ生産費ガ——米ノ値ノ上ツタコトガ、「ウエート」ノ上一割八分、是モ加ッテ率勢米價ガ出來タト云フコトニ對シテハ、生産者ニ相當重ク考慮シタト私共ハ見テ居リマス、是ハ暫定的ノ方法デ、法ノ立方ハ、基準ヲ三ツヲ選ンデ居ルト云フコトカラ大體御觀察下サッテ、更ニ改メテ附則ノ問題ニ對シテ、御議論ガアルナラバ、

是ハ又改メテ別ニ承ッテ、二ツニ分ケタ方デ意見ヲ承ッタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○松山委員 今農林大臣ノ御話ニナツタコト、是亦意見ノ相違ニナルト思フノデアリマス、唯私共ノ考ダケ述ベテ置キマス、已ムヲ得ズ作ッタ言ハレル、善クナルカラ作ルト云フノナラ能ク分リマスガ、已ムヲ得ズ作ルト云フコトニハ承服シ兼ネルノデアリマス、現在ノモノガ善イナラ是ハ作ラナイ方ガ宜イ、已ムヲ得ズ作ラナケレバナラヌノナラ、是ハ御撤回ニナル方ガ宜イ、此已ムヲ得ズ作ルト云フコトガ承服出來兼ネルノデアリマスガ、是亦意見ノ相違デアリマスカラ、私ノ話ハソレ以上ニ致シマセヌ

唯茲ニ私ハ少シク常識的ニ、農林大臣ノ御判斷ヲ願ヒタイ問題ヲ最後ニ提供致シタイト思ヒマス、先日私ガ某貴族院議員ト會ッテ、色々話シテ見タコトガゴザイマシタガ、其時ニ話合ッタコトデゴザイマスガ、大分貴族院ニハ學者ノ勅選議員モ居ルンダガ、貴族院ニハ藤澤利喜太郎先生ト云フ數學ノ大家ガ居ル、此人ハ勿論分ルダラウガ、此人ヲ初メトシテ、貴族院デ此率勢米價ヲ出ス學理ノ分ル人ガ五人トカヨリ居ラヌサウデス、況ヤ衆議院デモ大シテ學者モ居ラナイト思フガト云フ話デアッ

タ、外ノ事ト違ヒマシテ、米價ノコトハ、私共代議士ガ自分ノ選舉區ニ歸ッテ、皆關係ガアル事デアリマス、殊ニ其背後ニハ六千萬ノ國民ト申シマスルカ、生産者側カラ云ヘバ六割ノ農民ガ居ルノデス、消費者側カラ云ヘバ、六千萬ノ國民全體ガ關係アル、サウシテ例ヘバ生産側カラ云ヘバ、米ガ安クナッテ困ル、政府ガチットモ買ッテ呉レナイカラ困ル、ドウシテダラウト言ハレテ、米穀法ガアルンダカラ俺等知ラヌ、ソレデキマッテ居ルンダト言ッテ、洒々シテハ居ラレナイ、ドウシテア、云フモノヲ決メテ呉レタンドト言ハレル、ドウモ學理ガ分ラナイモノダカラト言ッテ居ッテハ納マリガ付カヌ、消費者ノ方カラ云ッテモ是亦同ジヤウナコトガ成立ツダラウト思フノデアリマス、私共代議士ノ立場カラ申シマスレバ、都會ノ人ハ兎ニ角、皆密接ナ關係ガアル、一人一人ノ人カラ聽カレル、長屋ノ御内儀サント雖モ、米ノ高イト云フコトニハ直グ關係ガアル、百姓ノ親父ト雖モ、米ノ安イト云フコトニハ直グ關係スル問題デゴザイマス、私共ハ其事ヲ聽カレルノデアリマス、ドウシテア、云フ米穀法ヲ拵ヘテ呉レタカト言ハレタ時ニ、ドウモ理窟ガ分ラナカッタノデハ答ヘラレヌ問題デゴザイマス

此國民多數ニ利害關係ノ密接ナ問題

ヲ決定スルノニ、最小二乘法ヲ一ツ
一ツ斯ウ云フ風ニ變々研究ヲシテ見
タイト云フノデ、日本デ一番偉イ安藤
博士ヲ煩シテ、二日殆ド寝ズニ御疲レ
ニナツテ、モウヘト〜ニナツテ御計算
ニナツテ、ヤット出來ル、若シ私共ノ方
カラ云フナラバ、是デモ不十分デゴザ
イマスガ、モウ一ツ三乗方程式ノ場合
ヲ研究シテ貫ヒタイ、或ハ四乗方程式
ノ場合ヲ勘定シテ貫ヒタイト云フヤウ
ナコトモ言ヒ得ルノデアリマス、サウ
ナツタラ一年掛ツテモ出來ナイト云フヤ
ウナ結果ニナリハセヌカト思フ、研究
スル者ガナイ、斯ウ云フムヅカシイ方
式デ米價ヲ決メルコトヲ作ツテ下サイ
マシタガ、例ヘバ茲ニ建築ヲヤル、建
築ノ柱ノ割合ヲ出ス時ニ、最小二乘法
ヲ使ツテ試驗ナサル、是ハ洵ニ結構ナ事
デアリマスルガ、柱ノ計算マデ聞ク人
ハ澤山ナイ、ソレハ學者ニ一任シテ宜
シイ、是ハ六千萬ノ國民ノ皆ニ關係ノ
アル事デアル、私共代議士ト致シマシ
テハ選舉區ニ行ツテハ皆ニ聽カレル、此
關係ノアル米價ヲ御定メニナルノニ、
貴族院デサヘ五人ヨリ知ツテ居ル人ガ
ナイト云ツタヤウナ、斯ウ云フヤウナ
ムヅカシイ方法デ之ヲ審議シロ、而モ
僅ニ二箇月ヤ、三箇月ノ間ニ之ヲ審議
シロト云フコトヲ言ハレルノハ、少シ
方法ガ御無理デハナカッタカト斯ウ私

ハ考ヘルノデゴザイマス、本當ニ言ヘ
バ是ハ三日ニ本會ニ上程シヨウト云
フ、斯ウ云フ與黨ノ御交渉モアリマス
ノデ、私共成ベク其御意見ヲ尊重シタ
イト思ヒマスケレドモ、之ヲ本當ニ研
究スルナラ、私共ハ根本ニ於テソレガ
善イカ惡イカト云フコトヲ議論シ、愈
ソレヲヤルニハ更ニ率勢米價ノ立方、
所謂趨勢値ニ付テ直線外ノ趨勢値、二
次ノ價格ガ宜イカ或ハ三次ノ價格ガ宜
イカト云フコトヲ十分研究スル必要モ
起ツテ來ルダラウ、所ガ二次ノ價格ト雖
モ今朝私共初メテ調査物ヲ頂戴シタノ
デアツテ、ソレヲ念ヲ入レテ調査研究ス
ル暇ガナイノデアリマス、先程安藤博
士カラ七年度ノコトニ付テ御意見ガア
リマシタケレドモ、之ニ對シテモ吾々
ハ意見ガアル、併シ意見ヲ言フナラ全
體ヲ調べテ見ナケレバナラスガ、其暇
ガナイノデアリマス、私共ハ三日ニ本
會議ニ之ヲ上程スルヤウニ審議ヲシタ
イト思ツテ、私共政友會ノ方デモ色々相
談ヲシテ、成ベク與黨ノ御意志ヲ尊重
シテサウ云フ風ニヤリタイト思ツテ居
リマスガ、結局はハ無理デゴザイマス、
私共ノ腦力ニハ是ハ無理デアリマス、
短時日ノ間ニ之ヲ研究スルコト云フコト
ハ無理ナヤリ方デゴザイマス、サウシ
テ學理的ニモ根據ガナイ、實際的ニモ
適合シナイ、而テムヅカシクテ分ラヌ、

サウ云フヤウナ方法デ以テ私共ニ此法
案ノ審議ヲセヨト言フ、之ヲ法律デ定
メナイデ、政府ガ勝手ニ御定メニナル
ナラバ結構デアリマスガ、併シ法律ニ
之ヲ定メテ、其ヤリ方モ定メテ其事ヲ
私共ニ協賛ヲセヨト言ハレル、此方法
ヲ執ラレタコトハ私共ハ適當ナル方法
デハナイト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、農林大臣ハ如何ニ御考ニナツテ居
リマスカ
○町田國務大臣 此最小二乘法ノ式ノ
學理的根據ハ先頃モ申シマシタ通り、
私共數學者デナイ者カラ見レバ、此最
小二乘法デヤツテ、稍、正確ナル趨勢ガ
見得ラレルト云フ數學上ノ根據ハ分リ
マセス、唯一般ニ是ガ認メラレテ居ル
ト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ米穀調
査會ニ於キマシテモ、相當此問題ハ審
議サレタノデアリマス

併シ一面ニハ生産費ト云フコトモ、
先刻私ガ申シマシタ通り、假ニ率勢米
價ト云フモノヲ寄セテ、生産費生計費
ト云フモノデヤル場合ガ假ニアルト見
マシテ、其生産費ト云フモノハ、結局
相當正確ナル基礎ノ上ニ平均數ヲ出サ
ケレバイカスト思ヒマス、私共今後ハ
ヤハリ此基準ヲ三ツニシテ、其生産費
ヲ出スニハ、極力正確ナル材料ノ下ニ
出來ルダケ完全シタル生産費ヲ出セル
トハ思ヒマス、併シ全國ニ互ツテ之ヲ調
ベテ見マシテ、各町村、各宇ニ於テモ、
生産費ガ皆違フノデアリマス、諄ク申
スヤウデアリマスガ、大正四年ノ私共
米價調節委員會デ調べサセ、時ノ農林
省デ調べマシタ時モ、熊本ニ於テハ髓
カ九十圓カ百圓ト云フ生産費ノ出タ處
モアリ、非常ニ安イ生産費ノ處モアリ
マス、假ニ正確ナ方法ニ依ツテヤツテモ、
地方ニ依ツテ違ヒマス、今年農林省ガ調
査シタ所デモ、二十八圓ト云フ生産費
ヲ出シタ處ト、十六圓ト云フ生産費ヲ
出シタ處ガアリマス、地方ニ依ツテモ事
情ニ依ツテ違ヒマスカラ、假ニ率勢米價
ヲ廢シテ生産費デ行クト假定シテ、全
國ニ互ツテ中庸ヲ得ルトスルト、恐ラク
ハ此生産費ノ組方デハ、農民ハ農業ヲ
ヤルコトガ出來ナイト云フコトハ、何
レノ地方カラモ苦情非難ガ澤山起ルト
思ヒマス、假ニ實行スルト云フ方面カ
ラ見マシテモ、何レモ困難ダト思ヒマ
ス

率勢米價モ亦左様デアリマスガ、既
往三十年ノ實際ニ徴シテ、一般物價ノ
上ニ稍、二割近イ米價ヲ加ヘタモノデ
ヤツテ、三十年ノ經驗ニ依レバ、時ニ依
テハ多少不利ナ時モアリ、利益ナ時モ
アル、消費者ガ利益ニナル時ハ、生産
者ハ不利ニナリ、生産者ガ利益ナ時
ニハ、消費者ガ不利ニナルト云フ場
合モアリマセウガ、大體ニ於テ今日デ

ハ考ヘルノデゴザイマス、本當ニ言ヘ
バ是ハ三日ニ本會ニ上程シヨウト云
フ、斯ウ云フ與黨ノ御交渉モアリマス
ノデ、私共成ベク其御意見ヲ尊重シタ
イト思ヒマスケレドモ、之ヲ本當ニ研
究スルナラ、私共ハ根本ニ於テソレガ
善イカ惡イカト云フコトヲ議論シ、愈
ソレヲヤルニハ更ニ率勢米價ノ立方、
所謂趨勢値ニ付テ直線外ノ趨勢値、二
次ノ價格ガ宜イカ或ハ三次ノ價格ガ宜
イカト云フコトヲ十分研究スル必要モ
起ツテ來ルダラウ、所ガ二次ノ價格ト雖
モ今朝私共初メテ調査物ヲ頂戴シタノ
デアツテ、ソレヲ念ヲ入レテ調査研究ス
ル暇ガナイノデアリマス、先程安藤博
士カラ七年度ノコトニ付テ御意見ガア
リマシタケレドモ、之ニ對シテモ吾々
ハ意見ガアル、併シ意見ヲ言フナラ全
體ヲ調べテ見ナケレバナラスガ、其暇
ガナイノデアリマス、私共ハ三日ニ本
會議ニ之ヲ上程スルヤウニ審議ヲシタ
イト思ツテ、私共政友會ノ方デモ色々相
談ヲシテ、成ベク與黨ノ御意志ヲ尊重
シテサウ云フ風ニヤリタイト思ツテ居
リマスガ、結局はハ無理デゴザイマス、
私共ノ腦力ニハ是ハ無理デアリマス、
短時日ノ間ニ之ヲ研究スルコト云フコト
ハ無理ナヤリ方デゴザイマス、サウシ
テ學理的ニモ根據ガナイ、實際的ニモ
適合シナイ、而テムヅカシクテ分ラヌ、

サウ云フヤウナ方法デ以テ私共ニ此法
案ノ審議ヲセヨト言フ、之ヲ法律デ定
メナイデ、政府ガ勝手ニ御定メニナル
ナラバ結構デアリマスガ、併シ法律ニ
之ヲ定メテ、其ヤリ方モ定メテ其事ヲ
私共ニ協賛ヲセヨト言ハレル、此方法
ヲ執ラレタコトハ私共ハ適當ナル方法
デハナイト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、農林大臣ハ如何ニ御考ニナツテ居
リマスカ
○町田國務大臣 此最小二乘法ノ式ノ
學理的根據ハ先頃モ申シマシタ通り、
私共數學者デナイ者カラ見レバ、此最
小二乘法デヤツテ、稍、正確ナル趨勢ガ
見得ラレルト云フ數學上ノ根據ハ分リ
マセス、唯一般ニ是ガ認メラレテ居ル
ト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ米穀調
査會ニ於キマシテモ、相當此問題ハ審
議サレタノデアリマス

併シ一面ニハ生産費ト云フコトモ、
先刻私ガ申シマシタ通り、假ニ率勢米
價ト云フモノヲ寄セテ、生産費生計費
ト云フモノデヤル場合ガ假ニアルト見
マシテ、其生産費ト云フモノハ、結局
相當正確ナル基礎ノ上ニ平均數ヲ出サ
ケレバイカスト思ヒマス、私共今後ハ
ヤハリ此基準ヲ三ツニシテ、其生産費
ヲ出スニハ、極力正確ナル材料ノ下ニ
出來ルダケ完全シタル生産費ヲ出セル
トハ思ヒマス、併シ全國ニ互ツテ之ヲ調
ベテ見マシテ、各町村、各宇ニ於テモ、
生産費ガ皆違フノデアリマス、諄ク申
スヤウデアリマスガ、大正四年ノ私共
米價調節委員會デ調べサセ、時ノ農林
省デ調べマシタ時モ、熊本ニ於テハ髓
カ九十圓カ百圓ト云フ生産費ノ出タ處
モアリ、非常ニ安イ生産費ノ處モアリ
マス、假ニ正確ナ方法ニ依ツテヤツテモ、
地方ニ依ツテ違ヒマス、今年農林省ガ調
査シタ所デモ、二十八圓ト云フ生産費
ヲ出シタ處ト、十六圓ト云フ生産費ヲ
出シタ處ガアリマス、地方ニ依ツテモ事
情ニ依ツテ違ヒマスカラ、假ニ率勢米價
ヲ廢シテ生産費デ行クト假定シテ、全
國ニ互ツテ中庸ヲ得ルトスルト、恐ラク
ハ此生産費ノ組方デハ、農民ハ農業ヲ
ヤルコトガ出來ナイト云フコトハ、何
レノ地方カラモ苦情非難ガ澤山起ルト
思ヒマス、假ニ實行スルト云フ方面カ
ラ見マシテモ、何レモ困難ダト思ヒマ
ス

ハ農業倉庫モ相當繁榮シテ來テ居ルト見テ宜シイカラ、經濟上ノ大體ノ趨勢ヲ之ニ加ヘテ、サウシテ下値二割ノ生産費ヲ加味シテ出動スル、ソレニハ米穀調査委員ノ意見モ尊重シテヤル、其調査委員ハ先年政友會ノ御希望モアツテ、主トシテ生産者ノ利益ヲ代表スルヤウナ委員ヲ比較的多クシテ居ル、斯ウ云フヤウナ事情カラ見マスレバ、率勢米價一本デヤルト云フ時代ハ、此法ノ立方カラ見マスレバ、短イ期限デア

ルカラ、是デ行クヨリ仕方ガナイ、二年ノ間調査シタ米穀法改正ノ調査委員會モ、色々議論ノ結果、大體之ニ纏ッタノデアリマス、是等ノ事情ヲ併セ申述ベテ、モウ一遍御諒解ヲ得タイト思ヒマス

フ意味デ、本當ニ松山君ノ疑義ヲ質スト云フコトヲ保留シテ、此程度ニ止メル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、是ダケハドウカ御了承ヲ願ヒマス

○松山委員 實ハ私ガ御尋申上ゲマシタヤウナ事ニ對シテ、疑義ハ同志ノ中ノ何人ニモ皆アツタノデアリマス、唯私ガ稍、數學ヲ理解シテ居リマスガ爲ニ、之ヲ數學的ニ質問シタニ過ギマセヌガ、是ハ多クノ同志ガ言ハントシテ言ヒ得ナカッタノデアリマス、サウ云フ事情モアリマスカラ、モウ一度私ノ方デ相談シタ結果、此問題ニ付テヤハリ質問シヨウトスルコトモ亦起ッテ來ルト思ヒマス、其時ニハ私ニ又質問サセテ戴キマス、其意味ニ於テ私ノ質問ハ保留サセテ戴キマス

○胎中委員 松山君ノ意見ハ率勢米價ノコトニ付テ色々質問シ、サウシテ自分ノ意見モ申述ベテ、更ニ御答辯ヲ得タイト思フコトハ、多々アルト云フコトデアリマス、併シ松山君モ曩ニ言ハレマシタ通り、成ベク此委員會ノ進行ヲ重シ、サウシテ尙ホ松山君ガ希望スルヤウニ、之ヲハッキリシヨウトスレバ、此委員會ノ進行ニ伴フヤウナ趣旨ニ副ハナイト云フコトハ、松山君モ言ヒマシタ通り、相當ノ時日ヲ要スルコトデアリマスカラ、此場合ハ兎ニ角不明瞭デアリ、不満足デアル、斯ウ云

○東郷委員 今ノト關聯シテ居リマスガ、私午前ニ御質問申上ゲタ事ニ付テ先刻安藤博士ハ答辯見タイナコトヲ言ッテ居リマシタガ、私ノ質問シタ事ト喰違ッテ居リマスカラ改メテ確メテ置キタイ、私ガ午前ニ御伺致シマシタノハ、所謂直線式ト「バラボラ」式ヲ對照シテ見ルト、明治三十七年カラ昭和六年ニ至ル二十八年間ニ於テ、下値二割ノ場合モ、上値二割ノ場合モ同様デアリマスガ、直線式ニ比シテ「バラボラ」式ガ安イ場合ハ僅ニ九箇年、ソレカラ高イ場合ハ、十九箇年斯ウ云フコトニ

ナッテ居ル、「バラボラ」式ニ依レバ直線式ニ依ルヨリハ簡易ニ早ク出動シナケレバナラヌ年ガ十九年、無理ニ遅ク出動シナケレバナラヌ年ガ同ジク十九年、斯ウ云フコトニナルカラ、此事實カラ見レバ、過去二十八年間ノ事實カラ對照シテ、「バラボラ」式ハ生産者ニ大體有利ナ數字ガ出テ居ル、斯ウ申上ゲタノデアリマス、其通りデアリマスカドウカト云フコトヲ御尋致シタノデアリマス、所ガ安藤博士ハ色々御説明ガアツテ、一體ニ高イ場合ニハ米價ガ高ク出ル、低イ場合ニハ低ク出ル、最近續イテ直線式ガ「バラボラ」式ヨリモ低ク出テ居ルノハ、サウ云フノデヤナイカト、斯ウ仰セラレマシタガ、全體ヲ通ジテ見マスルト、「バラボラ」式ノ方ガ直線式ヨリモ價格ノ低イ場合ハ僅ニ明治三十八年、三十九年、四十年、ソレカラ四十四年、四十四年、大正六年ト七年、八年、十一年此九箇年ニ過ギナイ、デスカラ二十八年間全體ヲ通ジテ普遍的ニ見テモヤハリ此「バラボラ」式ニ據ッタ方ガ直線式ニ據ルヨリモ高イ、ダカラ此事實カラ私達判斷スレバドウシテモハ生産者ノ立場カラ見レバ直線式ノ方ガ「バラボラ」式ヨリモ不利ニナッテ居ル、誤差ガ多イトカ少ナイトカ言ッタヤウナコトハ、是ハ別問題トシテ、現レタ結果ニ於テ私共ハサウ

判斷セザルヲ得ナイノデス、是ハサウ判斷シテ差支アリマセヌカ

○安藤農事試験場技師 只今東郷君カラ御質問ガアリマシテ、「バラボラ」式ト直線式ノ實際ノ表カラ御話ニナッタノデアリマスガ、私ノ計算シタ表ニ比較スレバ、サウナルト思ヒマスガ、今別問題トサレタト云フコトガ、私ハ一番根據ヲ置イテ居ル點デアリマス、ソレヲ別問題ニサレテハ御話ガ出來ナイノデアリマス、私ハ此モノヲ計算スルノニハ只今御話ニナッタヤウナ買出ト力賣出トカ云フコトハ考ヘナイデ、此數字ダケノ計算ヲシテ居ルノデアリマスカラ、其數字ノ上カラ考ヘレバ、ドチラガ實數ニ近イカト言ヘバ、誤差ノ少イモノヲ考ヘルヨリ仕方ガナイト云フコトヲ午前申上ゲタノデアリマス、之ヲ別問題ト云フコトニシテ戴イテハ、私ハドウモ申上ゲヤウガナイノデアリマスカラ、私ハ此數字ノ上カラ申セバ、ドウシテモ誤差ノ少イノヲ探ルノガ一番適當ダト申スヨリ外ニ申上ゲヤウガナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○東郷委員 ソレハドツチガ宜イカ、直線式ガ宜イカ、「バラボラ」式ガ宜イカト云フコトニ對スル安藤博士ノ御意見デアリマスガ、其御意見ハ別トシテ、世間ニハ直線式ガ宜イト認定サレル方

トシテ、現レタ結果ニ於テ私共ハサウ

トシテ、現レタ結果ニ於テ私共ハサウ

トシテ、現レタ結果ニ於テ私共ハサウ

モアルダラウシ、「バラボラ」式が宜イ
ト認定サレル方モアリマセウ、ソレデ
スカラ其二ツノモノヲ玆ニ計算シテ
比較シタ時分ニ、其結果ガ、私ガ先程
申シタヤウナ結果ニナツタ、是ハ偽リナ
イ事實ナノデスカラ、是ハ安藤博士モ
御計算下サツテ、サウ云フ事實が出タノ
デアリマスカラ、ソレハ安藤博士カラ
御答へ出来ヌカモ知レマセヌガ、此結
果カラ見レバ、私ガ先程申シマシタヤ
ウナ結果が出テ居リマスガ、是ハ政府
當局モ、オ前ノ言フ通りダト御認メニ
ナリマスガ、政府當局ニ御伺ヒ致シテ
置キマス

○荷見農林書記官 今ノ東郷サンカラ
ノ御話ハ、率勢米價ノ直線式ト「バラ
ボラ」式トノ比較ノ實數ト、高値低値
ノ場合ノ表カラ御拾ヒ出シニナツタノ
デ、其表カラ見マスト其通りダと思ヒ
マス、所ガ率勢米價ノ「バラボラ」式ニ
依ルモノデ、上値二割ヲ越ヘタル場合、
下値二割ヲ割リタル場合ト云フ、安藤
サンノ計算サレタ其次ノ表ヲ御覽下サ
イマス、是デ結局米穀法トシテハ、
出動スル月ノ状態ガ御分リニナルダラ
ウト思ヒマス、ソレヲ實ハ表ニ作ッテ
來ヨウト思ヒマシタガ、間ニ合ヒマセ
ヌデシタ、率勢米價ニ依リ算出シタル
上値二割下値二割ヲ越エタル場合ト云
フノガアリマスガ、アノ表ト御對照下

サイマス、前ニ申上ゲマシタ表デ御
對照願フタノトハ違ヒマシテ、殆ド大
差ノナイモノニナルヤウニ考ヘテ居リ
マス、實ハ今其對照表ヲ作ッテ差上ゲ
タイト思ッテ作ラシテ居リマスガ、其方
ヲ御覽下サルト、大シタ違ヒガナイヤ
ウニ思ヒマスカラ、其方ヲモウ一度……
○松山委員 私ガ昨日質問ヲ止メマシ
タノハ、安藤博士ガ居ラレル間ニ、他
ノ御方モ率勢米價ニ付テ質問セラレタ
ラ宜イト思ッテ止メタノデアリマスガ、
私ノ質問ハ是デ終ッタノデハナイノデ
アリマス、私ハ米ノ方ノコトニ關シテ、
拓務省ニ御尋ネシタイコトガアリマ
ス、主トシテ是ハ朝鮮ノ關係ノコトデ
アリマス、ソレデ他ノ同志ニモ大分質
問ガアルサウデ、私モ此委員會ノ質問
モゴザイマスカラ、五時頃カラ私ハ御
差支ナカッタナラ質問サシテ戴イテ、ソ
レマデ朝鮮總督府及ビ拓務省ノ方ヲ大
臣及ビ政府委員ヲ呼ンデ置イテ戴キタ
イノデス

○西村委員長 宜シウゴザイマス、サ
ウ云フ事ニ致シマス——松山君ニ申上
ゲマスガ、拓務大臣ハ今日ドウモ繰合
セガ此方ヘ付カヌカモ知レヌト云フコ
トデアリマス、殖産局長ガ繰合せガ付
クサウデアリマスカラ、殖産局長デハ
如何デアリマスガ
○松山委員 ソレデモ宜シウゴザイマ

○西村委員長 承知シマシタ
○東郷委員 米穀課長ノ只今ノ御話、
私ハ同ジヤウニ思ヒマス、此二ツノ表
ヲ比較シマシテ、例ヘバ率勢米價「バ
ラボラ」式ニ依ルモノト云フ表ノ上二
割ハ明治三十七年ハ二十一圓二十六錢
九厘、モウ一ツノ率勢米價直線式ト「バ
ラボラ」式トノ比較ト云フ表ヲ見マス
ト、其處ノ高値ノ「バラボラ」式ハ二十
一圓二十七錢、是ハ四捨五入シテアリ
マスガ、斯ウ出テ居ルノデアリマスガ
ラ、「バラボラ」式ニ依ルモノト云フ表
ノ方ニ書イテアル上二割ノ數字ト、モウ
一ツノ表ノ高値「バラボラ」式ト云フ所
ニ書イテアル數字ハ同ジデス、ソレカ
ラモウ一ツハ、下二割ノ所ガ十四圓十
七錢九厘、モウ一ツノ表ノ低値ノ「バ
ラボラ」式ト云フ所ガ十四圓十八錢ト
出テ居リマスガ、是モ四捨五入シテア
ル、是ガ詰リ兩方同ジデスカラ、之ヲ
兩方ズツト比較シテ見ルト、私ノ申上ゲ
タコトハ、所謂直線式ニ依ル場合ト、
「バラボラ」式ニ依ル場合ハ、上値二割

「バラボラ」式ニ依ル場合ハ、上値二割
ノ場合モ、下値二割ノ場合モ、今言フヤ
ウニ十九箇年「バラボラ」式ノ方ニ依
タ方ガ高値ニ出ル、後ノ九箇年ガ安値
ニ出ル、斯ウ云フコトニナルノデスカ
ラ、此私ノヤリ方ハ、チットモ間違ッテ居
ナイヤウニ思ヒマス、月別ニソレガ何

同發動スルト云フコトハ申上ゲナイノ
デス
○荷見農林書記官 私ガ申上ゲヨウト
シマシタノハ、米穀法ガ發動シマス場
合ニハ、年ノ米價ニ依リマセヌノデ、
大體ハ月ノ米價ニ依ッテ致シマスカラ、
發動ノ度數ガ多イカ少イカト云フコト
ハ、其ノ月ノ價格ガ下ッタ月ガアルカ
上ッタ月ガアルカト云フ詰リ數ノ比較
ニナリマス、斯ウ考ヘマシタノデ、其
點カラ言ヒマス、米穀法ノ買ヒマス
トカ、賣リマストカ云フノハ、年ノ平
均米價ノ方デゴザイマセヌノデ、月ノ
平均米價デ御覽ヲ願フタ方ガ宜クハナ
イカト云フ點ダケデゴザイマス

○東郷委員 ソレハ少シ私ノ申上ゲ方
ガ違ッタ、即チ一番最近ノ昭和六年ヲ取
リマセウ、「バラボラ」式ニ依レバ低値
ガ十九圓七十錢、ソレカラ直線式ニ依
ルト十八圓二十八錢デスカラ、買ニ出
ル場合ニハ、「バラボラ」式ニ依ルナラ
十九圓七十四錢ヲ取ッタ買ニ出ル、所
ガ直線式ナラバ十八圓二十九錢マデ
下ッテモ宜イ譯デス、デスカラ買ニ出ル
場合ノ出動ハ「バラボラ」式ノ方ガ早ク
出動シナケレバナラスコトニナル、斯
ウ云フコトデス、ソレカラ今度ハ高値
ノ方ヲ見ルト、直線式ナラバ二十七圓
四十二錢、ソレカラ「バラボラ」式ダト
二十九圓六十一錢デスカラ、賣ニ出ル

場合モ「バラボラ」式ノ方ガ遅ク賣ニ出ル、斯ウ云フコトデス、所謂高値ノ方ニ二圓十九錢ノ差ガアリマス、低値ノ方ニ一圓四十六錢ノ差ガアリマス、詰リ「バラボラ」式ニ依レバ早ク買ニ出ル、而シテ遅ク賣ニ來ルト云フコトニナリマスカラ、生産者カラ見レバ非常ニ得ナンデス、サウ云フ場合ガ全體ニ十八箇年ニ於テハ多イヤウニ思フ、發動スルシナイハ、ソレハ實際問題デスカラ、月ニ依ッテ見マスケレドモ、其基準ガサウ云フコトニナル、ドウシテモ是ハ過去二十八箇年ノ実績カラ見レバ、詰リ「バラボラ」式ノ方ガ生産者ニハ有利デアル、直線式ノ方ハ生産者ニハ不利益デアル、斯ウ云フ斷定ヲセザルヲ得ナイ、此基礎ハ私ノ判斷ガ誤ッテ居ナイノデセウカト云フコトカ確メテ置ケバ宜イ

○安藤農事試験場長 今ノ東郷博士ノ御説ハ、數ノ上カラハ今仰シヤル通りデアリマスガ、先刻モ申上ゲタヤウニ、成程昭和六年ノハ「バラボラ」式ノ方ガ直線式ヨリ多クナッテ居リマス、高値ノ方モ低値ノ方モ兩方共多クナッテ居ルコトハ私ノ計算シタモノガ示ス通りデアリマス、併ナガラ私ハ先刻申上ゲタ中ニ、高値ノ續イタ場合ニハ全體「バラボラ」式ノ方ハ中値ガ多クナリ下リ氣味ノ低落ガ付イタ折ニハ、其逆ガ來

ルト云フコトヲ申上ゲテ居リマス、是モ今御話ニナッタ通り、大正六年大正七年ヲ御覽ニナレバ分ルノデアリマス、今昭和六年デハ一圓何ボ低値ガ違ッテ居リマスケレドモ、若シ昭和六年ノ實數ガ、或ハ米價率ガ百ヨリ以下ニ下ルト云フコトガアリマシタナラバ、昭和七年ノ折ニハ逆ガ來ルノデアリマス、ソレデ私ハサウ云フ風ニ直線ノ場合ハ同ジデアリマスケレドモ、直線ノ方ガモット和ヤカニ來ル、左程鋭敏ニ來ナイト云フ點ガ私ノ直線ガ妥當ダト申シタ、サウ云フコトニ實ハ私ハ計算シタノデアリマス、ソコハ御判斷ニ依ッテ「バラボラ」式ハ差ガ非常ニ多ク出ルト云フコトガ私ハ満足シ兼ネル點デアリマス

○東郷委員 私ノ判斷シタ所ガ間違ヒデナイヤウデスカラ、私ハ此問題ハ取敢ヘズ是ダケニシテ置キマス

○清家委員 午前ノコトハ分リマシタカ

○石黒政府委員 御意見ノ御陳述ニ必要ナルコトヲ直グ申上ゲナイデ甚ダ恐縮デゴザイマシタガ、農林省關係トシマシテ、七千萬圓ノ低利資金ヲ融通致シタ、アノ意味ノ失業對策ノ農山漁村低利資金、アレノ方ニ於キマシテノ勞銀ハ、色々ナ施設ノ種類ニ付テ色々變テ計算シテ居リマスカラ、大シタナン

デゴザイマスカラ、此處デ一々申上ゲマス、耕地ノ擴張改良ニ對シテハ、日ニ一圓ト云フ見當デゴザイマス、ソレカラ山林關係ノ方デ、林道ノ方ハ一圓ニ見テ居リマシテ、木炭ノ方ハ少シ何レ木炭勞働ハ何時モ高イヤウデアリマスカラ一圓二十錢、ソレカラ桑園ノ改植ノ方ノ資金ノ方ハ、耕地ト同ジヤウニヤハリ一圓ニ見テ居リマス、ソレカラ水産ノ施設、是ハ一圓三十錢ニ見テ居リマス、ソレカラ畜産ノ施設ノ中ノ大部分ヲ占メテ居リマス畜産ノ諸施設ニ付キマシテハ一圓二十錢ニ見テ居リマスガ、其中ノ一部分デアリマス、牧野ノ改良ト云フ方ハ、是ハ極メテ僻陬ノ地デアリマスカラ、是ダケハ六十錢ニ見テ居ルノデアリマス、ソレカラ其外副業及ビ農業諸施設ノ方ハ一圓二十錢ニ見テ居ルト云フコトデ大體ニ於テ一圓カラ一圓二十錢ノ見當ニ見テ居ルト御了解下サレバ宜カラウト思ヒマス

○清家委員 更ニ農林省關係ノミナラズ、鐵道省ニモ兩方承知致シタイノデアリマスケレドモ、大體ノ立論ノ基礎ハ、今ノ御答辯デ満足致シマス、ソレデ率勢價格ガ生レ、十八圓二十八錢二厘トナルト言ハレタコト、ソレカラ物價指數ニ較ベテ米價指數ガ上ッテ居ルカラ、生産者ノ方ガ利益デアルト

云フ計算ニナッテ居ルト云フコト、間違ッテ居ルカ知レマセヌガ、サウ承ッタヤウニ思ッテ居リマス、其處ガ私ハ今回ノ率勢價格ト云フモノガ如何ニ實際ニ合ハヌモノカト云フコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマス、先ニ尊重スベキ松山委員ト安藤博士トノ色々ノ御説ヲ聞キマシタケレドモ、私共カラ見ルト云フト、所謂舟中大學ヲ講ズル昔カラノ學者ノ通弊ニ立チナサッテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、左様ナ議論ハ一體何ニナルノデアリマス、人間ノ生産費ハ、誰ガ考ヘテモ二十五圓、是ハ明瞭ナンデアリマス、帝國農會ハ二十六圓ト言ハウガ、誰ガ何ト言ハウガ言フマイガソナコトハ問題ニナラナイ、一俵十圓シナイヤウナコトデ、到底作ッテ合ハナイト云フコトハ、是ハモウ高等數學ヲ知ルマイガ、イヤ代數幾何ヲ知ルマイガ、皆分ッテ居ル實際ノ問題デアリマス、其實際ノ問題ニ付テ立法ヲシ、政治ヲ行フト云フコトガ即チ政府ノ任務デアル、吾々議員モ努メナケレバナラス、ソレヲ強ヒテ求メタル所ノ數字ニ依テ、米穀法ヲ出動スル、セヌナント云フコトハ、餘リニ事實ト離レタ一議論ト思フ、閑日月ガアッテ閑暇巧ヲ弄スルコトガ出來ルナラバ何ナリトナサイ、今ハ左様ナ時デアリマセヌ、實ニ吾ガ農民ハ非常

ニ苦痛ノ境遇ニ立到ッテ居ルノデアリマス、即チ前ニ申ス通り、準備ナクシテ金ノ解禁ヲ致サレ、又消費節約ヲ宣傳サレマシテ、物價ガ非常ニ下リマシタ、井上大藏大臣デサヘモ斯ノ如クナラウトハ思ハナカッタト云フガ、驚畏ヲ以テ見ルベキ物價ノ下落ヲ呈シテ居ルノデアリマス、而モ値段ハ少シモ動カナイ、斯様ナ時ニ、ドウシテ斯ノ如キ相場ヲ以テ買上グラレテ農民ガ堪ヘルノデアリマスカ、農民ハ何處ニ生キントスルノデアリマスカ、問題ハ端的ニ申上デレバサウデアリマス、單刀直入ニ申セバ迂遠ナル學者論ナゾハ取ルニ足ラナイ、問題ハ全ク茲ニ歸著スル、是ハ民政黨ノ罪ダ、誰ダッテ異論ガアル筈ガナイ、天下ノ輿論タルコトハ天下ヲ代表シテ申上ゲル次第デアリマス

(「大キイト呼フ者アリ」)大キイト云フテモ其通りデアル、ソコデ私ハ、斯様ナ議論ハ一應御撤回ニナリマシテ、天下ノ人ガ見テ以テ適當ナリトスル所ノ法律ヲ以テ御換ヘナッタラ宜カラウト思ヒマス、元來ガ暴騰暴落ヲ防グト云フ米穀法ノ精神ハ既ニ失ッテ居ルト言ハナケレバナラス、二十七圓致シタモノガ十七圓九十五錢デ買上グラレル、其差額ガ三割モアルト云フニ至ッテハ、暴落シタコトハ事實デハナイカ、何故此處マデ暴落スル前ニ出動ナサラナ

カッタノデアアルカ、先日モ東君ガ當局ニ居ラレル時分ニ、九月ニ買入レタト云フコトニ付テ云々ノ議論ガアッタ、九月ニ買入レルノモ必要已ムヲ得ヌトスルナラバ、何故十月ニ出動セラレナカッタ、十二月ニナッテ漸クヤッテ尙早カッタトハ何事デアリマス、一體米穀法ヲ玩具ニセラレテ居ル、實ニ農民ノ實際ノ懷口合ニ鑑ミテオヤリニナル積リデアリマスカ、國民全體ノ人ニ對シテモ十七圓九十五錢ハ適當デナイト云フコトハ、前ニモ申ス通り勞銀ヲ調ベテモ分リマス、古來自由勞働者タル日傭人ト云フモノハ、米三升ガ賃銀ト見タモノデアアル、然ルニ一圓、一圓十錢、一圓二十錢、三十錢ト云フ勞銀ヲ與ヘヤウト云フナラバ、米何程ヲ與ヘラレマスカ、ソレダケニ需要者ヲ庇ッテ農民ニ損ヲ與ヘナケレバナラスノデアリマス

ハ昔ノ水飲百姓ト違ヒマシテ、今日ハ子供ノ教育モアリマス、其他種々ナル義務ヲ負フテ居リマスカラ、吾々ハ決シテ米三升ヲ以テ適當ナリトハ思ハナイ、ドウシテモ四升位ハ要ルト思フノデアリマス、與ヘナケレバナラスト思ヒマスガ、四升ニ致シマシテモ餘リニ懸隔ガアルデハアリマセウカ、是デモモ多過ギルノデアリマセウカ、是デモ農林大臣ハ生産者ニ幸ニシテ消費者ニ不幸ナリト言ハレルノデアリマスカ、私ハ此點ハ政治ト云フモノハ、農林大臣ヤ學者ノ考ヘテ居ルヤウナ議論デアリマセヌ現實ニ對應シナケレバナラスノデアリマス、然ルニ現實ニ離レルコト斯ノ如キトスルナラバ、農林大臣ハ天下萬民ニ對シテ何ト言ハレルカ、一應ノ御説明ヲ聽イテ又續ケマス

○町田國務大臣 御熱誠ナル農村ノ事情ヨク御意見ヲ立テラレタコトニ對シテハ、私ノ立場トシテ謹ンデ御意見ヲ承ッテ置キマス、今後ノ施設等ニ付キマシテハ相當私モ各方面ノ事情ヲ取寄セテ居リマスガ、今ノヤウナ御意見ハ今後ノ施設ニ對シテ最モ大ナル參考トシテ考慮スルコトノ出來ル問題ト感謝致シマス、唯米穀法ノ關スル限リノ問題ト致シテハ、先刻モ申シタ通り、今日ノ農家ノ非常ナ疲弊困憊ニ在ル事情ハ、爲政家トシテ考ヘナケレバナラスコトハ當然デアリマス、今日ノヤウナ不況ナ場合ニ此方法ガ最モ宜シクナイト云フ御話ガアリマシタガ、私モ感ジニ於テハ御同感デアリマス、併シ其農家ノ今日ノ困憊セル事情ニ對シテハ出來ルダケ之ヲ緩和シ、之ヲ救済スルト云フ施設ハ致スト同時ニ、此立法ハソレト離シテ永ク問題トシテ、別個ニ御考究ヲ願ヒタイト私ハ御願致シテ居ルノデアリマス、農家今日ノ實情ニ對シテ何等カ施設スルコトニ付テハ、私ハ相

○安藤農事試驗場技師 モウ別ニ御質問ガナケレバ是デ私引下ラシテ戴キマス、ドウモ私ノ言葉ノ足ラナカタコトハ御説申上ゲテ置キマス、委員長ガ歸テモ宜イト云フ御話デスカラモウ私ガ居ラナケレバナラヌコトハナイデセウ、失禮致シマス

○胎中委員 主トシテ松山君ノ應答デアリマシタガ、松山君モ五時カラ他ノ質問ニ移リタイト云フコトデアリマスカラ、若シ萬一質問應答カラ更ニ必要ナ場合ニハ御繰合セテ御願致スコトニシマシテ、御歸リ願ッテ差支ナイト思ヒマス

○清家委員 只今ノ農林大臣ノ御説ハ私ニハント分リマセヌ、農林大臣ハ永久ノ立法デアルガ故ニ忍ベト云フ御言葉デアリマスガ、永遠ノ立法ヨリハ今日ノ目前ノ急ヲ救フコトガ政治家ト致シテハ大切デアリマス、永遠ノ急ヲ救フ爲ノ永遠ノ立法ナラバ今少シク研究ノ餘地ヲ與ヘラレテ宜カラウ、私共ニ高等數學ヲ研究スルノ時間ヲ與ヘテ宜カラウ、茲ニ非常ナ農林大臣ニハ、御考違ガアリハシナイカ、米穀調査會ト云フモノヲ非常ニ尊重セラレテノ御話デアリマスケレドモ、私共ハ所謂調査會ト云フモノハ左權ニ尊重ヲシナイノデアリマス、政府ガ今ヤ調査會ヲ有スル百二十、而モ何ヲ爲シタノデス、

唯定連ノ委員ヲ任命シテ、サウシテ或ル時間ニ呼寄セル外ニ何ヲスタンデセウカ、其實蹟ニ顧ミテ御覽ナサイ、調査會ハ空文デアアリマセヌカ、而モ政府ガ爲スベキヲ爲サズシテ、唯調査會調査會ト云ッテ調査バカリシテ居ル、斯様ナ政策ヲ實現シヨウトスル政府ノヤリ方トシテハ、先ヅ第一ニ國民ノ負擔ヲ輕減シナケレバナラヌ、然ルニ行政整理モ是ヨリ調査ニ取掛ルト云フ、又税制整理其他ノモノモ是カラ取ッテ掛ルト云フ、何タル怠慢デアリマセウ、今日ノ農業界ノ窮迫狀態ハ其怠慢ヲ許ス程ノ迫リ方デハナイ、小學校ノ教員ノ俸給サヘ拂ヘヌデハナイカ、是ダッテ町村長ナドガ左様ナコトニ手ヲ觸レタリシナイノハ萬々デアアル、併シ行政整理モシテ吳レナケレバ税制整理モシナイカラ、政府ニ向ッテ屢々行政整理、税制整理ヲ迫ルケレドモ、政府ガ著手シナイニ依ッテ、町村長ハ已ムコトヲ得ズ形ヲ以テ政府ニ迫ルヨリ致方ガナイノデアアル、判任官ノ俸給平均ハ八十五圓デアッテ、同ジ資格ヲ持ッテ居ル教員ノ俸給平均ハ僅カ五十一圓デアアル、其間ニ大ナル差額ガアルト云フコトヲ認メツツモ、教員ノ減俸論ヲ唱ヘル所以ノモノハ何デアアルカト云ヘバ、之ヲ農、商、工ノ收益ニ照シテ月給取ガ餘リニ宜過ギル、故ニ比較的低クテ氣ノ毒デアルト

云フコトハ萬々承知ノ上デ泣ク、教員給ニ取ッテ掛ッテ居ルノデハナイカ、ソレヲ彼此レト聞イテモ、政府ハ衆議院ニ於テバカリデナク、貴族院ナンカデモ本當ノ事ハチットモ言ッテ居リヤセヌデハナイカ、之ヲ看テ取ラヌデ國家ノ大政ヲドウシテ變理スルコトガ出來ル、農林大臣ガ之ヲ知ラヌデドウナル、斯様ニシテ公租公課ヲ拂フニモ耐ヘズ、而モ貸方ノ銀行ハ不動產擔保ニ對スル回收ノ急ヲ迫リツ、アル、斯クシテ行ケバ永久ヲ俟タズシテ目前ニ農村ガ破壊セラレテ潰レテ行ク、而シテ遂ニ英國ノ如クナッタラドウシマス、左様ニナッタ場合ニハ農林大臣ノ永久ナル米穀買上若クハ賣拂ガ何ヲ意味シマスカ、農村ノ保護者タルベキ農林大臣ハ永久ノ爲ニ此目前ノ急ヲ知ラヌ顔ヲシテ居ル、私ハ國家ヲ御委セ申スノニ左様ナ御人格デナイ、左様ナ御考デ居ラレルモノデハナイト信ジテ居リマシタガ、今日ハ實ニ驚イテ居ルノデアリマス、天下ノ爲メ、國民ノ爲ニ、自分ハ決シテ農村ヲ破壊スルモノデナイト云フ立證ヲ此處デ爲サツテ貰ヒタイ、ソレガ出來ナイヤウナラバ此米穀法ノ改正ト云フモノハ全ク意味ヲ爲サナイノデアリマス、公租公課ノ負擔モ、其他總テノ義務モ少シモ變ラナイノニ、米ハ十八圓二十八錢デ賣レヨト云フコトガ

ドウシテ農村ニ聲明ナサルノデアリマス、此點ニ付キマシテ國家ノ税制ノ實ニ大切ナル事デアリ、根本ノ問題デアリマスカラ、農林大臣ノ責任アル御説明ヲ願ヒマス、御辯明ヲ願ヒマス

○町田國務大臣 全國國民ノ多數ヲ占メテ居ル所ノ農村問題ヲ中心トシテノ只今ノ熱情溢レタル御意見ハ能ク承ッテ置キマス、唯、今朝來承ルノミナラズ、先般農林省ノ官邸ニ御出デテ願ッタ時ニモ、御意見ノアル所ヲ十分私承知致シテ居リマス、長ク地方行政ノ事、殊ニ町村自治ノ問題ニ對シテ長イ間御盡力セラレテ居ル清家君ノ御意見ハ、其時モ能ク承ッテ、私ガ職ヲ農林省ニ奉ジテ居ル點カラ見マシテ、其當時モ傾聽シテ居リマシタガ、今日モ亦左様デアリマス、不敏デアリマスガ農林行政ニ當ッテ居ル私トシテハ、日夜農村ノ今日ノ事情ニ對シテ、如何ニスレバ之ヲ緩和スルコトガ出來ルカト云フコトニ付テ心膽ヲ碎イテ居リマス、別ニ御披露申ス程ノ效果ガ十分無イト云フ御批許モ受ケテ居ルガ、昨年來大藏省ト交渉シマシテ、特ニ農村ノ方面ニ向ッテ預金部ノ低利資金ヲ得テ居ルト云フコトモ、他ノ方面カラ見レバ比較的多イノデアリマス、殊ニ屢々執レノ内閣ニモアリマシタ養蠶ノ爲メトカ、米ノ爲メトカ、肥料ノ爲メトカ云フ鹽梅ニ、低利

資金ヲ其都度々々ニ孰レノ内閣デモ考
慮シテ居リマスガ、金解禁ヲ致シタコ
トハ、貨幣價值ヲ上ボシテ諸物價ノ下
落ヲ來タシタ一ツノ原因ニハナルト私
モ申シテ居リマス、公私ノ節約ヲシテ
之ガ爲ニ消費ノ幾分減退シタコトモ、
物價下落ノ一ツノ原因トナツテ居ルト
云フコトハ、私ハ本會議デモ明カニ申
シテ居リマス、併シ斯カル非常ナ低落
ヲ來シタ主ナル原因ハ、大藏大臣ノ言
葉ヲ藉ツテ言ヘバ、所謂世界の不景氣モ
非常ニ大キナ原因ヲ爲シテ居ル、私ハ
金解禁ガ貨幣價值ヲ上ボシテ、我國ノ
物價下落ノ一ツノ原因ヲ爲シテ居ルト
云フコトハ否認致シマセヌ、明ニ私ハ
答ヘテ居ル、購買力ヲバ幾分タリトモ
縮メテ、之ガ爲ニ價案ヲ下落サシタ一
ツノ原因デアルト云フコトモ私ハ明カ
ニ申シテ居ルノデアアル、併シ現内閣ノ
建方ハ準備ガアルトカ、ナイトカ云フ
コトハソレハ御議論トシテ、此大事業
ヲヤルコトヲ致サナカッタナラバ、恐ラ
ク一年乃至二年ト申シテ宜シイカ、僅
ノ日月ノ間ニ經濟上ニ大變化ヲ來シ
テ、之ガ爲ニ農產物ニ興ヘル暴落ノ程
度ハ是ヨリ甚ダシカッタト、私共ハ左様
ニ信ジテ居ルノデアリマス、申スマデ
モナク此處デ經濟論ヲ申シテハイカヌ
カモ知レマセヌガ、輸入超過ノ結果正
貨準備モ減リ、之ガ爲ニ經濟ノ建直シ
ラ、斯様ナ事ガ出來テ居ルノデアッテ、

ガ出來ヌト云フコトガ續キマシタナラ
バ、日本ノ經濟界ガ根柢ヨリ崩レルト
云フノガ私共ノ建方デアリマス、此見
地ヨリ總テノ經濟策ガ出發シテ居リマ
スカラ、此大政策ヲ行フ爲ニ、農家ト
云ハズ、商家ト云ハズ、工業家ト云ハ
ズ、將來日本ノ經濟ノ根柢ヲ建直ス上
ニ於テ相當ノ辛抱耐忍モシテ貫ヒタイ
ト云フ希望モ述ベテ居リマスガ、ソレ
ハ別問題ト致シマシテ、農家ノ今日ノ
實情ニ對シテ、斯様ニ私トシテモ苦心
ヲ致シテ居リマスルガ故ニ、失業低利
資金七千萬圓ヲ幾分タリトモ農村ノ緩
和ニナリハセヌカ、先刻御示シノ一圓
トカ一圓二十錢ト云フノモ、是ハ農家
ガ將來自分ノ財産ト申シテ宜シウゴザ
イマセウ、財産ヲ殖ス爲ニ自ラ稼グ其
賃銀デス、一圓トカ一圓二十錢ニ積ツテ
居ル、人ヲ雇フタル意味デハナク、建方
ハ嘸ゾ困ルダラウカラ御前達働ケ、賃
銀モヤル、働イタ結果ガ幾分タリトモ
自分ノ財産、富ガ殖エルノデハナイカト
云フ此建方カラ、此七千萬圓ノ八割ガ
農家ノ手許ニ行クト云フ、是ハ内輪ヲ
申シテハ甚ダ相濟ミマセヌガ、抵當預
金部デモ困難デアリマス、大藏省モ困
難デアリマシタガ、私共ハ農村ノ今日
ノ實情ヲ見ルニ忍ビナイカラシテ、幾
分タリトモ緩和シタイト云フ努力カ
ラ、斯様ナ事ガ出來テ居ルノデアッテ、

今後ト雖モ更ニ農村ノ幾分タリトモ緩
和スルコトヲ致シマス、現ニ今日低利
資金トシテ清家サンアタリガ御承知ノ
通り、耕地整理其他ノ爲ニ預金部カラ
出テ居ル低利資金ガ、農林省ヲ通シテ
行ッテ居リマスル、應急的デナイ低利資
金、普通低利資金ト稱スルモノガ一億
五千萬圓バカリアリマス、然ルニ斯様
ナ年デ農產物ガ暴落シテ居ッテ、所得稅
其他ノモノガ不景氣ト共ニ稅額モ減リ
マセウガ、地租其他ノ關係ニ於テハ不
景氣ニナッタ爲ニ、稅ヤ公租公課ガ減ラ
ナイモノモアルト云フコトモ私ハ御同
感デアリマス、故ニドウカ致シタイト
云フ爲ニ、此一億五千萬圓ノ低利資金
ヲ、斯ル農產物ノ暴落シテ困ッテ居ル、
人口ノ過半ヲ占メテ居ル農村ノ爲ニ何
トカ致シタイト云フ積リデ、此一億五
千萬圓ノ低利資金モ、預金部デ不日委
員會ニ掛ケマスガ、更ニ長イ年期ニ變
ヘルカ、或ハ此二三年ハ元金ヲ拂ハヌ
デモ宜イト云フ二者孰レカノ方法ニ
依ッテ、私共ノ考ヘテ居ル事ヲ現スコト
ニ大體話ガ決マツテ居ルコトデ、是モ小
サイ事デナイカト云ヘバ小サクアリマ
スガ、左様ナ意見デ私ハ出來ルダケ努
力シテ居ル積リデアリマスカラ、今日
ノ實情ト切離シテ米穀法ヲヤレト云フ
コトハ、多少私ノ考ガ冷淡ナ意味ニ聞
エルカモ知レヌガト云フコトヲ前以テ

御斷リヲシテ居ッテ、此法律ハ法律トシ
テ御研究下サイ、農村今日ノ現狀ニ對
シテ何等カノ救濟策ヲ講ジナケレバナ
ラスト云フコト、施設ヲ別ニ御考ヘ
下サレバ私共モ仕合セデアリマス
○清家委員 只今ノ農林大臣ノ御心情
ハ能ク分リマシタ、私ハ國民ニ代ッテ
御禮ヲ申上ゲマス、御志ハ分ッテ居リマ
ス、サリナガラ農林大臣ノ御考ハ私共
ト根本的ニ異ル點ノアルノハ是非モア
リマセヌケレドモ、第一ニ金解禁ニ對
シマスル大藏大臣ノ考ナドト云フモノ
ハ、實際之ヲ眞ニ受ケルコトガ出來ル
モノデハナイ、即チ國民トシテ借金ノ
片付ケヲ致サウシ、政府トシテハ負擔ノ
輕減モシヨウシ、然後後ニ爲替相場ヲ吊
上ゲ物價ヲ引下ゲルト云フノデナケレ
バナラスノガ、頭尾逆行サレテ居ル、彼ノ
新平價論ノ如キモ井上君ナドハ誠意ヲ
持ッテ居ルト云フコトヲ認メラレマセヌ、
大藏大臣ノ井上君ハ何モ誠意ガナイ、
例ヘバ千葉ノ大會ニ於テ演說ヲナサル
ノニ、何ヲ世迷言ヲ仰シヤッタノデア
ルカ、新平價ヲ用ヒントスルノハ獨逸
ノ如キ一兆分ノ一ト云フヤウナ價格ニ
ナッタ時ニヤルベキモノダト仰シヤッ
テ居ル、何デアアル、獨逸ハ何故一兆分ノ
一ニナッタ、國債及ビ紙幣ヲ銷却スル
コトガ出來ヌノデ一兆分ノ一、斯ウ
ナッタノデハナイデスカ、ソレガ何ノ

第五類第五號 米穀法中改正法律案(政府提出)外一件委員會會議錄 第十三回 昭和六年二月二十八日

新平價ノ問題デアル獨逸ノ馬克ハ馬克
デ立派ニ日本ノ金五十錢ニ通ッテ居ル
デヤアリマセヌカ、何處ニ新平價ヲ
用ヒタ、左様ナ分り切ッテ事ヲ知ラス
ト思ウテ胡麻化ス井上君ノ議論デア
ル、濠洲ガ解禁ヲシテ今日ノ状態ヲ
見タト言フガ、是ハ國家社會主義ヲ極
端ニ用ヒタ結果デヤナイカ、金ノ解禁
ノ問題デハナイ、佛蘭西ガドウダ、佛
蘭西ハ時ノ相場ガ五分ノ一、即チ之ヲ
邦價八錢トシテ解禁シタノデヤナイ
カ、サウシテ佛國ノ財界ニハ動搖ガ無
イデヤナイカ、是等ノ世界周知ノ事マ
デモ悉ク偽リ、議論ヲ狂ゲテモ、井上
君ハ自己ヲ正シタル所ノ人デアアル、
自己ヲ正シタルガ爲ニハ如何様ナル
虚偽モ申立テルコトヲアノ人ハ忍レナ
イデアアル、斯様ナ人ノ議論ガ何デス、
金ノ解禁ヲシタ事ガ何デス金ノ解禁ヲ
シタ事ハ何デモ無イデヤナイデスカ、
唯爲替相場ガ下レバ輸出ニ都合ガ好ク
テ、輸入ニ都合ガ惡イト云フ事デナイ
カ、準備ガ出來テ然ル後ニ金ノ解禁ヲ
シタト言フガ、唯爲替相場ヲ釣上ゲレ
バソレヲ以テ解禁ノ準備ナレリトス
ル、是ハ片岡直溫君ガ前ニ答辯スル時
分ニ、金ガ四億五千萬圓ト言ッタト同
ジコトデアアル、ソレガ何ニナリマス、
サウシテ遂ニ銀行ヲ倒シテ、「モラトリ
アム」ニ終ッタノデナイカ、若シ今日ノ

如キ米價買上政策ヲ御執リニナルナラ
バ、農村ハ「モラトリアム」ヲヤルヨリ
仕方ガナイ、ソレヲ御望ミデアリマス
カ、モウ「モラトリアム」ガ行ハレテ居
リマス、彼等自身ハヤッテ居リマス、借
金モ拂ハナイ、賴母子講モ休ミト云フ
處ガ大分アルノデアリマス、搗テ、加
ヘテ政府ノ買上米ガ十八圓二十八錢ト
云フヤウナコトニナッテ行ッタナラバ、
先日農林大臣ハ米穀法出動ノ效能ヲ高
調ナサレテ、若シ之ヲヤラナカッタナラ
バ、確ニ大阪ノ相場師ナンカハ十圓マ
デ叩キ落シタルト豪語シテ居ルト仰
シヤイマシタ、是ハ井上君ノ仰シヤル
コト、似テ居リマス、性格ガ斯ノ如ク
違ッテ居リナガラモ、閣僚トナラレテ御
附合ナサルトヤハリウツルモノデアアル、
是ハ實ニ殘念ニ思ヒマスガ、ソノ事
ニナルモノデヤアリマセヌ、サウナッテ
ハ蟲ニ食ハシマス、農民モヤケ糞ニナ
リマシテ賣リマセヌ、農林省ハ外國米
ト同價デ賣ル度胸ガアリマセウケレド
モ、而モソレハ古米デアリマス、新米
ヲ十圓デハ農民ハ賣リマセヌ、コンナ
値デ賣ラレテハ支拂停止ヲスルヨリ仕
方ガアリマセヌ、假定ノ事ヲ彼此レト
持ッテ來テ、現實ノ整理ヲシナケレバ
ナラヌ御方ガ、井上君ナラ仕方ガアリ
マセヌガ、穩厚篤實ナル農林大臣トシ
テハ左様ナ事ヲ御弄ビニナラナイ方ガ

御人格ヲ全ウスル所以デアルト、是ハ
農林大臣ノ爲ニ御忠告シマス、借テ其
支拂ガ出來ナクナッタ農村ヲ如何ヤウ
ニ御回復ナサル御積リデアルカ、其責
任ヲドウナサルカト言フノデス、私共
ハ現實ノ國民ガ救ヒタイ、若シ低利資
金ノ御融通ヲシテ下サルナラバ洵ニ有
難イ事デアリマスケレドモ、是ハ借金
カラ見レバ九牛ノ一毛、所謂風光ヲ賞
デ、日月ヲ友トスルノ類デハナイカト
失禮ナガラ思フノデアリマス、サウシ
テ是ハ同僚カラ詳シク申上ゲマシタ
ガ、アノ低利資金ガナゼ早ク貸借ガ出
來ナカッタカト云フト、實ハ金ノ欲シ
イ連中ハ拂フ能力ガ無いノデ、町村ガ
ソレヲ借りナケレバナラナイ、要ラヌ
人ガ借りテ要ル人ノ拂ッテ行カナケレ
バナラヌコトニナッテ來ルカラ、ソレガ
厭ヤサニ今ノ融通ガウマク行カナカッ
タノデアリマス、是ハ町村ノ事情ヲ私
ハ能ク知ッテ居リマスカラ申上ゲテ置
キマスガ、洵ニ遺憾ナガラ、先年アナ
タデアッタカ、ドナタデアッタカ知ラス
ケレドモ、養蠶資金ヲ御出シニナッテ、
ソレガ一年、二年ト延期ニナッテ、今以
テ拂ヘヌデヤアリマセヌカ、此間モ拂
戻ノ表ヲ戴イタノデアリマスガ、多額
ノ金ガ戻ッテ居リマス、併シソレハ戻
ル時分ニ戻ッタノデ、今日ノモノデア
リマセヌ、サウシテ私設「モラトリア

ム」若クハ百姓ノ滅亡、斯様ナ事ガ重
ナリ重ッテ行ッテ、農村ガ荒廢トナッ
タ時ニドウナサルカ、斯ウ云フ事ヲ御尋
タイノデアリマシテ、如何ニモ難儀ナ
家ヲ御預リニナッテ居ルノダカラ、一ツ
御責任ノアル御答辯ヲ願ヒマス
○町田國務大臣 今日マデ私ノ及バズ
ナガラ施設シテ居リマス大綱ヲ申上ゲ
マスガ、之ニ依ッテ満足トハ斷ジテ考ヘ
マセヌ、今ノ五十億ノ農家ノ負擔ニ付
キマシテモ眞ニ大藏大臣ト先頃話合ヲ
シテ、早速議會デモ濟ミマシタナラバ、
此五十億ノ農家ノ負債ヲ如何ナル方
法、如何ナル順序ニ依ッテ輕減スルカト
云フコトニ、眞ニ協議ヲ致シテ居リマ
ス、併シ其事ニ付キマシテ今茲ニ具體
的ナ成案ヲ申上ゲルマデニ進ンデ居リ
マセヌガ、私ガ今後モ當分此職ヲ辱メ
テ居リマスレバ、私ハ之ニ對スル對案
ハ、必ズ作ッテ御覽ニ入レルト云フコト
ヲ申上ゲテ置キマス、必ズ對案ヲ作ッ
テ御覽ニ入レルト云フコトヲ誓ッテ申
シマス、是ハ大藏大臣モ相當同ジ考ヲ
持ッテ、此五十億ノ負債ヲ如何ニ整理ス
ルカト云フコトハ、今後ノ大問題トシ
テ俱ニ研究シヨウデヤナイカト云フ話
ガ進ンデ居ルコトヲ明カニ申上ゲテ置
キマス、而シテ成程先頃マデ米ヲ賣ッ
テ居ッタ者ハ、モット酷ク下ゲルト云フ

コトヲ言ッテ居ッタ、先般二百萬石カ出動シタガ爲ニ、之ヲ喰止メタト云フ意味申上ゲタノハ斯様ナ意味デアリマス、併シハ彼等ガ十圓位ニシヨウトシタノヲ止メタノデアリマセヌ、御承知ノ通り十五圓位ニ下ゲタノヲ先ヅ第一回ノ出動當時ハ三圓位マデ大體上ツタト思ヒマス、唯之ヲ何故ニ十月ニヤラナカッタカト云フコトニ付キマシテハ、先般モ申シタ通り餘程苦心ヲ致シマシテ——併シアナタノ方ノ御郷里ノ四國、九州方面ニ於キマシテハ、十一月デモ新米ヲ買入レルニハマダ時期ガ早イト云フ議論ヲ相當聞イタノデアリマシタガ、全國ヲ通ジマシテ十一月ノ末ニ發表スレバ全國ニ行渡ルト云フ意味デ十一月ニヤッタノデアリマシテ、十月ニヤルト云フ考ハ相當考慮シマシタ、併シ實際問題トシテハ十一月ガ宜カラウト云フコトニ決ツタノデアリマス、何故ニ其十一月ヲ選ンダカト云フ事務的ノ事ハ、若シ御必要ガアレバ政府委員カラ申サセマス

○清家委員 私ハ農林大臣ニ難キヲ責メテ氣ノ毒ニ思ヒマスケレドモ、洵ニ六千萬ノ農民ガ活ルカ死ヌカノ際デアリマスカラ、モットシツカリシタ考ヲ聴キタイノデアリマス、唯五十億ノ負債整理ニ付テハ大キニ考ガアル、大藏大臣モ同意デ近キ將來ニ於テ對策ヲ講ズ

ルト云フ言葉ヲ頼モシク感ジテ、私ハ之ニ深キ望ヲ掛ケテ置キマスカラ、ドウカ御裏切りニナラナイヤウニ祈ッテ置キマス、吾々モ町村長ト致シマシテ對策ヲ持ッテ居リマス、負債銷却ノ組合ヲ作りマシテ、多クノ人ニ責任ヲ以テヤラシテ居リマス、是ハ五年、十年デヤレル問題デアリマセヌカラ、御互ニ此問題ハ國家ノ爲ニ極力御盡シアラシコトヲ重ネテ申上ゲマスガ、サウ云フ御意思ヲ翻ヘサナイヤウニ願ッテ置キマス

次ニモウ一ツ伺ハナケレバナラヌノデアリマスガ、私ハ斯様ナ永久ノ立法ヲ爲サルヨリモ、今日無理デナイト總テノ人ガ承認スル點ニ於テ、今暫ク此米穀法ヲ御用ヒニナラレテハ如何デスカ、時價々々ト仰シヤルケレドモ、常ニ內國ノ時價ト違フ値段ヲ以テ外國賣拂ヲ爲サレテ居ル、即チ時價均齊ヲ破ツタ、遂ニ一度破ルニ至ツタ所ノ當局者ハ、私ハ今日ノ時價ヲ破ッテモ一ツモ差支ナイ、況ヤ是ガ眞ノ米穀法ノ出動ノ理由ヲ爲スモノデアルトスルナラバ、如何ニナツテモ宜シイ、要スルニ斷ノ一字アルノミデアアル、良イ御考ハアルケレドモ、斷ガ足りナイ、最後ハ斷デス、善イ惡イ位ハ皆知ツテ居リマス、一ツ英斷、果斷ヲ玆ニ見ルダケデス、農林大臣一ツ國民ノ爲ニヤッテ下サイ

ソレカラ私ハ數量ノ問題ニ付キマシテ、一寸最初ニ御話ヲ申上ゲマシタガ、果シテ今回ノ三百萬石ト、農林省デ廳ヲ買入レントスル備荒貯蓄米ノ五十萬石ト、千六百萬俵ノ穀トヲ以テ、數量ヲ調節シ能フヤ否ヤ、私ハ今價格論ヲ致シマシタガ、今度ハ數量論ニ移リマス、是ガ果シテ十二分ニ目的ヲ達シ得ル數量デアルカ非常ナ疑ヲ持ッテ居リマス、先程モ申上ゲマシタ通り、今年ノ作得ガ一反歩平均二石六升トハ——私ハ家代々檢見ノ家ニ生レマシテ、オギャート云フ時カラ、稻穂一握リスレバ、是ハ何石ト云フコトヲ知ッテ居ル、全國ヲ舉ゲテ私ハ二石六升トハドウシテモ受取レヌノデアリマス、即チ數量ノ調ガ不十分ナレバ、折角ノ御出動モ何ノ效モアリマセヌ、成程米穀法ノ出動ニ依リマシテ、十五圓ニモナラントスルモノヲ十七圓迄上ゲテ來タノデスカラ、其御效能ハ私モ認メマス併ナガラ、昨今折角買上ゲテ居ルニ拘ラズ、定期ニ於キマシテモ、現物ニ於キマシテモ、下落スル傾向ハ如何デスカ、モウ此效能書ガ薄クナツテ來タ嫌ガアルノガ其理由ノ一ツデアリマス、モット徹底的ニ之ヲ買收シナケレバ、市場ノ價格ヲ保ツコトハ出來ナイと思フ、ソレカラ東君ニ對シテハ甚ダ相濟マスケレドモ、別ニ私ハ東君ヲ答メル譯デハナイ

カラ、東君一ツ御許ヲ願ヒマスガ、一昨年ノ三月ニ全國ノ農會長連ガ集リマシテ、百萬石ヲ買入レテ吳レト言ヒ、國庫ノ金三千萬圓ヲ出シテ米ヲ買上ゲタコトガアッタ、是ハ閣下ノ能ク御存ジノ事デアリマスガ、當時昭和二年ノ豐作ノ餘ヲ受ケマシテ、五百萬石ノ過剩米、繰越米ガアッタ、五百萬石餘ッテ居ル所デ、百萬石ヲ買上ゲテ、何モナラナカッタデアリマセヌカ、此數量調節ト云フコトガ、即チ價格ヲ維持スル所以デアアル、一方カラ言ヘバ、價格ガ數量ヲ維持スル所以デアアル、是ハ不可分ノ關係デアアル、今回ノハ如何デアリマスカ、マダ十月ニ出動ガ出來ナカッタトハ申シマスガ——古米ノ買上ガ出來ナカッタトハ申シマスガ、私共ハ其間ニ出動ノ餘地ガ大分アッタラウト思フ、ソレヲドウモ暴露シテ後ニ買入レルト云フコトハ、米穀法ノ目的ヲ一旦捨テ、然ル後ニ出動シタト云フコトニナル、是ハ爭フベカラザルコトデアリマセヌカ、ソレニ付キマシテハ今ニナツテ之ヲ責メテモ、農林大臣ヲ苦シメルノミデアリマスカラ、意見ダケ申上ゲマシテ、強ヒテ御答辯ヲ求メマセヌ、併シ將來ニ付キマシテハ、鮮米ニ付キマシテハ東君ガ具サニ方策ヲ述ベテ、一千萬石若クハ八百萬石ヲ貯藏スル倉庫ヲ設ケルト云フコト、是ハ政府ガヤラナ

イ、内地ニ於テモ色々ノ方法ガアリマス、其一ツハ政府ノ完全ナル米專賣デアリマス、此事ガ行フベカラズンバ、農民自身モ——是ハ農林大臣モ御賛成デアリマスガ、兎角御悠長ダカライケナイ、ドン／＼ヤルガ宜イト思フ、私共ハ重要物産同業組合ヲシテ、産業組合同様ノ事ヲ爲サシメル、今度出タ重要物産同業組合法ガドウ云フヤウニ働カカ、私ハ存ジマセスガ、之ヲ完全ニ働カスカ、左モナケレバ同業組合ヲシテ、指定スル數量及ビ場所、ソレ以外ニハ組合員ハ總テ荷物ヲ動カスコトハ出来ナイト云フコトニスル、サウシテ何時モ品ガスレノ状態ニ市場ヲ置ク、サウスレバ望マシイ所ノ價格ヲ維持スルコトガ出来ルノデアリマス、是ハ立法一ツダケ出来マス、農會ハ、帝國農會カラ町村農會ヘニ系統的ニヤリマス、全國ノ農民ニ檄ヲ飛バシテヤレバ、行ヒ難キモノデアリマセス、要スルニ米ノ徹底ノ解決ヲ爲ス上ニ、二ツノ方法ガアル、即チ米穀國家管理法ト、ソレカラ農民ガ自ラ米穀ノ徹底ノ處分ヲ致ス所ノ、産業組合ト同業組合ヲ一絡ニシタ如キ權能ヲ與ヘテ調節ヲ圖ラレルコトデアリマス、同業組合ハ何人モ加入スルヲ得ズトアル、産業組合ハ自由デアリマス、是モ自由ナラシメル中ニ同業組合ヲ入レテ、同業組合モ賣ル

コトガ出来ナイ、産業組合同様ニ、何切ニ鄭重ニ委曲ヲ盡シテ御話シ下サイ市場ニ幾ラ出スト云フコトデ、全國ノ米產地ヲ悉ク統制ヲ圖ッテ行クナラバ、根本的ノ解決ガ出来マス、此方ニ付キマシテ、今日農林大臣ニハ確トシタ御肚ガ決ッテ居ラスコトハ此頃中ノ御答ヒタイ、サウシテ今日ノ所ハ、先頃カラ申シマス通りニ生産費ヲ以テ發動セラレンコトヲ希望致シマス、私ハマダ申上ゲタイ事ハ澤山アリマス、私ハ米ノ中ニ生レタ日本人デアリマスカラ、米ノ議論ニ付キマシテハ、徹底ノニ申上ゲルコトガ出来ル、唯高等數學ハ用ヒマセスダケデアリマス、私ハ五日デモ六日デモ議論ハ出来マスガ、民政黨ガ三日マデニ決メタイト云フコトニナッテ居リマスカラ、其御意思ヲ尊重シマシテ、是ダケデ打切ルコトハ非常ニ残念デアリマスガ、已ムヲ得マセス、是デ私ハ打切リマス

○西村委員長 片野君

是マデ有力ナル委員各位ヨリ色々御質問ガ出マシタ、大キナル問題ニハモウ大抵御觸レニナッテ居ラレルヤウナ譯デアリマシテ、新シイ問題トシテハ殆ド無イヤウデアリマスケレドモ、其間ニ更ニ自分ト致シマシテモ、特ニ此點ヲモット突込ンデ御伺ヲシタイ、又當局ノ御説明ハ色々御懇

余力ト見マス、二千九百萬足ラズニナリマス

○片野委員 是ハ今度ノ百萬石ヲ入レテソレヲ買ッタ残りデアリマスガ

○石黒政府委員 先日ノ第二回目ノ百萬石ヲ引イテシマッタ後ノモノデアリマス

○片野委員 ソレカラ現在ノ状態ニ於キマシテ、一箇年ノ經費ト稱スベキモノノ豫定額ハドノ位ニナッテ居リマスカ

○石黒政府委員 ソレハ持チマス米ノ多少ニ依ッテ、非常ニ金利倉敷ガ違ヒマスノデ、ハッキリ申上ゲル譯ニ行キマセヌ

○片野委員 現在ノ所有高デ宜シイノデアリマスガ、ソレカラ又幾分カ外國ニ賣拂フト云フヤウナ、少額ノ變動ニ付テノ點ハ、此點ハ別ニ私ハドウノ斯ウノト申スノデアリマセスカラ、大體ノ計數デ宜シウゴザイマスガ、現在ノ狀況カラ申シタ概略ノ計算デモ宜シウゴザイマス

○石黒政府委員 大體ニ於テ千六七百萬圓デハナカラウカト云フ、只今此處デ現在所有米ニ對シテノ目算ヲ致シテ居リマス

○片野委員 ソレカラ是モ何遍モ御話ガ出タト思ヒマスガ、更ニ簡單ニ御聽シタイノハ、今回八千萬圓ノ増額案ヲ

計ヲ以チマシテ、今年度末マデノ經費ヲ取りマシテ、残りマシタモノヲ先ヅ

御提出ニナッテ居リマスガ、此算出ノ基礎如何ト云フコトニ付テノ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 先般モ大體申上ゲテ置イタ筈デアリマスガ、當年三月ノ會計年度ノ締切ニ於テハ、凡ソ一億五千萬圓ノ缺損ガアルモノトシテ、其中ノ七千萬圓ハ此前出シテ居リマスカラ、後ノ八千萬圓ヲ差當リ補填スル意味ヲ以テヤッタノデアリマス、併シソレデ果シテ米穀法ノ運用ガ足りナケレバ、唯補填スルバカリデハイケマセヌ、併シ私共ハ補填スル八千萬圓ト外國米、其他ノ今ノ残りモアリマスルシ、當年モ昨年ノ如キ大豐作ト相成リ、又三年モ大豐作ガ相續キマスレバ、此金デハ足りマセヌ、御話ノ率勢米價デ行カウガ、生産費デ行カウガ、ソレデハ足ラスト思ヒマス、併シ極ク大事ヲ踏メバ當年ガ豐作デアッテモ、此金ガアレバ端境期カラ來年ノ春ニ掛ケテノ相當ナ調節ガ出來ルト思ヒマス、何カ異常ナ事ガアリマスレバ、來年ノ春ノ議會ニ、又掛ケナケレバナラヌカモ知レマセヌガ、少ク共臨時議會ヲ召集スルコトナクシテ運用ガ出來ルト、米穀法運用ノ最モ必要ナ場合ヲ想像シテ左様ニ考ヘテ居リマス

○片野委員 サウスルト六年度ニ於テ五年度位ノ豐作デ同ジャウナ狀況ニナ

リマシテモ、今年一年位ハ是デ越セル、大體斯ウ云フ御積リデアリマス

○町田國務大臣 私ノ申上ゲヤウガ少し足ラナカッタカモ知レマセヌガ、政府ガ此金ヲ以テ買フト云フコトダケデモ端境期カラ來年ノ春マデハ稍、行クト思ヒマス、併シ東郷君モ熱心ニ御主張サレ、私共モ其一部ヲ實行シテ居リマスガ、低利資金ダケデ行クダケデナク、何等カ他ノ方法モ考ヘテ、農家自身ニモ國家ト協力シテ需要供給ノ關係ヲ調節スル上ニ國民ノ自覺ニモ俟ツ施設モ致ス積リデアリマス

○片野委員 所デ更ニ御尋申上ゲタイガ、此米穀法ノ制定ニナッタノハ大正十年デアリマス、當時ノ日本ノ米穀市場ト今日トハ非常ナ開キニナッテ居リマス、其他植民地ノ狀況等モ加味シテ、殊ニ此狀況ノ變化ト云フモノハ甚シイデアリマス、只今八千萬圓ヲ増額致サレマシテ、ソレガ損失ノ補填ト云フ御趣意デアルトスレバ、ヤハリ最初ノ二億圓ト云フモノダケガ、大體申上ゲルト事業資金トデモ申シテ宜イカ、本來ノ目的ニ向ッテノ金ト云フモノハ前ノ通りデアルト云フ結果ニ相成ルデハナイカ、今日ノ事情カラ見ルト——是デ果シテ適當ト御考ヘニナリマスカドウカ、是ハ其制定當時ノ金額ト同ジデハナイカト私ハ思フ

○町田國務大臣 御説ノ通り事情ガ變ッテ來テ居リマスカラ、初メノ十年ニ立テタガ如ク二億ト云フ金ガアレバ米穀法ガ必ズ正當ニ運用出來ルモノト云フノデアリマセヌ

○片野委員 ソレデハ更ニ別ノ事ニナリマスガ、運用ガ出來ルト御考ヘニナッテ居ラナイトスレバ、他ニ何等カ御計畫ヲ立テ、居ラレルニ違ナイ、又更ニ附加ヘテ御尋ネ申シタイノハ、政府デハ平年時ニ於キマシテハ、米ノ需給關係ノ方カラ致シマシテ、外米ノ輸入ト云フコトガドレ程必要ト御認メニナッテ居リマスガ、殊ニ此點ハ、今後ノ約十箇年間位ノ豐作ノ豫想、又凶作ノ豫想ト合セマシテ、需給關係ニ付テノ御調ガアリマスノデセウカ

○石黑政府委員 只今ノ御尋ノ、大體近年ニ於テ、外米ノ輸入ヲドノ位ニ見込デ考ヘタラ宜シイカト云フ問題ニ付キマシテハ、先ヅ平生時ト致シマスレバ、二百萬石見當デヤナカラウカト考ヘテ居リマス、ソレカラ後ノ御尋ノ考ヘテ御話ガアリマシタガ、ソレハ一寸云フ御話ガアリマシタガ、困難ナ御質問ヲ諒解致シ兼ネマスガ、困難ナ推算ノヤウニ存ジマス、過去ニ於ケル需給ノ一般ノ大勢ハ當初ニ御配付申シマシタ米穀要覽ノ中ノ需給一覽表ニ、三十六年以來ノ年々ノ需給ヲ掲ゲ

テ居リマスカラ、ソレヲ御覽願ヒタイト思ヒマスガ、將來ニ付テノ豐凶ヲ豫想ニ入レテハ、一寸立テ兼ネルト思ヒマス

○片野委員 サウシマス、大臣ノ御答辯ニハ、金額ノ問題カラ致シマシテ、此儘デハ十分デナイト思フト云フ御話ガアリマシタシ、ソレカラ只今局長ノ御話ヲ承リマス、將來ノ豫測ガ付カナイト云フコトニナルシ、又大臣ノ御説明ノ中ニハ、私言葉尻ヲ捕ヘテ言フノヂヤアリマセヌガ、眞面目ニ、眞劍ニ考ヘテ見タイト思ヒマスガ、百年ノ大計ノ爲ニ此米穀法ヲ發動スル、今年ヤ來年ノコトバカリ考ヘテ、此法律ノ改正ニ當ッテ居ルノデナイト云フコトヲ繰返シテ御話ニナッテ居ル、斯様ナコトカラ照シマシテ、私ハ最近十年ト云フコトヲ申上ゲタケレドモ、十年ガ面倒トスレバ、五年デモ七年デモ宜シイケレドモ、ソレ位ニ付テノ大體ノ政府當局ト致シマシテハ、何等カノソコニ目度ヲ御立テニナッテ居ル爲ニ、斯ウ云フ御意見ガ出ルト思フ、又其時ハ其時ダト云フヤウナ意味ニ解サナケレバナラナイヤウナ御答辯デモアルシ、反面ニ於キマシテハ、百年ノ大計ノ爲ニ法律ヲ改正ヲ爲サル、ソコデ御尋ネ申上ゲル次第デアリマス、何トカ只今此席上デ御話ヲ願ヘレバ甚ダ幸デアリマス

ガ、又後デモ宜シイノデスカラ、需給關係ニ付テノ當局ノ推算ヲ御示シ願ヒマス

○石黒政府委員 先程片野サンノ御尋

ガハ、キリシナイト云フコトヲ申上ゲマシタガ、御言葉ノ中ニ、確カ將來ニ於テ豊凶ヲ豫想シテト云フ御話ガアリマシタカラ、私一寸諒解ニ苦シムト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、大體ノ近年ノ事情、最近十年若クハ五年ノ事情ト云フコトヲ仰シヤッタノデ、ソレナラバ將來デハナイ最近ノ過去ノ事情デ以テ、先ヅ兩三年ハドウデアラウカト云フコトヲ推定スルト云フコトニナラウト思ヒマス、ソレハ先ニ申上ゲマシタ米穀要覽ニ掲ゲマシタ需給一覽表ヲ御覽ヲ願ッテ——是ハ甚ダ御覽

惡イコトカト存ジマスガ、五年平均ヲ掲ゲテ置カナカッタコトガ或ハイケナカッタカト存ジマスガ、私共ハ大體五年平均位ニ見ルノガ良クハナイカト考ヘ

ルノデアリマス、五年平均ノ數字デ見マシテ、先程モ申シマシタヤウニ輸入額ハ大體五年ナラ二百萬石見當ト見ルノガ宜カラウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレニ準ジマシタ數字ハ

出シテアリマスカラ、最近五年平均ノ分デアリマスレバ差上ゲラレルノデアリマス、大體斯ウ云フモノヲ參照シテ

居リマス

○片野委員 ソレデハ此一覽表ノ、過去ノ最近五ヶ年ノ平均ヲ取ッタモノデ、今後ヲ律シテ行ク、斯ウ云フコトニナルノデスカ

○石黒政府委員 ドウモ其年ニ依ッテ、非常ナ豊凶ガ現ハレテ來ルノデアリマスカラ、律スルト云フ譯ニハ參リマセ

スケレドモ、輸入ノ見當ハ、其年カラ大體五年前ニ遡ッテ平均ヲ取ッテ、參考ニ供シテ居ル譯デアリマス

○片野委員 農林大臣ハ御見エニナリマセヌカ

○西村委員長 申上ゲマスガ、實ハ本會議カラ今一寸出席シテ貰ヒタイト云フ要求ガアリマシテ出テ居リマスガ、直グ此方ニ歸ッテ來ラレマス

○石黒政府委員 先日海外賣却ノコトニ付キマシテ、御質問ガアリマシテ違

法デハナイカト云フ御質問ニ對シテハ、違法デナイト考ヘルナラバ宜シイガ、

ナイト考ヘマストドウ云フ條文ガ關係シテ居ルカト云フコトデ、米穀法ノ條文ヲ私申上ゲマシタガ、突如ノ際デ、

關係條文トシテアノ條文ヲ申上ゲマシタ、アノ條文ノ解釋ハ、私ハ左様ニシテ居リマスガ、尙ホ其外ニ於テ會計法上モ差支ナイト申上ゲタ、會計法上ニ差支ナイト云フコトニ付テハ、私詳シイ會計法ノ法規ヲ承知シテ居リマセヌデシタガ、勅令デ以テ、輸出ノ目的ヲ

以テ物品ヲ販賣スル時ハ依テラスルコトガ出來、依テスル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトガ出來テ大藏大臣ニ主務大臣ハ協議スベシ、大藏大臣ハ協議ヲ受ケタナラバ、會計検査院ニ其事ヲ直ニ知ラセナクチャイカスト云フヤウナコトニナッテ居リマシテ、ソレニ依ッテヤッテ居リマス、而シテ其場合ニ於キマシテモ、矢張り會計法ニ、時價ト云フコトハ何等規定シテ居リマセヌケレドモ、會計法ノ精神ハ、時價ト云フコトニナッテ居ル、依テ賣却ヲ致シマス場

合ニ於テハ、賣却致シマス所ノ時價ト云フコトデヤッテ居ルノデアリマス、會計法ノコトヲ申上ゲルノヲ、私其際ニ申上ゲナカッタノデ、是ダケノコトヲ附加ヘテ置キマス

○清家委員 今ノハ母法タル米穀法ガアルノニ、勅令ヲ以テ如何トモスルコトハ出來ナイ、ノミナラズ勅令ニ於テモ

時價トアルノデアリマスカラ、サウナルト此問題ハ私ハ遠慮スルノデスカ、其處ノ事情ニ疑ハシイモノガアルト思ヒマス

○石黒政府委員 能ク分リマシタ、只今私ノ申上ゲガ惡カッタカモ知レマセヌガ、私ガ米穀法ヲ、關係條文トシテ引用致シマシタコトガ誤リデアッタカモ知レマセヌ、帝國內ニ於テ云々ト書イテアリマスカラ誤リダッタト存ジ

マス

○胎中委員 今ノ御答ハ、一昨夜ノ私ノ質問ト關聯シテ居ル外國ニ輸出スル場合デアリマスカ

○石黒政府委員 サウデス

○胎中委員 是ハ私モ餘リ此處デ多ク議論ヲシタクアリマセヌケレドモ、色色ソコニハ種々ナ疑義ヲ起シテ居ルコトハ當然デアルト考ヘテ居ル、デアリマスカラ法文ニアリマスル時價ト、斯ウシテアル限り、是ハ適當ナル一ツ今後ニ於テモ誤解ノナイヤウニ、ソレガ的確ニ、必要ニ應ジテ出來ルト云フコトヲ法文ノ上ニ明瞭ニスルコトガ必要デアルト斯ウ思フ、若シ私ノ言フコトヲ御承認ニナレバ、今ノ此處デ之ヲドウセイト云フコトハ、此場合敢テ言ヒマセヌケレドモ、相當御考慮ヲサレタイト思ヒマス

○石黒政府委員 能ク考慮ヲ致シマシテ、會計法等ノ關係モ考慮致シマシテ、研究致スコトニ致シマス

○東委員 今日ノ米穀法ノ改正ノ中ニ、外米ノ認可制度ニ大體致シタ譯デスカ、之ヲ外米ノ管理ト云フコトニシテ、政府ガ外國カラ入ッテ來ル外米ダケヲ全部管理スルト云フコトニ付テハ、何カ御考ハナカッタデセウカ、所謂外米ヲ管理シテ、國ガ外國カラ入ッテ來ルモノヲ買ッテ、ソレヲ適當ナル時機ニ賣

マ

ルト云フ方法ヲ採ルコトガ、最モ必要ト思ッテ居リマスガ、暹羅ノ米トカ或ハ

○東委員 サウスルト、米穀調査會ニハ此問題ハ出タノデスネ

○石黒政府委員 米穀調査會ニハ、色色ナ政策ニ付テノ發案意見ト云フモノ

政策的ノ配給ト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト云フヤウナコトニナルト、更ニ其負擔ガ餘計ニナッテ行キ、又配給ノ圓滑ト云フコトヲ期スル爲ニハ、非

來ルシ、價格ノ上ニ於テモ、政府ガ全部外米ヲ管理シテ、專賣ヲシタ方ガ非常ニ完全ダト思ッテ居リマスガ、其點ニ付テアナタ方ハドウ云フ御考デスカ

○石黒政府委員 私共一部ノ考トシマシテハ、外米ノ管理ト申シマスガ、專賣的ニ政府ニ於テ輸入ヲ圖ルト云フコト

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

ハ非常ナ責任モ之ニ依ッテ生ズルノデアリマスシ、經費モ相當ニ掛ルヤウニ思ヒマス、唯ソレダケデナク、考ヘ方

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

ニ依リマスト云フト、今ノ程度ニ於テ關稅ト云フモノヲ、管理ノ結果政府ノ

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

手ニ收メテ、高イ外米ヲ内地デ賣ルト云フコトハ、特殊ノ需要者ニ對シテイ

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

カヌコトデアリマスカラ、出來マセヌケレドモ、敢テ高クナイ今ノ程度ノ關

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

稅ニ當ル位ノ收入ヲ、一ツ米穀特別會計ノ方ノ收入ニデモシタラバ、工合ガ

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

宜イデヤナイカト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、案ヲ考ヘテ見タコトガアリ

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

マスケレドモ、ソレ等ハ各利益ノ點ニ反對意見モ相當アリマシテ、米穀調査

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

會ニ於キマシテハ、餘リ審議セラレズシテ否決サレタ次第デアリマス

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

トハ、國庫ノ負擔デ行ク、其以外ニサ

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

ウ手ハ掛カラヌデヤッテ行ケル、サウシ

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

テ米價ノ變動ニ依ッテ生ズル政府ノ損

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

ト云フモノハ、長時間ヲ通ジテ計算シ

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

テ、之ヲ平均シテ行ケカラ、政府ハ此

○東委員 私ハ此外米ノ認可制度ヨリテ管理シタ方ガ、調節ガ一番宜シイ、斯ウ考ヘマシタガ、併シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

○東委員 私ノ此事ヲ質問シタノハ、私ハ先日朝鮮ノ米ノ統制ヲ徹底的ニヤルト云フコトト併セテ、ヤハリ聯關シ

今ノ御意見、私共ノ中ニ於キマシテモ、

ナカッタノデアリマス

○東委員

先達私ノ朝鮮米ノ統制ノ意見ニ對シテハ、拓務省ハ非常ニ賛成シ

丁度ソレト似寄ッタヤウナ意見ヲ以テ

見ニ對シテハ、拓務省ハ非常ニ賛成シ

テ居ル、委員會ノ公式ニ於テノ話デハ

ニ朝鮮ノ米ノ調節ニ付テハ、東サンノ

アリマセヌガ、拓務省ハ非常ニ賛成シ

テ居ルト云フ話ガ非公式ニ私ニアリマ

御意見ヨリモ一步進ンデ、輸移入米全

シタ、農林省ガ之ニ反對ノ意見、ソレ

テ居ルト云フ話ガ非公式ニ私ニアリマ

體ノ管理、或ハ專賣ト云フコトニシタ

ナラバ宜クハナイカト云フ考ヘモ、考

ラ帝國農會ニ反對ノ意見ガアルト云

ヘテ見マシタ、是デアリマスルト、帝

國内ノ生産ニ對シテモ、内地ニ入ッテ

來ルモノニ對シテハ、政府ガ專賣ヲス

ルノデアルト云フコトデアリマスカラ、

ウ云フ點ニアルカ、ソレヲ一ツ聞キタ

ヒマス、若シサウ云フ風ニナッタ曉ニ於

國內ニ於テモ、必要地域ニ對シテ國ガ

專賣ヲスル、ソレデアリマスカラ外國

テハ、是ハ私一個ノ考デアリマスケレ

米ダケ特別扱スルノデナイノデ、外米

ニ對スル關係モアリマスノデ、ナダラ

舉ゲテ、適當ニ經理ニ委セテモ宜イデ

カニ行クノデヤナカラウカ、サウシテ

政府ノ專賣ニ屬スルモノト云フモノハ、

ヤナイカト考ヘマス、併シ其處マデ行

條約ニ於テ色々數量ノ制限ヲ致シマ

シテモ、相手國ハヤカマシク言フコト

スウ云フコトヲ考ヘテ見マス、農林

ガ出來ナイコトニ條約ガナッテ居リマ

スカラ、此點ニ於テハ極ク都合ノ好イ

地デモ買ハナクチャナラズ、内

コトニナルノデヤナカラウカト云フヤ

ウナ考ヲ持チマシテ研究致シマシタガ、

マウコトニナルノデハナイカ、而シテ

是モ中々外米ダケノ專賣ヨリモ、一層

經費ガ餘計掛カリマスノト、移入米ノ

朝鮮デ以テ米穀法ヲ發動シテ、是非米

專賣ト云フ所マデヤルト云フヤウナコ

トハ、是ハ移入米ノ許可制度スラモ、

朝鮮自體ノ立場ニ於テシナケレバナ

朝鮮ニ對シテ不平等待遇デイカス、斯

ウ云フ議論ガ朝鮮統治ノ出發點カラ反

ラスト云フ今日ノ立場デハ私ハナイト

對論ガアリマスノデ、到底通ル見込ガ

希望ガ出テ來テ、ソレニ依ッテヤラナケ

タイ、斯ウ云フコトノ希望ノミガ強イ

法デアレマセヌカ、今ノ米穀法ノ範圍

○東委員 朝鮮ノ米ハ、私ノ考デハ先

ズ八百萬石位アルモノトシテ、彼處デ

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

法デアレマセヌカ、今ノ米穀法ノ範圍

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

法デアレマセヌカ、今ノ米穀法ノ範圍

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

朝鮮米ノ買上ヲヤル場合ニ、今ノ米穀

デハ、法律規則ノ上ニドウナリマスカ
○石黒政府委員 ソレハ資金ガ相當ニ
擴張サレ、バ、現在ノ米穀法ニ基イテ
ヤツテ行カレヌコトハナイト思ヒマス

○東委員 資金ノ關係デナシニ、法律
關係デスヨ、差支ナイノデスカ
○石黒政府委員 差支ナイト考ヘテ居
リマス

○片野委員 先程大臣ノ御話デハ、今
日ノ事情、此金デハ正當ナ運用ガ出來
ルモノトハ思ハナイト仰セラレマシタ
ガ、サウシマスト先般來再三御話モ出
マシタガ根本的改正ト云フコトニナラ
ヌノデハナイカ、一面ニハ此需給ノ資
金ノ方ノ特別會計ノ改正案ト相竝ン
デ、内容ガ伴ッテ居ルト云フ仰セデア
タ、法律ノ條文トシテハ、勿論別個モ
ノデアアルケレドモ、内容ハ離ルベカラ
ザルモノデアルト云フ意味ノ御説明モ
アッタ、私ハ其趣意ニ於テ、是ハ相伴ッ
テ此重大ナル米穀法ノ精神ヲ達成シ得
ルモノデアアル——勿論御提出ニナリマ
シタ趣意モ左様ナ譯デゴザイマセウカ
ラ、此兩方ヲ併セテ御尋ネシナケレバ
分ラナイガ、兩方併セテ御尋シタ結果
ハ、此御提案ニナッタバケノ金デハ今後
相當ニ運用出來ルモノトモ思ハヌト云
フコトニナレバ、明カニ極ク一時的ナ
彌縫策ニ過ギナイヤウナコトニナル、少
クトモ一時的ノモノデアアルヤウニ解釋

スルコトガ正當ナコトニナルデハアリ
マセスカ
○町田國務大臣 私ノ先日ドナタカニ
御答シタ意味ハ此二法案ハ、法律的ニ
ハ各、獨立シタ法案デアアル、併シ今御使
ヒニナッタ言葉ト、私ノ使ッタ言葉ハ、
違フヤウデアリマス、政治的カラ見レ
バ、實際問題トシテハ是ハ是非同時ニ
運ビタイ、斯ウ云フ意味デ御答シタコ
ト、思ヒマス、恐ラク私ノ使ッタ此言葉
ハ、豫テ此法ヲ運用スルコトニ御經驗
ノアル東君ニ於テ、最モ能ク御諒解下
サルコト、私ハ信ジマス、ソレカラ此
儘デ行ッテモ、特別會計ノ八千萬圓ト云
フ基金ガ、或ハ一年二年ニ於テ缺乏ス
ルト云フ場合モ生ズル、然ラバ根本的
改正デハナイデヤナイカト云フヤウニ
私ハ聽取リマシタガ、根本的改正ト云
フコトハ主トシテ米穀法ノコトヲ申シ
タノデアッタ、此改正ニ依テ生ズル所ヲ
特別會計ノ基金ハ、必要ニ依テハ増ス
時ガ參ラヌトハ何人モ斷言出來ヌノデ
アリマス、先刻胎中君ノ御質問ニ對シ
テ、私ハ率直ニ申上ゲタ、若シ昨年ノ
如キ大豐作ガ、二年三年ト續キマスレ
バ、米穀法ニ依テ暴落ヲ防グト云フ趣
意ヲ達スルニ付テハ、此金デハ不足ヲ
生ズル、併シ假ニ一年大豐作デアッテ
モ、其當年ノ端境期ニ於テ米穀法ヲ運
用スルニハ、是デ間ニ合フト云フ確信

ヲ持ッテ居ル、併シ若シソレデモ、其當
年ノ十一年ニ於テナサレタ所ノ米價對
策ガ、此資金デ十分デナイト云フ時ニ
ハ、其翌年ノ議會ニ御諮リスルコトモ
アルガ、少クトモ臨時議會ヲ開イテ、
此問題ヲ御協議ヲ願フト云フ必要ハナ
イト確信シテ居ル、斯様申上ゲタノデ
アリマス

○片野委員 其問題ハソレダケニシテ
置キマスガ、生産費ト生計費ノ調査ト
云フモノハ、中々調査ガ困難デアルト
云フコトハ、當局モ御認メニナッテ居
ル、吾々モヨリ以上ニ、極ク嚴密ナ意
味ニ於ケル調査ト云フモノハ困難デア
ルト見テ居ル、ガ併シドウ云フ計數ガ
現レテ來ルカ、現在ハ調査中デアリマ
セウカラ分ラナイト云フコトニナルカ
ト思ヒマスガ、大體ニ是ハ其目度、大
體ノ豫想ト云フモノヲ付ケテアッテ、其
邊ニ落著カナケレバ、又ヤリ直シヲナ
サルト云フコトニナリマスカ、ソレト
モ調ベタ上デナケレバ、其問題ダケハ
分ラナイノデアアルカ、斯ウ云フノデア
リマス

○町田國務大臣 ソレハ屢申上ダマ
シタガ、私ハ唯一場ノ體裁ニ御話ヲシ
タ積リデアアリマセヌ、私ハ米穀法發
動ノ基準ハ、一ツハ率勢米價一ツハ生
産費、家計費ノ調査ヲシテ、此三ツノ
基準ニ依テ發動スルコトガ、比較的今

デハ一番良イ方法ト思ッテ居リマスシ、
御協賛ヲ經テ相當之ニ對スル豫算モ
取ッテアリマスカラ、出來ルダケ早クヤ
リマスガ、今ノ所デハ來年位マデヤッテ
見タナラバ、相當ナモノガ出ハセンカ
ト云フ考ヲ以テ進ム筈ニシテ居リマ
ス、家計費ノ方ハ、主トシテ統計局ノ
方デヤリマスガ、出來ルナラバソレヲ
同時ニヤッテ貰フ積リデアリマス、サウ
シテ出來ルダケ早クヤルト云フ考デア
リマス

○片野委員 今ノ御答辯ノ點ハ、私ニ
モ分ッテ居ル、私ノ御尋シタノハ、生産
費、生計費ト云フモノハ、遅クモ早ク
モ調査ガ出來テ來ルケレドモ、其大體
ノ御腹案ハナイノデアアルカ、大體此位
ニナルダラウト云フヤウナ、見當デモ
付ケテ御出デニナッテ居ルノカ、ソレト
モソレハ調ベナケレバ分ラナイ問題
ダ、斯ウ云フノデアリマスカ

○町田國務大臣 ソレハ其局ニ當ッテ
居ル農務局長ナリ、米穀課長カラ申上
ゲマセウガ、從來ヤッテ居ル遣方ガ十分
デナイ、ソレデ今年新ナル方法デヤッ
テ見タ所、僅ニ七八件デアッタケレド
モ、二十一圓幾ラト出タ、是モ正確デ
ナイ、併シ其ノ遣方ハ斯様ナ方法デヤ
ルト云フコトハキマッテ居リマスカラ、
經費ノ御協賛ヲ得マシタナラバ取急イ
デ調査致シマスガ、今ソレハ凡ソ此邊

ダラウト云フ見込ハマダ立ッテ居リマセヌ

○片野委員 今分ッテ居ラナイカ、大體見當ヲ付ケテ居ラナイカト云フ、二ツノ御尋ヲシタノデアリマスガ、只今ノ御答ハ分リマシタ、ヤハリ其時期ハ早クテモ遅クモ、調ベテ見ナケレバ分ラヌト言ハレルト、サウナリマス、是モ若シ調査ノ結果三ツデヤッテ行クト云フコトニ非常ニ狂ヒヲ生ズルヤウナコトハナイモノデアリマセウカ、ズツト率勢米價ト云フモノダケデヤルト、上ツタリ下ツタリスルヤウナ譯デ、適用上洵ニ不都合ナコトガアルト云フコトヲ、豫測ノ一ツニ加ヘラレルコトニ相成ルノデハアリマセヌカ

○町田國務大臣 暫定的方法トシテ、率勢米價一ツデヤルコトノ不可ナリト云フ御意見ハ屢々承ッテ居リマスガ、併シ何故ニ暫定的トシテ率勢米價一ツデモ、已ムヲ得ズ之ヲ行ハナケレバナラヌカト云フコトニ付キマシテハ、屢々申シマシタカラ重ネテ申シマセヌ、唯ハッキリ申上ゲテ置キタイノハ、豫算モ取レマスカラ、出來ルダケ早く生産費、生計費ノ比較的正確ト云フヤウナモノヲ得マシテ、是ト率勢米價ト併セテ行クト云フダケ以上ニ、御答ヲスルコトハ如何カト思ヒマス

○片野委員 成べく早く努メテヤリタ

イト云フ御意思ハ、能ク分ッテ居リマスガ、其點ハ宜シウゴザイマスガ、兎ニ角今生産費ト生計費ト云フモノハ、調ベテ見ナケレバ分ラナイコトニナッテ居ル、デアリマスレバ、之ヲ調ベタ結果ト云フモノハ、二本デヤルト云フコトガ非常ニ不都合ノ場合モ將來生ズルデナイデセウカト云フコトヲ今御尋シタノデアリマス、其爲ニ率勢米價ト云フヤウナモノハ更ニ必要ヲ認メナイヤウナコトニナル場合ガナイカ、調ベテ見ナケレバ分ラナイモノデスカラ、サウ云フコトハ有リ得ルト思フ、ダカラシテ、此率勢米價ト云フモノモ、サウ云フ場合ニハ基準ノ一ツカラ除カナケレバナラナイト云フヤウナ場合モ生ジテ來ルノデハナカラウカト云フ意味ガ私ノ質問ニナッテ來ルノデアリマス

○町田國務大臣 チョット私ハ満足ヲ得ルヤウナ御答ヲスルヤウニ能ク頭ニ入リマセヌガ、生産費、家計費ト云フモノヲ基準トスル要項トシテ取急イデ調ベテ、是モ非常ニ完備ト云フコトニハ私ハ行カヌカト思ヒマスガ、從來在ルヨリモ、相當正確ナモノヲ得ル確信ヲ以テヤルノデアリマス、ソレガ出來マス、直ニ率勢米價生計費若クハ生産費ト云フモノヲ發動ノ基準ト致スノデアリマス、併シソレガ片野君ノ御話ノ如ク、生計費、生産費モ、サウ急ニ

出來ナイ場合ニハ、如何ニスルカト云フ御尋ノヤウニ思ヒマスガ、私共ハ此法律ガ出來マシタ後ニハ、必ズ生産費生計費ト云フ本體ニ依ッテ出動スルコトニ努力シマスカラ、サウ長イ年數ガ掛ラズシテ、信頼スベキ統計ガ出來ルト思ヒマス、若シソレガ出來ナカッタ場合ニハ、率勢米價ダケデヤルノハ一向效ガナイノデヤナイカト云フヤウニ...

○胎中委員 今ノ片野君ノ問ハ、農林當局ガ急イデヤルト云フコトモ分ッテ居ル、併シ兎ニ角ソレハ生計費ニシテモ、生産費ニシテモ、相當年月ノ後デナケレバ分ラヌ、ソコデ此場合率勢米價ノミデヤルト云フノデアアルガ、然ラバ其生計費、生産費ト云フモノガ調ベラレテ見タ時ニ、現在ノ所謂率勢米價デ得タ率ト云フモノガ、其生計費及生産費ト云フモノトドウ云フ關係ヲ持ツカ、露骨ニ言ヘバ却テ今ノ率勢米價ト云フモノガ、生産費ヲ割ルト云フ場合モアラウ、又ハ生計費ヲ越スト云フ場合モアラウ、斯ウ云フヤウナコトガ考ヘ得ラレヌカ、斯ウ云フコトデゴザイマス

○町田國務大臣 ソレハ理論上サウ云フ場合ガ斷ジテナイト云フ言葉ハ申サレナイ、併シ三十年ノ既往ノ經濟狀態ヲ基礎トシテ、サウシテ米價ノ相當ナ「ウエイト」ヲ加ヘテヤッタ仕事デアリ

○片野委員 ドウモ大臣ヲ御煩ハシスルコトハ、私個人トシテハ殊ニ甚ダ恐縮ニ存ズルガ、如何ニ御聞シテモ此點ハ益々不可解ニナル、ドウセ調上ラナイ云フ場合ガ絶對ニナイト云フコトハ今斷言スル譯ニイカヌ、斯ウ云フ御答辯デアアル、併シ率勢米價其物ニ對シテノ價值ヲ御認ニナル、其事柄ハ大臣ノ御意見トシテハ宜シウゴザイマスガ、何レニシテモ、理論上ニハ是ハサウ云フ場合ガナキニシモ非ズデアアル、斯ウ只今御尋ニナッタノデ、其御話ダケヲ承レバ、私ノ特ニ御聞シタイ點ハ分ッタノデアリマス、サウナリマス、今同ノ改正ト云フモノハ、所謂早計ニ失シタモノデナイカト云フ一ツノ私ノ結論ニナリ、併シソコニ於テ大臣ノ御話ニアリマシタ通り、又是マデモ何回ト繰返シテ御話ニナリマシタ通り、率勢米價ト云フモノニ對シテ、非常ニ是ガ價值アルモノデアルト御認ニナッテ居ル、三十年カラノ一般ノ物價指數ニ對シタ米價ノ趨勢ヲ割出シタモノデアアルカラ、非常ニ是ハ價值ノアルモノデアルト云フ風ニ仰セニナル、其大臣竝ニ當局ノ此斷定ハ、私斯ウ言ッテ居ラレルト云フコトハ分ッテ居ルケレドモ、何故ニソレ

ガサウ云フ重要ナル價值ヲ有スルモノ
デアラウカ、將來ノ吾々ノ生計費吾々
ノ生産費ヲ、適當ニ按配シテ貰ハナケ
レバナラナイ所ノ今後ノ米價ヲキメ
ルニ、三十三年デモ、五十年デモ六十
年デモ宜イガ、過去ノ物價ノ變動ニ依ッ

付テモ更ニ意見ハアリマスケレドモ、
此事デナクシテ、先程縷々申上ゲマシタ
過去ノ計數ニ依ッテ、茲ニ算出サレタ所
ノ一ツノ數字ガ、何故ニ將來ノ吾々ノ
生活ニ重大ナル關係價值ヲ有スルノデ
アリマセウカ、斯ウ云フノデス

ルヨリ外ナイノデアリマス、ソコデ私
ハ過去ノ一般物價ニ對スル米價ノ關係
ト云フモノガ、指數ノ比率ニ依ッテ現レ
テ來テ居ル、ソレノ趨勢ト云フモノヲ
見ルコトガ米ニ對シマシテ、生産者及
消費者カラ見マシテ、生産費ノコトモ
其中ニ織込マレテ出テ來テ居ルコトデ

ジコトヲ申上ゲルノデ御不満足カト存
ジマス、私ハ或ハ言葉ヲ換ヘテ申上ゲ
タ方ガ宜イカト思ヒマスカラ、若シ必
要デゴザイマシタラバ米穀課長カラ其
處ノ所ヲモウ一遍人ヲ代ヘテ申上ゲマ
ス

タ一ツノ趨勢ト云フモノハ、何故ニ價
值ガ其所ニ生ジテ參ルモノデアリマセ
ウカ、是カラ出テ來ル其價格ニ於テ、
吾々ハ生産費ト生計費ノ按配ヲシテ貰
ハナケレバナラナイ、其過去ノ物價ノ
變動ニ依ッテ所ノ一ツノ數學上ニ現ハ

更ニ此處デ私疑問ノ生ズル本トシテ
附加ヘテ申上ゲマスガ、明治三十三年
カラ大正十二年マデハ、是ハ所謂一般
ノ需要供給ノ關係ニ任セテ居タ時代
ト申シテ宜イ、ソレカラ其後大正十二
年カラコナラハ、米穀法ヲ制定シテ、
兎ニ角一ツノ人爲ノ調節ヲナシテ參ッ

ニ依ッテ家計及生産ヲ只今マデ大體ノ
勢ヒトシテ認メテ、自然ニヤッテ來テ居
ル、斯ウ考ヘルノデアリマス、其意味
ニ於テ將來ヲ律スル大體ノ傾向トシ
テ、ソレヲ捉ヘルト云フコトハ適當デ
アル、普通ノ一般物價指數ナミニ、米
ト云フモノヲ扱ヒサヘスレバ宜シイト

ハ此通りノ狀態デアル場合ニ於テ、過
去ノ數字ヲ出シテ來テ、ドウシテサウ
云フ結果ニナルカト云フコトノ其根據
ハ、長イ經驗デ其關係ガ斯ウナッテ居
カラ、是ハ確ニ價值ガアルノダト云フ
其結論ガ、ドウシテ出テ來ルカ分ラナ

有スルコトニナリマセウカ、何カ其所
ニ將來ヲ規律スル價值ガアルノデセウ
カ、人口ハ益々殖エテ參ル、所謂社會ノ
狀態ハ刻々ニ變化進歩シテ參ル、所謂
農業ノ經營ノ問題ニ於キマシテモ、進

出シニナッテモ、此二ツノ期間ノ米價ノ
變動ガ含マッテ居ルヤウナ譯デアアル、ソ
レヲ又更ニ茲ニ一定基準ヲ設ケテ、米
價ノ暴騰暴落ヲ防グト云フ御趣旨デア
ルカラシテ、益々其間ト云フモノガ人爲
ヲ以テ調節制限サレルト云フ趣意ニナ

ト云フモノヲ扱ヒサヘスレバ宜シイト
云フ說モアルケレドモ、是ハ米ヲ商品
トシテ見テ、サウシテ一般ノ通貨ノ關
係ト經濟界ニ適應セシムル方針トシテ
見ルノニハ、米ノ重要性ト云フコトヲ
其處ニ考ヘナケレバイケナイノデアアル

云フ結果ニナルカト云フコトノ其根據
ハ、長イ經驗デ其關係ガ斯ウナッテ居
カラ、是ハ確ニ價值ガアルノダト云フ
其結論ガ、ドウシテ出テ來ルカ分ラナ
クナル、需要供給ノ關係デアルト云フ、
殊ニ其生計費モ生産費モ毎年ノ米價ノ
關係ニ含マレテ居ル、物價指數ノ中ニ

ラシテ、ズット長ケレバ長イ程、私ハサ
ウ云フコトニ對シテノ價值ト云フモノ
ハドウ云フモノデアアルカ、何故ニ其價
値ト云フモノガ生ジテ來ルカ、此事ニ
付キマシテ直グ大臣ハ斯ウ仰セラレル

來テ居リマスル過去ノ數字カラ割出シ
タコトガ、何故必要デアリ、又價值ガ
アルノデスカ、其點ニ付テノ御尋デア
リマス

現在ノ米價指數デ以テヤッテモ、ヤハリ
其中ニハ生計費モ生産費モ其他需要供
給ノ關係モ十分含マレテ居ル、要スル
ニ率勢米價ト云フモノハ一年ダケヲ律
スル一ツノ標準デアアル、次ノ一年ヲ律
スル所ノ標準ニナルノデアリマセウカ

カト思フ、一ツトシテハ是マデハ何モ
基準ガナカタノヲ、基準ヲ吾々ハ作ル
ノダ、何時モ質問ニ對シテ御答辯ノ中
ニオ入レニナルヤウデアアル、此問題ハ
サウ仰セラレルコトハ私分ッタ、此事ニ

付テモ更ニ意見ハアリマスケレドモ、
此事デナクシテ、先程縷々申上ゲマシタ
過去ノ計數ニ依ッテ、茲ニ算出サレタ所
ノ一ツノ數字ガ、何故ニ將來ノ吾々ノ
生活ニ重大ナル關係價值ヲ有スルノデ
アリマセウカ、斯ウ云フノデス

更ニ此處デ私疑問ノ生ズル本トシテ
附加ヘテ申上ゲマスガ、明治三十三年
カラ大正十二年マデハ、是ハ所謂一般
ノ需要供給ノ關係ニ任セテ居タ時代
ト申シテ宜イ、ソレカラ其後大正十二
年カラコナラハ、米穀法ヲ制定シテ、
兎ニ角一ツノ人爲ノ調節ヲナシテ參ッ

ニ依ッテ家計及生産ヲ只今マデ大體ノ
勢ヒトシテ認メテ、自然ニヤッテ來テ居
ル、斯ウ考ヘルノデアリマス、其意味
ニ於テ將來ヲ律スル大體ノ傾向トシ
テ、ソレヲ捉ヘルト云フコトハ適當デ
アル、普通ノ一般物價指數ナミニ、米
ト云フモノヲ扱ヒサヘスレバ宜シイト

ハ此通りノ狀態デアル場合ニ於テ、過
去ノ數字ヲ出シテ來テ、ドウシテサウ
云フ結果ニナルカト云フコトノ其根據
ハ、長イ經驗デ其關係ガ斯ウナッテ居
カラ、是ハ確ニ價值ガアルノダト云フ
其結論ガ、ドウシテ出テ來ルカ分ラナ
クナル、需要供給ノ關係デアルト云フ、
殊ニ其生計費モ生産費モ毎年ノ米價ノ
關係ニ含マレテ居ル、物價指數ノ中ニ

ラ、ソレナラバ最モ近イ、サウシテ最モ新シイ事情ニ即シタ所ノ物價指數一本ダケデ行ツテモ宜イデヤナイカ、是ハ前ニモサウ云フ意見ガ澤山出タト云フ御話モ承ツテ居ル、アレヤ是ヤ考ヘテ、是ガ一番宜イト云フコトニ落付イタト云フケレドモ、ドウシテモ私ハ論理關係ニ於テドウシテサウ云フ斷定ニナルノカ分ラナカッタカラ、御尋ネシタノデアリマスガ、是ハ何同線返シマシテモ同ジコト、思フノデスカラ、ドウシテモ私ノ疑問ニシテ是ダケハ止メマス更ニモウ一ツ疑問トシテ殘シテ置クト云フコトヲ申上ゲテ置クノハ、只今ノ御説明ニハナカッタケレドモ、「ウエー」ガ加ハッタ、ソレガ一・九二三トカニナルカラ、ソレハ生産者ヲ擁護シタコトニナルト云フコトヲ直グ仰シヤル、ナルト云フノハサウ云フ數字ガ偶然ニ現レテ來タノデハナイカト私ハ思フ、サウ云フモノヲ出シテ來ルト云フコトノ根本原因ガ私ニハ分ラナイカラシテ、偶然ニ出テ來タノガ偶、今年ノ米價ニ於テハ一・九二三ニナッタ、其時ニハ影響ヲ與ヘルコトニナリマセウケレドモ、サウデナイ場合モ出テ參ルト思フ、先ヅ此「ウエー」ト云フコトニ付テハ、其根本トナツテ居リマス所ノ物價指數ニハ「ウエー」トガ入ツテナイ、前ノ原サントノ應答ノ時カラ「ウエー」トガ

加味サレテナイノガ、今日物價指數ノ價值判斷ニ付テ意見ガ分レルノデアルト云フ御話、是ハ誰モ認メテ居ル、「ウエー」トガ入ツテナイ、「ウエー」トヲナソボ加ヘテモ「ウエー」トハ入ラナイノデハナイカト私ハ思ツテ居ル、零ハ幾ラ足シテモ零デアル、「ウエー」ト云フコトデ御説明ガアッタノデ、當局ガドウ仰セラレルカ分ツテ居ルノデスケレドモ、是マデ線返サレタ御説明デハ、ドウシテモ私ハ茲ニ不可解ナ問題トシテ殘ツテ居ル、數學上ノ問題トシテハ私ハ他ノ諸君ト同様ニ、不可解ナコトガアルト云フコトヲ、重ネテ此處申上ゲテ置ク、ソレデ其事ダケハ是デ止メマ

次ニ簡單ナコトノヤウデアリマスガ、改正案ニ依リマス、率勢米價デ進ンデ行クト斯ウ云フコトニナルト、現在ノ狀態ニ於キマシテ、此法律ヲ適用スルト云フ場合、想像ニナリマスケレドモ、十八圓二十八錢二厘ニ達スルモノハ先ヅ大體買上ゲテ行ツテ行ク譯デアアル、勿論今日ヨリ値段ガ下ツタカラ買ツテ行クト云フ譯デハナイ、ソレハ分ツテ居ルケレドモ、現狀ヨリ御伺ヒスル、斯ウ云フ場合ニ於テハドウシテモ十八圓二十八錢二厘ヲ超スモノハ、買フト云フヤウナ意味ノコトニナルノデスカ

○町田國務大臣 今日マデ率勢米價ノ下値二割ニ行ツタ時ニハ「買上クルコトヲ得」ト書イテアル筈デアリマス、「得」トアッタヤウニ記憶シテ居リマス、併シ是ハ法律ノ文章ノ書キヤウデアリマスガ、實際政治ト致シマシテハ、此率勢米價ノ下値二割ヲ潜ツテ一層安クナツタト云フ原因ガ、特別ナ突如トシタ原因トカ、或ハ相場師ガドウシタトカ云フヤウナ時分ニハ、實際論トシテ或ハデッ暫ク様子ヲ見ル場合モアリマセウ、併シ大體論ニ於テハ此案ガ幸ニ御協賛ヲ得テ法律トナリマスレバ、私ノ當局者デアル間ハ——私ノ考ハ政治的カラ見マシテモ、實際上カラ見マシテモ、買ハナケレバナラス、斯ウ思フテ居リマス、又同時ニ特別會計ニ相當運轉資金ガアレバ、或ハ買ハズニ、ソレダケノ價格ノ上ル場合モ相當アルト云フ見方モ出來ヤウト思ヒマス、何レニシテモ之ヲ潜ツタ場合ニ於テハ、デット之ヲ見テ居ル考ハ更ニアリマセス

○片野委員 ソコデ今ノ御話デ大體分リマシタ、特別ナ事情ノ場合トカ、昨日モヤッタカラ今日モ買フト云フコトヲ御尋スルノデハアリマセヌ、偶、現在ト致シマシテ見マスルナラバ、果シテ買フベキ狀況ニナツテ居ルカ、現狀ノコトハ十分御察シテ願ハナケレバナラス大體今日ハ御買ヒ下サルヤウナ御意向ト承ツタ、斯ウ云フ場合ハ買ツテモ宜イ、サウ承リマシタカ、是ハ當然サウシテ貰ハナケレバナラヌト思フ、此十八圓二十八錢ト云フモノハ下ノ方ノ話デスカ、是ハ假定ニナリマスカラ、假定ノコトハ答辯ノ限リデナイト云フコトデナク、御答ヲ願ヒタイ、今度ハ假ニ何カノ關係カラ騰貴シテ參リマシテモ、穀價ガ二十七圓四十二錢四厘ニ及ブマデハ賣ニ出ナイ、大體ニ於テ斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜イノデアリマスカ

○町田國務大臣 二十七圓何十錢デアリマスカ、ソレマデハ賣ニ出ナイ、今ノ率勢米價一ツデ行ク暫定的ノ方法トシテハ左様デアリマス

○片野委員 是ハ此法案ニ付テト云フヨリモ農林當局、殊ニ農林大臣トシテ今日吾々ノ悲慘ナ農村ノ現狀ニ付テノオ腹ノ裡ヲ承ツテ置キタイノデスガ、何カノ關係デ米ガ騰ツテ來ルト致シマス、サウ云フ場合ニ於テ今賣ニハ出ナイト云フ大體ノ仰セデアアル、二十七圓幾ラマデハ騰ツテ行クト抑制シナイ、ケレドモ現内閣ノ低物價政策ト申シマスカニ依ツテ別ノ方法デ——何故サウ云フコトヲ聞クカト云フト、モット農產物ノ價格ヲ上ゲテ貰ヒタイト云フ考デアルカラ、斯ウ云フ場合ハドウ云フ御決心、御考デ居ラレルカ聞イテ置カナケレバナラス、先達モ申上ゲタヤウニ甚

ダ冷淡トカ何トカ申上ゲマシタガ、斯
ウ云フ場合ニソコマデ思ッテ呉レナイ
ト云フナラバ、吾々ハ更ニ考ヘ直サナ
ケレバナラヌカラ御聞キスルノデス
ガ、朝鮮米ノ移入ナドヲ企テタリ上ル
コトニ付テ總テ賣叩クヤウナ發動ハ、
今日ハスベキ場合デアリマセウカ、ド
ウデセウカ

○町田國務大臣 一方ニ米ガ騰ッタ場
合ニハ二十七圓幾ラマデハ買ハナイト
云フ騰ル方ノ場合ノ御話ト、一面ニハ
現在ノ經濟事情ノ實際ニ即シタモノ
ト、假定ノ場合ト、二ツク付ケテ御話
ニナルト、其時ノ經濟事情ガ如何ナル
モノデアルカト云フコトヲ考ヘナケレ
バナラス、一方ハ假定、一方ハ農村ガ
困ッテ居ル實情ト、假定トヲクッ付ケタ
對策ハ、一寸私トシテ明確ニ御答辯ハ
困難デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマ
ス

○片野委員 假定ト言ハレ、バサウ云
フコトニナルカト思ヒマスガ、私ハド
ウモ農林當局ニ對シ平生斯ウ云フ疑問
ヲ有ッテ居ル、ドウモ米ノ値ノ下ッタノ
ハ仕方ガナイ、斯ウ云フ場合ハ仕方ガ
ナイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデハナ
イカ、ダカラ若シ何カノ關係デ騰ルヤ
ウナコトガアルトスルナラバ、ヤハリ
賣ニ出テ頭ヲ抑ヘルトカ、朝鮮米ノ移
入ヲ多クシテ上ゲナイヤウニスルノデ

ナイカ、只今現在ノ方針ハ分ッテ居リ
マス、其方針デ御進ミニナルト云フノ
デナクシテ、向フカラ盛ニ入レテ來ル
ヤウナコトデモヤッテ値ノ上ルコトヲ
抑制スルヤウナコトハナイカ知ラヌト
云フコトヲ私ハ思ッテ居ル

○町田國務大臣 茲ニ明ニ申シマス、
若シ現行法律若ハ此改正案ガ實行サレ
ル曉ト、今ノ經濟事情竝ニ農村ノ最モ
困憊致シテ居ル實際ヲ併セ考ヘテ見レ
バ、私ハ法律ノ許ス範圍内、米穀特別
會計ノ許ス範圍内ニ於テ出來ルナラ
バ、此米穀法ヲ運用シテ農家ノ今日ノ
窮乏ヲ救フ一助トシタイト云フ心持ハ
多分ニ有ッテ居ル、斯ウ御承知ヲ願ヒタ
イ

○片野委員 次ニハ是モ皆サンガ前ニ
御尋ニナリマシテ御答辯ガアッタノデ
アリマスガ、ドウモ私ハ順位ガ遅クナ
タモノダカラ、結局皆サンノ後ヲ御聞
キスルヤウニナリ、甚ダ當局ニ對シテ
御苦勞ヲ掛ケルコトニナリマスガ、簡
單デ宜シウゴザイマスカラの確ナ所ヲ
御答願ヒタイ、率勢米價ノ上下二割ノ
間ノ開キト言ヘバ可ナリ大キイ、ダカ
ラ投機者流ニモ利用サレル傾向ガアル
コトハ當然デアル、殊ニ又今日ノ社會
ニ於テ最モ重要視シテ居ル所ノ生産者
ヨリ消費者ヘト云フ、直接ノ供給ニナ
ルヤウニシタイ、努メテ中間ノ利益者

ヲ少ナクシタイト云フ方針カラ、多分
ニサウ云フ運動ガ介在スル餘地ノアル
モノハ、ドウシテモ何カノ基準ヲ決メ
ル上ニモ、私ハ範圍ト云フモノハ非常
ニ狹メテ行ク必要ガアルノデナイカ、
上下二割ノ開キトスレバ四割ニナッテ
居リマス、二十圓ト見レバ八圓ノ開キ
ガアル、三十圓トスレバ十二圓ノ開キ
アルノデアル、其間ニ色々ナ消費者モ生
産者モ困ルヤウナ運動ノ介在スル餘地
テハ如何ニ御考ニナリマスカ

○町田國務大臣 幅ハ上下四割アリマ
ス、率勢米價一ツデ參ル間ハ自由競争
ニ委セルト云フ點ニ於テ、米價ノ騰落
ヲ來タス範圍ノ波ハ相當アルト思ヒマ
ス、併シ之ヲ何等基準ガナクシテ、何
時發動スルカ、當局者ノ考ヘ一ツデヤ
ルト云フ時ニ較ブレバ、此法案ハ寧ロ
安定ニ餘程效力ガ多イノデアアルマイ
カ、斯様ナ確信ヲ持ッテ居ルノデアリマ
ス

○片野委員 當局者ノ自由裁量ニ一任
シタ場合ヨリハ宜イト云フコトモ、是
マデ再々承ッタノデアアルガ、然ラバ米穀
法施行ニ關スル命令ノ要綱ノ第九ニ
「經濟界ノ異常ナル變動ノ場合ハ最低
價格及最高價格ヲ改定スルコトヲ得
ルコト」トナッテ居ル、經濟界ノ異常時
ノ對策ハ茲ニ大體規律サレルコトニナ

ルト思フノデアリマスガ、此事ハ基準
ヲ定メルト云フコト、ハ、矛盾シタ事
柄デアルト私ハ思フ

○町田國務大臣 矛盾ト云フ御言葉ヲ
使ハレルコトハ私ハ強ヒテ御止メハシ
マセヌ、併シ一旦定メマシタ出動ノ場
合ノ例外ガ茲ニ出來テ居ル、片野君ニ
私カラ申上ゲル迄モナク、昔御研究ニ
ナッタ、例外ノナシ法律ハナイト云フコ
トモアル、法律デサヘモ左様デアリマ
スカラ、是モ一種ノ例外ガアル、其如
何ナル場合ヲ例外ニスルカト云フト、
二ツノ條件ガアル、ソレデ實際其場合
斯様ナル場合ヲ例外トスルト云フコト
ハ、長イ間研究シテ居リマシタ米穀課
長カラ、實際ノ場合ヲ申上ゲテモ宜シ
イ、矛盾ト云フコトニモナリマセウガ
併シ私共ハ之ヲ特別ナル例外トシテ斯
様ナコトヲ置クト云フコトニナッテ居
リマス

○片野委員 其御答辯ハ分リマシタ
ガ、當局ハ異常時ニ對シテハ、所謂例
外的行動ヲ執ラナケレバナラナイ、斯
ウ仰シヤル、ソレカラ先般私ガ農林大
臣ニ對シテ御尋シタ時モ、最後ニハド
ウ云フ御言葉デアッタカ、非常ノ時ハ非
常ナ決心ヲ以テヤル氣デ居ルト云フ、
斯ウ云フ仰セガアッタガ、大體觀念ニ於
テ、御方針ニ於テハ分リマスケレドモ、
其位、御話ノ通りニ、所謂言行ガ伴フ

ト云フコトデアラナラバ、今年ノ豐作ハ私ハ確ニ異常時ダと思フ、去年ノ十月カラ掛ケテ異常時デアル、ダカラ是コソ異常時デアルト固ク信ジテ居ル、デアルカラ何故ニ大臣ハモウ少シ例外的ナ、大臣トシテノ處置ヲ講ジテ、此悲境ニ直面シテ居ル農村ニ對シテ、臨機ノ處置ヲ講ジテ吳レナカッタカ

○町田國務大臣 屢、御答シタ積リデアリマスガ、農村今日ノ窮乏困憊ニ對シテハ、皆様モ御憂慮ナサルダラウガ私ノ立場トシテハ、如何ニシテ之ヲ緩和スルカ、如何ニシテ之ヲ救済スルカト云フコトニ付キマシテハ、日夜思ヒヲ致シテ居ルノデアリマス、其一端ト致シマシテ、如何ニスレバ此暴落ヲ幾分タリトモ回復サセ、調節シ得ラル、カト云フコトニ付キマシテ、種々ナル米價對策ヲ昨年ノ十月以來執ッテ居ル事情ハ、御承知ノ通りデアリマス、繰返シテ申ス迄モナク、關稅問題、移入認可問題、海外ニ輸出スル政策、朝鮮カラ入ッテ來ルコトヲ調節スル策、又是迄會テ試ミザリシ所ノ低利資金ニ依ッテ、農家自體ニ叔ニシテ四百六十萬石ヲ端境期迄ニ徹底的ニ賣出サセスト云フヤウナ對策ヲ講ジタノモ此非常時ニ對スル對策ノ一ツトシテ考ヘテ居リマス、同時ニ僅ニ二ヶ月ノ間ニ三百萬石ヲ買入レタト云フコトモ從

テ居ル、モット對策ガアッタ筈デアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデスガ、今思ヒ切ッテ、是デ何處迄モ斯ウ云フ狀況デ續クトスレバ、斯ウ云フ狀勢ナラバ、自分モ決心ガアルト承ッタガ、然ラバヤハリ大臣ハ將來責任ヲ以テ何處迄モ米價ヲモット向上サセルコトニ付テ、御盡シニナルト云フコトニ取ッテ宜シウゴザイマスカ

○町田國務大臣 米價ヲ向上サセルト云フ程度ハ私ハ分リマセスガ、少クトモ此度提案ヲシテ居リマスル根本改正ニ伴フ暫定的ナ方法トシテ、率勢米價一ツデ參ルトシテモ、現在ノ價格ハ率勢米價ニスラモ達シテ居ラヌト云フコトハ事實デアリマス、少クトモ此率勢米價ニ依ッテ現ハシタ價格以上ニハ、農林當局トシテ持ッテ行クコトヲ考ヘテ居リマス

○片野委員 非常ナ御決心ノヤウニ承ッテ、非常ニ私モ喜ブ次第デアリマスルガ、併シドウモ私ハ結果ニ現ハレテ來ナイコトハ、先達モ申上ゲタ通り遺憾デアル、勿論ヤラナカッタナラバ、是ヨリヒドカッタト仰セラレハ、ケレドモ是ヨリヒドクナルコトハ、如何ニ想像致シマシテモ、少シハアルカモ知レマセスケレドモ、私共ハハモウ兎ニ角最後ノ土壇場ニ落サレタモノデアルト斯ウ存ジテ居ル、即チハ當局ガ機宜ノ處置ヲ誤ッタモノデアルト固ク信ジ

○町田國務大臣 若シ此法律ガ出來マシタ時ハ、米穀法出動ノ場合ハ、下値二割ヲ割ッタ時ニ、初メテ出動スルト云フ法ノ立テ方デアリマスカラ、農民今日ノ窮乏ヲ救フニハ、此法律ト併セ行フ所ノ農家ノ窮乏ヲ出來ルダケ救済スル他ノ施設ト併セ行フコトハ勿論デアリマス

○西村委員長 片野サン、アナタノ御質問ハマダ長イノデスカ、松山サンノ御要求ニ依ッテ拓務省ノ政府委員ガ見エテ居ルノデスガ

○片野委員 私ハ農林大臣ト大藏大臣ニ一緒ニ御伺ヒ致シタイノデスガ……

○松山委員 拓務省ノ方ニ御質問ヲ致シタイと思ヒマス、是ハ米穀法ニ關シテ、米ノ問題デ幾多論議セラレテ居ルノデアリマス、其中ニ内地ノ米ヲ壓迫スルモノハ朝鮮米デアアル、故ニ朝鮮米ヲ日本ニ持ッテ來ルコトヲ制限スル意思ハナイカ、或ハ朝鮮米ヲ特別管理ノ下ニ置ク意思ハナイカト云フヤウナ御意見モ出タ譯デゴザイマシテ、此問題ハ朝鮮統治ノ上ニ非常ニ關係ノアルコトデゴザイマシテ、勿論當局ハソレヲヤルト云フ積リデハナイ、今日ノ米穀倉庫ノ方法ニ依ッテ此問題ヲ解決スル積リデアルト云フ御答ヲセラレテ居ルノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フヤウニ朝鮮米ガ内地デ論議セラレルコトニナリマスルナラバ、此機會ニ於テ朝鮮ノ米ノ問題ニ付テ拓務當局ト少シク質問應答ヲ致シテ見タイと思ヒマス、自然其中ニハ朝鮮米ノ朝鮮ニ於ケル事情ガ分ッテ來ルデゴザイマセウ、御差支ガナ

○町田國務大臣 若シ此法律ガ出來マシタ時ハ、米穀法出動ノ場合ハ、下値二割ヲ割ッタ時ニ、初メテ出動スルト云フ法ノ立テ方デアリマスカラ、農民今日ノ窮乏ヲ救フニハ、此法律ト併セ行フ所ノ農家ノ窮乏ヲ出來ルダケ救済

○片野委員 ドウモサウスルト、結局率勢米價下値二割位ノ所デ我慢シロト云フ結論ニナルヤウデ、甚ダ遺憾デア

○町田國務大臣 若シ此法律ガ出來マシタ時ハ、米穀法出動ノ場合ハ、下値二割ヲ割ッタ時ニ、初メテ出動スルト云フ法ノ立テ方デアリマスカラ、農民今日ノ窮乏ヲ救フニハ、此法律ト併セ行フ所ノ農家ノ窮乏ヲ出來ルダケ救済

フノデアリマス、此朝鮮米ノ事ヲ考ヘ
ルニ付テハ、私共ハ朝鮮統治ノ全體ノ
事ヲ考ヘナケレバナラス、是ハ非常ニ
ムヅカシイ問題デ、幾多ノ議論ハゴザ
イマセウケレドモ、私共ハ朝鮮ニ對シ
テ、之ノ大體ノ方針ニ對シテハ、内地
延長主義デ行クベキモノデアル、日本
ノ一部分トシテ私共ハ北海道ヲ考ヘ九
州ヲ考ヘルヤウニ朝鮮ヲ見テ行クベキ
モノデアル、之ヲ外國ノ例デ言ヘバ、
朝鮮ヲ愛蘭タラシメテハイカス、蘇格
蘭ノヤウニナケレバナラスト云フ、斯
ウ云フ者ヲ持ッテ居リマス、之ニハ幾多
議論モアリマスルケレドモ、私ハ斯ウ
云フ者ヲ持ッテ居ルカラ、隨テ此朝鮮
米ニ對スル態度モ、ソレデ行クベキモ
ノデアルト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、大局カラ申シマスレバ、日本内地
ニ於テ米ガ段々足りナクナル、ソレヲ
朝鮮カラ補フ、今日ハ五百萬石、或ハ八
百萬石ト云フモノガ朝鮮カラ來ル、總
テ之ハ九百萬石、千萬石ト云フコトニ
ナツテ、結局朝鮮ト日本トハ離ルベカラ
ザル關係ガアル、爭ハウト思ッテモ爭フ
ベカラザル關係ニナルト云フコトハ、
是亦私共ハ國家ノ大策ノ上カラ考ヘテ
結構ナコト、思ッテ居ルノデゴザイマ
ス、少ナクトモ日本ハ其方針デ行クベ
キモノダト云フ所マデ私共ハ考ヘテ居
ルノデゴザイマス、ソレニ付テ實ハ此

朝鮮デ米ヲ作ル者ノ立場、殊ニ日本カ
ラ朝鮮ヘ行ッテ、朝鮮ニ於テ産米ノコト
ニ實際携ッテ居ル者カラ近頃能ク懇ヘ
テ來ルカラ、其事ニ付テハ私ハ能ク諸
君ノ諒解ヲ得テ置キタイト思フ、ソレ
ハ朝鮮ニ於ケル産米増殖計畫ヲヤル時
ハ、諸君ハ皆ナ米ヲ作レ、詰リ金ヲ出
シテ耕地ノ改良ヲヤリ農事ノ改良ヲ
ヤッテ米ヲドンドン作レ、日本デハ米ガ
足ラス、食糧問題解決ノ爲ニ大ニヤレ、
多々益、便ズル、日本デハ年々二百萬石
三百萬石ノ米ヲ外國カラ輸入シナケレ
バナラス、多々益、便ズル、大ニ作レト
斯ウ云フコトニシテ、一ツハ事業慾、
又金儲ト云フコトモゴザイマセウガ、
要スルニ國家ノ爲メ日本國民ノ爲メト
云フコトヲ考ヘテ、實ハ産米ノ事ニ從
事致シテ居ッタ、サウスルト朝鮮デハド
ウ言ハレルカト云フト、吾々ハ日本ノ
食糧問題ノ犧牲ニナルノデアルト云フ
コトヲ朝鮮人側カラ言ハレル、斯ウ云
フヤウナ意味ニ於テ、朝鮮人ニ氣兼ね
ヲシ、結局是ハ日本ノ國ノ爲メダ、國
家ノ爲メダト云フコトヲ考ヘテ産米ニ
從事シテ居ッタノデス、所ガ近頃内地ガ
豊作ニナツテ朝鮮米ガ餘リ要ラヌト云
フコトニナツテ來ルト、日本人ノ咒咀ニ
ナツテ來ル、日本カラ金ヲ持ッテ行ッテサ
ウシテ朝鮮デ米ヲ作ッテ日本人ヲ壓迫
スルト云フコトデ、朝鮮ノ産米ト云フ

コトガ咒咀ノ的ニナツテ居ル、是ガ洵ニ
心外ナ事デアル、日本デ必要ノ時ニハ
朝鮮人カラ咒咀サレル、日本ニ必要ガ
ナクナレバ日本人カラソレヲ咒ハレ
ル、如何ニモ心外デアルト云フヤウナ
コトヲ手紙デ寄越ス者ガ隨分アルノデ
ゴザイマス、大體ソレダケノ事ヲ御諒
解ヲ願ッテ、朝鮮産米増殖計畫ニ付テ私
ノ質問ヲ進メテ行キタイト思フノデゴ
ザイマス
ソレデ朝鮮ノ産米増殖計畫ヲ打切ル
積リハナイカ、或ハ少シクソレヲ緩和
スル意思ハナイカト云フコトヲ述べタ
ニ對シテ、先日松田拓務大臣ハ、其意思
ハナイト斯ウ云フ意見ヲ發表セラレタ
ノデアリマス、ソレデ私ハ茲ニ一ツ御
伺シテ見タイ事ハ、産米増殖計畫ニ伴
ウテ澤山ノ水利組合ガ起ッタ、百幾ッ或
ハモット出來テ居ルカ知レマセヌガ、兎
ニ角澤山ノ水利組合ガ起ッタ、其水利組
合ノ中ニハ不良水利組合ト云フモノ
ガ、可ナリ澤山アル筈デゴザイマス、
水利組合ヲ起シタケレドモ甚シキハ出
來上ツタ米ヲ全部持ッテ行ッテモ組合費
ニ足ラヌ、總督府ガ水利組合ヲ認可ス
ル當時ハ、米ガ一石二十七圓ノモノ
ト算定シテ、是ダケノ收入ガアルカラ
是ダケノ水利組合費デ足りルト云フコ
トデソレヲ認可シタ、朝鮮ニ於ケル認
可ト云フモノハ内地ノ認可ト違ヒマシ

テ、一方カラ云フト干涉ガ激シイ、進
ンデ世話ヲシテ呉レルケレドモ、又
干涉ガ激シイ、サウ云フ下ニ於テ認可
サレテ水利組合ヲ起シタモノガ、米ノ
値段ハ此方デモ十七圓、朝鮮ト内地
トハ二三圓ノ値段ノ開キガアリマス
カ、朝鮮ハ十四圓、二十七圓トシテ
算盤ヲ立テテ拵ヘタ水利組合ガ、今日
十四五圓ト云フ値段ニナツテハ、到底成
立ッテ行カナイノモ當然ノ事デアル、ソ
レデ今日ノヤウニ米價ガ下ラス時カラ
隨分不良水利組合ト云フモノガアッタ、
況ヤ今日ノヤウナコトニナツテハ、是ハ
一寸御調べニナツタラ分ルと思ヒマス
ガ、更ニ組合費モ納メラレヌ水利組合
ガアルト思ヒマス、此不良組合ヲドウ
セラレル御考デアルカ、其點ニ付テ當
局ノ御意見ヲ承リタイ
○小坂政府委員 只今松山君カラノ御
質問デアリマスガ、松山君ハ干拓事業
其他ヲオヤリニナツテ、朝鮮ノ實情ニ通
ジテ居ラレルト思ヒマスガ、只今朝鮮
ト内地トハ一ツノ範圍トシテ經濟上考
ヘルベキモノデアル、斯ウ云フ御意
見ヲ承リマシテ、私共モ全ク同感デ
アリマス、先日東君ノ御意見ノ時ニモ
左様申上ゲマシテ、私個人トシテハ祕
ニ同感ノ意ヲ持ッテ居ッタノデアリマ
ス、ソレデ只今産米増殖計畫、之ニ伴ッ
テ水利組合ノ不良ナモノニ付テドウス

ルカト、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、御話ノ通り産米増殖計畫ハ大正十四年カラ續イタノデアリマシテ、當時ノ米價ハ相當ニ高カッタノデアリマス、内地デモ開墾計畫ト云フヤウナモノニ付テハ、其當時ノ米價ヲ標準トシテヤッタノデ、耕地整理等ハ今日窮境ニ陥ッテ居ルモノヲ相當ニアルヤウニ承知シテ居リマス、ヤハリ朝鮮デモ同様デアリマシテ、御話ノ通り到底計算ノ立タヌモノガ二三見エテ參ッタノデアリマシテ、前年津南組合ハ解散ヲ致シ、今年ノ豫算ニ於テモ文幕、旌善、此二ツノ組合ハ先般ノ洪水ノ爲ニ流サレタ、之ヲ改良工事ヲ施スニハ非常ナ金ガ掛ッテ、其金ハ到底回收スルコトモ出來ヌ種類ノモノデアリマスカラ、左様ナモノハ如何ニ補助シテモ、成立ノ見込ガナイ爲ニ、解散サセルコトニ致シマシタ、サウシテ其損失ヲ、之ニ金ヲ貸シタ東拓、國家、組合自體、各部分ヲ分擔致シマシテ、其損失ヲ決メテ解散スルコトニシタノガ二ツアルノデアリマス、其外ニ於テハ只今ノ所デ相當困難ナノモアリマスケレドモ、先ヅ第一ニ計畫シテ居ルノハ、資金ヲ低利ニ借替ヘルコトデアリマス、是ハ昨年度ニ一千万圓ノ借替ヲ行ッテ、低利資金ヲ融通致シマシタ、今年又四百萬圓ノ低利資金ヲ融通致シマシテ、金利ノ差ダケデモ、ソコ

デ樂ニスルヤウニシタイト努メテ居リマス、ソレカライマーツニハ、自然工事が、勞銀ガ幾ラカ低下シタ爲ニ採算モ樂ニナルト云フヤウナコトニナッテ居リマス、尙ホ歳出ノ經費ノ節約ヲ圖ラセルコト、若クハ積立金ヲ繰入レルコト、或ハ償還ノ期日ヲ幾ラカ變更シテ、延期セシメルヤウニシマス、若クハ償還期間ヲ、出來得ルダケノ延長セシメテ行クト云フヤウナコトニ付テハ、ソレト目下計畫シテ居ルノデアリマス、ドウモ此組合費ガ——其處ニ出來タ米ヲ賣ッテ、ソレカラ管理費、若クハ公租、肥料代等ヲ差引イタ其残りガ、組合費ニ足ラヌト云フヤウナモノニ對シマシテハ、已ムヲ得マセヌカラシテ、是ハ延納ヲ許スト云フコトニシマシタ、其延納ノ歩合ハ、延納ノ率ニ依リマシテ、年度ヲ分ケテ許スヤウナ方針ヲ執ッテ、目今ノ急ニ應ジヨウト考ヘテ居ル譯デアリマス、併シハ特別ナ今年ノ事情デアリマスカラ、種々政府ノ施設、若ハ財界自然ノ回復等ニ依リマシテ、米價ガ今日ガ標準ニナルコトハナイト信ジマスカラ、適當ナ價格ヲ維持スル場合ニハ、相當ナ成績ヲ以テ進行スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、何レニ致シマシテモ、此米價ノ暴落ニ付テハ、産米増殖計畫ハ非常ナ困難ナル狀況ニアルノデアリマシテ、

是ガ爲ニ政府ニ於テモ出來ルダケ援助ヲ致シマスケレドモ、多少此事業ガ遅レルト云フヤウナコトハ、或ハアルカモ知レヌト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松山委員 朝鮮關係ノ政策ヲ私共ハ明瞭ニスルニ付テハ、朝鮮ガ特殊ノ事情ニ在ルト云フコトヲ了解シテ貰フ必要ガアル、此意味ニ於テ自然話ガ少シ横道デ、朝鮮ノ事情ニ互ルコトガアルコトヲ御承知ヲ願ヒマス、初メニ一ツ御考ヘ願ヒタイコトハ、今日朝鮮ニ於ケル産業ハ殆ド全部農業デアリマス、朝鮮人ノ財産ハ土地及ビ農業關係ノモノデアリマス、故ニ水利組合ヲ起シテ、サウシテ其組合ノ役員ニハ總督府カラマア理解ノアル人モ行ッテ管理サセルト云フコトハ、朝鮮人ニ取ッテハ唯一ノ財産ニ手ヲ著ケラレルコトデアリマスカラ——御承知デモゴザイマセウガ、一千年前ニ支那ガ朝鮮ヲ、領シタ其時分ニハ、新羅唐ノ時代ニ、一時朝鮮ハ支那ノ主權ノ一部ニナッタ、サウ云フ時デモ支那人ハ殆ド朝鮮人ニハ自治ヲ許シテ居ル、ソレカラ其後或ハ蒙古ニ征服セラレ、或ハ滿洲ニ征服セラレ、ソレカラ屢ニ統治者ガ造リマシタケレドモ、隨分其間ニハ唐セラレタコトモアリマシタケレドモ、朝鮮ニハ自治ヲ許シテ居ル、然ルニ日本ノ總督政治ニナッテ

テ役人ノ要部ハミナ日本人デ占メテシマッタ、サウシテ朝鮮ヲ統治シテ居ルト云フコトニ付テハ、朝鮮人ハ非常ニ不愉快ナ感じヲ持ッテ居リマス、是ハ一面已ムヲ得ナイコトガアルト考ヘテ居リマスガ、非常ニ不愉快ナ感じヲ持ッテ居リマス、然ルニモウ一ツ財産方面ニ於テ、唯一ノ財産デアアル土地ヲ、水利組合ニ日本人ガ行ッテ之ヲ管理スルト云フコトハ或ル意味ニ於テ殆ド堪ヘ難イコトニ朝鮮人ハ感じテ居リマス、朝鮮水利組合ハ内地ノモノト少シ違ヒマスガ、朝鮮デハ斯ウ云フ事ニナッテ居リマス、水利組合ハ面積ニ於テ七割、人數ニ於テ半分五割ダケノモノガ、水利組合ヲ起スト云フコトニ賛成シタナラバ、外ノ者ガ反對シテモ是モ強制的ニ其水利組合ヲ起サセルコトガ出來ルヤウニ、朝鮮ノ組合ハナッテ居リマス、即チ面積ノ三割人數ニ於テ半數ノ者ガ反對シテモ、其水利組合ハ強制的ニ作ッテシマフ、サウ云フ狀態デアリマスカラ是ハ又朝鮮ニ於テ已ムヲ得ヌ事情モアリマセウケレドモ、可ナリ日本内地ニ於テ想像セラレヌ程ノ無理ナヤリ方ノ下ニ進メラレテ居リマス、是亦實際ニ於テ已ムヲ得ヌト思ヒマス、之ヲ決シテ惡イト私共言ッテ居ルノデハアリマセヌ、故ニ水利組合ノ經營ガ旨ク行カスト云フコトニ對スル朝鮮人ノ責任觀念ハ、

日本内地ニ於ケルノト餘程違フノデナイ、之ヲ朝鮮人ニ懃ヘテモ朝鮮人ハ歸ツテモ、中々高等官ニナレナイ、支那人ノ方ハ、支那ニ歸ルト少シ經テバ、何トカ局長トカ、何トカ部長トカ、何トカ總長トカナツテ、偉イ者ニナルガ、朝鮮人ハ中々ナレナイ、玆ニ大キナ不平ガアルノデアリマス、是カラノ日本ノ朝鮮統治ノ政治的ノ對象ハ、此地主階級ノ子弟ガ、勉強シテ歸ツテ來タ者、是デス、吾々ノ見ル所、或ル意味ニ於テハ敵——敵ト言フコトハ當リマセヌケレドモ、常ニ私共ノ目標トシテ之ヲ眺メナケレバナラヌノハ此階級デゴザイマス、所ガ是ハ今日ノ朝鮮統治ノ目標デゴザイマス、然ラバ朝鮮ノ明日ノ統治ノ目標ト云フモノハ何デアリカト云フト、ソレハ小作人階級デアリマス、是ガマダ、目覺メズ、無教育デアリ、赤貧洗フガ如クデアツテ、サウシテソレガ多數アル、或ル意味ニ於テハ是ガ今日地主カラ虐ゲラレテ居ル、ソレデ私ハ將來ノ朝鮮統治ニ付テハ、此小作人ト云フモノノ人心ヲ、常ニ所謂日本ニ對抗シヨウトスル今日ノ知識階級、地主階級ガ其人心ヲ——其階級ノ人心ヲ取ルカ、日本ノ總督府ガ取ルカソレヲ取ツタモノガ、朝鮮統治ニ於テ成功スル、成功スルカ成功セヌカノ鍵ハ玆ニアルト思フ、此意味ニ於テ產米増殖計畫ト云フモノハ、朝鮮ニ於テ非常ニ大切ナル政治的ノ問題デアル、米ヲ作ルト云フ以外ニ非常ニ、大切ナ意味ヲ持ツテ居ル、ソレデ此水利組合ト云フモノヲ朝鮮デ起シマスルト、ソレガ爲ニ地主ハドウ云フ勘定ニナルカト言ヘバ、少クトモ當分、殆ド是デ利益ヲ得ナイノデアリマス、小作料ヲ取ツテ、ソレデ水利組合費ヲ納メマスト云フト、地主ハ利益ガナイノデアリマス、ソレハソコニ色々ナ事情ガゴザイマス、ソレハ斯ウ云フコトニアルノデアリマス、詰リ日本人ナラバ、サウ云フ風ニシテ水利組合デモ起シテ、灌漑設備ヲ十分ニスレバ、一反歩ニ玄米ニシテ或ハ二石五斗取レルトカ、兎ニ角玄米デ二石モ取レ、バ、十圓ヤ十五圓ノ水利組合費ハ決シテ重クナイ、所ガ朝鮮デハ、今マデノ慣習上一石シカ取レヌ、ソレ以上取レルト思ツテ居ナイ、ダカラ一石ヨリ取レヌ人ニハ、五圓デモ十五圓デモ水利組合費ハ堪ヘラレナイト感ズル、尤モ今日ハ朝鮮人ト雖モ少シ利口ナ者ハ、日本人ガ良ク作ツテ居ルノヲ見テ、段々覺エテ來テ產米ハ増シテ來マシタ、總督府モ之ニ色々注意ヲシマス、初ハチットモ注意シナカッタガ、此頃ハ水利組合ニ技術員ヲ置イテ、サウ云フコトニ注意スルヤウニナツタ、初メハサウ云フコトヲヤルト總督府カラ叱ラレマシタ、水利組合ハ灌漑ヲスルダケノ機關ダト言ツテ叱ラレタ、併シ今日

デハ段々民間デモサウ云フコトヲヤリ、又總督府デモ、今日デハ注意シテ居リマスケレドモソコニ見解ノ相違ガアリマシテ、朝鮮人ノ地主階級ニシテハ、水利組合ト云フモノヲ作ラレルト云フコトハ迷惑デアル、或ル意味ニ於テ、水利組合ガ出來ルト土地ノ値段ガ下ル、或者ハ借金シテ堪ヘラレナイデ、其土地ヲ賣ッテシマッテ、人ニ取ラレタト言フ者モアル、此意味ニ於テ水利組合ノ成績ガウマク行クカ行カヌカト云フコトハ、今日ノ地主階級ニアル、私ガ懷ニ手ヲ入レラレルヤウダト言フノハソコナンデス、非常ニ彼等ニハ深刻ナル考ヲ持ッテ居ル、併シ是ハ良イ事デアッテ、ヤラナケレバナラナイコトデアアル、相當ニ強制ヲ加ヘテモ、ヤラナケレバナラヌコトデアアル、一步ヲ誤ルト、ソコニ重大ナ關係ガアルト云フコトヲ考ヘテ貫ハナケレバナラヌ、ソレカラ小作人階級ニハ、何故ニ產米増殖計畫ガ宜シイカト言ヘバ、小作人ハ皆是デ利益ヲ受ケテ居ル、地主ハ必シモ利益ヲ受ケルコトニハナラナイケレドモ、小作人階級ハ必ズ利益ヲ受ケル、今マデノ朝鮮ノ土地デハ、中々其收穫ガ確實ニハ取レナイノデス、不安定デアッテ、收穫ノ量ガ少ナイト云フコト、朝鮮ノ平均收穫ハ、多分今日デモサウデアラウト思フガ、一反歩平均八斗位シカ取レテ居リマセヌ、日本デハ二石以上ニナッテ居リマスルガ、朝鮮デハ斗位シカ取レマセヌ、今年ナンカハ少シ多イデアリマセウガ——斯ウ云フ工合ニ收穫量ガ少イ、是ガ朝鮮人ノ生活ニ非常ナ關係ヲ持ッテ居ル、斯ウ云フコトニナルノデス、日本ニ於テハ、越後平野トカ、或ハ大阪附近ノ平野トカ、或ハ宮城縣トカ、庄内トカ、大平野ノアル所ハ、米ノ收穫ガ多ク豊穰ナ、人民ノ豐富ナ所デゴザイマス、朝鮮ニ於テハ、此灌漑設備ガナイ爲ニ、大平野ノ附近ニハ田ガ少イ、山ノ近クデ少シ川ノアル所ハ、山カラ流レテ來ル所ノ川ノ水ヲ受ケテ灌漑シマスガ、大平野デハソレガ出來マセヌカラ、旱魃ト云フコトノ爲ニ苦ミマス、朝鮮ノ民心ノ不安ナ所、暴動ナドノ起ル所ハ皆平野デアアル、例ヘバ全北平野ノ古阜ト云フ所デ、日清戰爭前東學黨ノ暴動ガ起ッテ居リマス、ソレカラ、平安南道デ申シマスルト、今昭和水利ト云フ大キナ水利組合ガ出來ルコトニナッテ居ル、安州平野、此處ナドモ人心ノ不安ニ陥リ易キ地方デアアル、ソレカラ黃海道ノ延白平野モ、是マデ人心ノ險惡ナ所デアッタ、伊藤サンヲ殺シタ安重根ハ此地方カラ出テ居リマス、兎ニ角斯ウ云フ人心ノ不安ナ所ハ、皆平野地方デアリマス、是ガ今申シマス水利組合ガ出來テ、收穫ガ多クナッテ來ルハ此意味デアリマス、尙ホ此機會ニ於テ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、朝鮮ノ教育問題デアリマス、私共ハ、今申シマスル此思想ニ付テ、朝鮮ニ於テハ專門學校、或ハ大學ト云フヤウナ高等教育ヲ施スヨリモ、普通學校ニ於テ、普通教育デ宜シイカラ、小作人階級ヲ教育スルト云フコトガ極メテ大切ナコトダト思ッテ居リマス、教育ト云フモノハ——日本ニ於テモ教育ヲスルト云フコトハ一種ノ慈善事業デ、宗教家デアルトカ寺トカ云フモノデヤッテ居ッタ、ソレガ今日ハサウ云フ人ノ手カラ多ク離レテ、大體政府ノ事業ニナリマシタケレドモ、教育ト云フモノハ一種ノ慈善事業デアルト云フ考ガ朝鮮ニハ隨分アル、故ニ教育ノ爲ニハ隨分寄附金ヲスル者ガアル、ソレダカラ朝鮮ニ於テハ普通教育ニ力ヲ入レテ、四年制デモ宜シイ、若モ急ニ行カヌナラバ、寺小屋式ノ書堂ガゴザイマスガ、ソレニ相當補助ヲシテモ教育ニ力ヲ入レテ戴キタイ、相當勸メレバ、慈善事業ノ意味ニ於テ、普通ノ税金以外ニ金持モ寄附致シマス、ダカラ地主ノ金ヲ以テ小作人ヲ教育スルト云フ、普通教育ニ力ヲ入レルト云フコトガ極メテ大事デアアル、私ガ洵ニ遺憾ニ感ジタノハ、山梨總督ノ時ニ之ニ手ヲ著ケタノデス、而モ其時ノ產米増殖計畫ノ金ヲ削除シテ、ソ

レニ入レヤウトシタノデ、今ノ北海道長官ノ池田君ナドガ非常ニソレヲ攻撃シタカラ、ソレデ總督府モ總テ引込メテシマッタガ、山梨總督ガ手ヲ著ケタ、私ハアノ人ガア、云フ結果ニナツテシマッタカラ、政策マデモ葬ラレテ行クノデハナイカト心配シテ居ル、兎モ角明日ノ政治階級タル小作人階級ヲ教育スルト云フコトハ、朝鮮ノ將來ニ對シテ非常ニ大切ダト思フ、ソレニ併セテ此產米計畫ト云フモノガ、朝鮮ニ於テハ政治的意味ニ於キマシテドウシテモ進マス、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス、拓務省ナドニ於テハ朝鮮ノ將來ヲ考ヘラレルニ付テハ、少シク内地ノコト、考ヲ變ヘテ、若シ是ガ困難ニ陥ル時ニハ、保護政策ヲヤルノモ已ムヲ得ナイト思フ、是ハ一ツ御調ヲ願ヒタイノデアリマスガ、以前サウデゴザイマシタガ、今日モ確ニサウデアラウト思フ、日本カラ千五百萬圓ノ補助金ヲヤリ、色々ナ意味ニ於テ日本ノ金ガ行キマスガ、其行ツタ金ハ全部日本ヘ歸ツテ來マス、ソレハ移出入ノ關係ニ於テ商品代トナリ、製造品ノ値トナツテ、日本カラ參ッタ金ハ全部日本ニ歸ッテ參リマス、ソレダカラ大局カラ見レバ、如何ニ今日朝鮮ノ鐵道ニ資金ヲ與ヘ、公債ヲ取ツテ資金ヲ與ヘ、水利組合ニ金ヲ與ヘル等、今當局ガ低利資金ヲ與ヘタト云フ

コトヲ申サレマスガ、サウ云フコトニヤリマシテモ、其金ハ殆ド皆日本ニ歸テ來マス、洵ニソコニ色々ノ都合モアリマセウケレドモ、サウ無闇ニヤル譯ニ行キマスマイガ、朝鮮ニ行ツタ金ハ皆結局日本ニ歸ッテ來ル、斯ウ云フヤウナ意味ニ於テ、朝鮮ノ土地改良事業ヲヤルト云フコトハ、唯算盤ノ上ダケデ、今米ガ日本ニ來ルコトガ困ルコトモ隨分アルト思ヒマス、サウ云フコトモアリマスケレドモ、是ハ朝鮮統治ノ國家對策ノ上カラ考ヘテ、朝鮮米ガ日本ニ來ルト云フコトニ付テモ、餘程慎重ニ之ヲ考慮シテ貰ハナケレバナラス、殊ニ水利組合ノ成績ト云フコトニ付テハ、非常ニ注意深イ注意ヲ之ニ加ヘテ戴カナケレバナラスト私共ハ思フ、今言フヤウナ意味ニ於テ、產米増殖計畫ト云フモノハ非常ニ大事ナコトデゴザイマスカラ、此金ハ何時モ控ヘルト云フコトハセズニ濟ムモノナラ、私共ハ他カラ資金ヲ廻シテ、成べく其金ヲ控ヘルト云フヤウナコトノナイヤウニシテ貰ヒタイト思ヒマスガ、若シ其金ガ足ラヌノナラバ、產米増殖計畫ノ進行ヲ一時足踏シテモ、今日千七百萬圓カ何ボカ、其金額ガ若シ分ッたら知ラシテ戴キタイノデスガ、年々千七百萬圓カ千五百萬圓ノ金ヲ產米増殖計畫ニ使ッテ居ルノデアリマス、其金ヲ一時幾分

カ向フヘ進ムコトヲ差控ヘテモ、後ノ不良水利組合ノ整理ト云フコトニ特別ナ注意ヲシテ戴キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論ソレヲシナクテモ金ガ行クナラバ結構デゴザイマス、ケレドモ今日ノ財政ノ事情ハ、私共モ略々了解致シテ居リマスカラ、ソレハ都合ニ依リマシテハ、產米増殖計畫ヲ一時足踏サシテモ、此不良水利組合ト云フモノハ、此際米ガ段々内地ニ來ラレテハ困ルト云フコトヲヤカマシク言フカラ、一時產米増殖計畫ヲ止メタラドウカト云フ聲ガアルカラ、サウ云フヤウナ時ニ、產米増殖計畫ニ足踏サシテモ、此際ニ於テ不良水利組合ト云フモノヲ徹底的ニ整理スル必要ガアル、又將來大ニ進ムガ爲ニハ足下ヲ十分ニシテ置カナケレバ、私ハ十分ニ此產米増殖計畫ノ事業ガ出來ナイノデハナイカト思フノデアリマス、朝鮮土地改良會社ノ成績ナドヲ見マスルト、此一期ノ總會ニ現ハレタル成績ニ依リマスト、別ニ收入ガ減ッテ居ラナイヤウデアリマス、併シ此次ノ半期ニハ多分減ズルダラウト思フ、水利組合ヲヤルコトヲ皆厭ガツテ、今日ハ水利組合ヲ各道廳ニ於テ皆世話シテヤラシテ居ルノデアリマス、隨分或意味ニ於テハ強制ト云フモノモ加ハツテ、斯ウ云フモノガ出來テ居ルノデアリマスガ、ソレデモ恐

ラク次ノ下半期ニハ、土地改良會社ガ之ヲヤル上ニ付テハ、相當ニ營業ノ成績ノ上ニ現ハレテ來ルダラウト、當事者モ言ツテ居ル譯デアリマス、サウ云フ時デアリマスカラ、外デ金ヲ廻セルナラ結構デスガ、ソレガ出來ナイナラバ、產米増殖計畫ノ金ヲ一時少シ足踏サシテモ、此不良水利組合ノ整理ヲスルコトガ賢イヤリ方デハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、當局ノ御意見ヲ承リタイ

○小坂政府委員 此水利組合ノ計畫ノコトノ御議ガアリマシタガ、如何ニモ朝鮮ニ於テハ内地ヨリ餘程強制的デアリマス、此事情ハ智能ノ程度ノ十分發達シナイ所ニ於テハ、洵ニ已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、ソレト同時ニ、其成績ガ非常ニ關係ヲ持ッコトデアツテ、政府デ十分ナ責任ヲ負ハナクテハナラスト云フ御意見ハ、洵ニ御尤ニ考ヘテ居リマス、唯今日丁度松山君ノ言ハレタヤウニ、水利組合ガアルト地主ガ土地ヲ賣逃デスルト云フヤウナ噂ヲ時々聞クノデ、甚ダ遺憾ニ考ヘマスガ、是ハ全部デナク、松山君モ御承知ノ通り、良イ所ハ中々成績ノ舉ッテ居ルモノモアリマス、併シ計畫ガ或ハ齟齬スルカ、或ハ組合費ガ豫定ヨリ餘計掛ルト云フ所ニハ、サウ云フ現象ハアルノデアリマシテ、此事ニ付テハ、是ハ私

個人ノ考デマダ未定ノ案デアリマス。ケレドモ、ドウモ此償還年限ガ餘リ早過ギルノデハナイカ、据置期間ガ短カ過ギルノデハナイカト云フ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是ハ其意味デ研究シテ見タイト思ッテ居リマス、水利組合ノ計畫ガ出來上リ、直チニ組合費ヲ負擔サセラレルト云フコトデアッテハ、收穫ハマダ上ラズニ組合費ガ取ラレルト云フコトニナッテ重ナルカラ、其負擔ニ堪ヘズ、土地ヲ賣逃ゲスルヤウナコトガ出來ルノデヤナイカ、斯ウ云フ疑ヲ私ハ持ッテ居ル、此意味ニ於テ据置期間償還期限ト云フモノニ付テ、十分考慮シテ見タイト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

次ニ朝鮮ノ人情ニ付テ色々ノ御話ガアリマシテ、例ヘバ貴族ガ非常ニ不平等ナル、親日派デアッタ貴族ガ今非常ナ窮境ニアル爲ニ、彼等ガ怨シデ居ル、其事モ事實デアリマス、ソレデ昨年此貴族救済ノ事業ノ爲ニ二百五十萬ノ金ヲ支出致シマシテ、利息十五萬圓デ、斯様ナ種類ノ貴族ヲ救済スルコトニ致シタノデアリマス、此事ハ朝鮮人全體トシテ非常ナ不評判ナ仕事デアッタノデアリマス、併シ又親日派ノ者ガ時勢ノ變化ノ爲ニ没落シテ行クノヲ總督トシテ見殺シニスルコトガ出來ナイト云フコトカラ、此不評ヲ押切ッテ此計畫ヲ

致シタ次第アルノデアリマス、又御話ノ「ヤンバン」ノ子弟ガ就職ノ途ガナイ爲ニ不平ガアルト云フコトモ、洵ニ御尤デアリマシテ、是ハ非常ナ大キナ問題トシテ、實ハ心配致シテ居ルノデアリマス、内地ニ於テモ學問ヲシテ就職ノ出來ナイ者ガ、常ニ思想動搖ノ根本トナル如ク、朝鮮ニ於テモ「ヤンバン」若クハ地主ノ子弟ガ學校ヲ卒業シテ就職ノ途ガナイノデ、ドウカシテ役場ノ面書記ニデモナラウト思フト、非常ナ競争デアルト云フ状態デ、此點ハ私共モ松山君ト憂フ同ジクシテ居ル次第デアリマス

尙ホ產米増殖計畫ガ小作人ノ爲ニハ宜シイカラ、進ンデ大ニヤラナケレバナラヌト云フ御話ハ御尤デアリマシテ、現ニ以前ハ八斗前後ノ收穫ノモノガ、水利組合ノ發達シタ所デハ、粃デ三石二三升穫レル位ニ進ンデ居ルノデアリマシテ、私共大體ノ考ニ依ッテモ、朝鮮ニ於ケル農事ノ改良ガ出來マスレバ、内地割合ニシマスルト、朝鮮ノ人口ガ現在ノ倍近クナッテモ收容ガ出來ルト思ッテ居ルノデアリマシテ、農事ノ指導ニ付テハ最モ力ヲ注ガナケレバナラヌコトハ、松山君ト同意見デアリマス、唯常ニ困ルコトハ、産業技師ガ朝鮮ノ言葉ガ分ラズ、農民ガ日本語ガ分ラヌ爲ニ、技師ガ農業技術ノ説明ヲス

ルノヲ、技術ノ分ラヌ通譯ガ通譯スルト云フコトデ、中々農民ニハ徹底セヌ、斯ウ云フ非難ヲ聽クノデアリマシテ、朝鮮人ノ中カラ斯ウ云フ技術者ガ出テ來ルヤウニナリ、若クハ内地ノ人ガ役人トシテ朝鮮ニ行ク際ニハ、朝鮮語ヲ研究シテ行クヤウニシナケレバ、徹底シタ仕事ガ出來ヌノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

又教育ノコトニ付テ御意見ヲ述べラレマシタガ、山梨總督ノ時分ニ一面一校主義ト云フコトヲ言ハレテ、一ツノ面ニ一ツノ小學校ヲ造ル計畫ヲサレテ、是ハ朝鮮デ歡迎サレテ居ルノデアリマスガ、現在モ其計畫ヲ棄テ、居ル譯デアリマセヌ、併シ是ハ餘リ急進主義デアッテ民士ニ副ハナイ、教育費ノ爲ニハ内地ノ農村デモ非常ニ苦ンデ居リマスガ、朝鮮ニ於テハ一面一校主義ト云フモノニ禍サレテ、非常ニ困ッテ居ル状態モ隨分アルノデアリマス、私共朝鮮ノ小學校ニ付テ最モ面白イト思ヒマシタノハ、京畿道邊リデ小學校ヲ卒業シタ者ヲ、學校ガ中心トナッテ農業ノ實習ヲ指導スルト云フコトヲヤッテ居ル、其成績ハ非常ニ佳良デアリマシテ、寧ロ内地ノ小學校モア、云フ真似ヲシテ、學校ノ卒業生ガ皆組合員ニナッテ、農事ノ改良ヲヤッタ宜イノデハナイカト云フコトヲ考ヘテ居ル次第

デアリマス、今京畿道方面デヤッテ居ルガ、是ガ一般ニ行互ッタナラバ、朝鮮ノ農業ハ餘程改良サレルノデハナイカト考ヘテ居リマス

ソレカラ產米増殖計畫ハ、御話ノ通り年千七百萬圓前後ノ金ヲ取ッテ居リマスガ、若シ之ヲ不良水利組合ノ整理ニ使ッタナラバドウカト云フ御意見デアリマス、是モ私ハ同意見デアリマス、其當時ハ不良デハナカッタノデアリマスガ、何分時勢ノ變化デ米價ガ下リ、當初ノ計畫トハ根本カラ收入支出ノ見込ガ狂ッテ來タノデアリマスカラ、其引合ハヌモノハ政府デ援助スルナリ、利息ヲ低利ニスルナリ、何等カノ方針ニ依ッテ引合ハシテ行カナケレバナラノハ當然ノコトデアリマシテ、ドウシテモ救済ノ途ノナイモノハ解散サセマスケレドモ、然ラザルモノハ全力ヲ舉ゲテ水利組合ノ活動ノ出來ルヤウニ力ヲ注ギタイト云フコトハ、松山君ノ御希望ト同一デアリマス、大體ニ於テ松山君ノ御意見ハ、私共ノ期待スル所ト相違致サヌコトヲ申上ゲテ置キマス

○西村委員長 松山君ニ申シマスガ、アナタノ御質問ハマダ長イノデアリマス

○松山委員 マダ大分アリマス

○西村委員長 ソレデハ先程片野君ノ質問ノ中止ヲ願ッテ、大藏大臣ノ出席マ

デ延シテ居ッタノデアリマスガ、只今大藏大臣ガ差繰ッテ此處ニ御出席ニナリマシタカラ、片野君ノ大藏大臣ニ對スル質問ヲ御願致シマス

○片野委員 過日當委員會ニ於キマシテ、需給特別會計ノ損失金ヲ一般會計ニ移サナケレバナラヌト云フコトニ付テノ、私ノ質問ニ對スル大藏大臣ノ御答ハ、次ノヤウデアッタと思ヒマス、即チ此損失金ヲ一般會計ニ移スコトノ意見ニハ贊成デアル、併シ財政ノ現狀ガ之ヲ許サナイカラシテ、今年ハ提案シナカタ、又財政ノ十年計畫ニモ固ヨリ是ハ含ンデ居ラナイ、財政ノ餘裕アル時ニ根本的ニ改正ヲシタイと思ッテ居ル、即チ事務費ヲ一般會計デ支辨スルト云フヤウナ、一部分ノ改正ハスル意思ガナイ、斯様ナ御答辯デアッタと思ヒマスガ、其點ハ左様ニ承知シテ宜シウゴザイマス

年々二年デ來ル譯ハナイと思ヒマスカラ、此處暫クハ一般會計ニ繰入レルコトハ見込ガナイと思フヨリ仕方ガナイト感ジマスガ、其點ニ對スル大臣ノ御考ハ如何デアリマス

○井上國務大臣 同様に御質問ガ東君カラアリマシタ時ニ、一億五千萬圓ヲ假ニ交付公債デ整理スルト致シマシテ、之ヲ一般會計デ持ツトスルト、公債ノ利拂、減債基金ダケデザット一千萬圓ノ恆久財源ヲ要スルデアリマス、其金ヲ一般會計ヨリ餘裕ヲ見付ケ出サナケレバ、一億五千萬圓ノ損失ヲ交付公債ニ依ッテ整理スルコトモ出來ヌ、斯ウ云フコトニナルデアリマス、度々申上ゲマスマウニ、税制或ハ財政ノ整理ヲシテ、成タケ昭和七年度カラ財政ニ餘裕ヲ見付ケヨウ、又財政計畫モ堅固ニシヨウ、斯ウ心掛ケテヤル積リデ居リマス、併ナガラ只今申シマスマウニ、一千万圓ノ恆久財源ガ要ルデアリマスカラ、昭和七年度カラ必ズ實行出來ルカドウカ、深ク努力シテ色々試ミテ見マスケレドモ、昭和七年度カラ此整理ガ必ズ出來ルト云フコトハ申上ゲ兼ネルデアリマス

○片野委員 昭和七年ヨリ實行シタイト云フヤウナ意見ハ、只今始めテ承リマシタガ、斯様ナ程度ニマデ御考ニナッテ居ルナラバ、財政計畫ノ上ニ御入レサヘ出來レバ、成タケ早く整理ヲシヨウ、斯ウ云フコトハ農林大臣ノ言ハレル通りニ同ジ希望ヲ持ッテ居リマス、但シ昭和七年ナリ、次ノ議會マデニ、此整理ガ出來ルカ出來ナイカ、斯ウ御尋ネニ相成リマスナラバ、今日確定的ニ出來マス、斯ウ申上ゲマスマデノ程度ニ參ッテ居リマセヌ

○片野委員 併シ農林大臣ノ此御説明ハ、可ナリ思切ッテ御説明ト私ハ思ヒマス、萬難ヲ排シテモ是ハヤリタイ、ヤル決心ダト、斯ウ云フ風ニマデ私ハ解釋シテ宜シイダラウト思フデアリマス、多少懸念シテ居ル人モアラン、現内閣ノ政策トシテ議論ノ餘地モアラシ、私ハソレデモ構ハヌ位ノ考ヲ持ッテ居ル、來年カ再來年ニ相成レバ、交付公債トシテ損失ヲ埋合セナケレバナラヌ、全體會計法ガ惡イノダカラ、根本的ニ是ハ改メナケレバナラヌ、斯様ニ仰セラレテ居ル、是ハ唯言葉ニアル通りノ事ヲ骨ダケヲ抜イタノデアリマスガ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、只今大藏大臣ノ御話ダト、希望ダト言フ、サウハシタイケレドモト云フヤウナ位ノ御考デ、其處ニ殆ド連絡モ御打合モナイヤウニ考ヘル、此重大ナル國策、吾々ガ先ヅ此米穀法ノ改正ニハ、必ズ伴ッテ出ルベキモノト豫想確信ヲシテ居ッタ、是ハ天下ノ輿論デアルト思フ、デアリマスカラ斯様ナ問題

○井上國務大臣 御説ノ通りデアリマス

○片野委員 然ラバ此改正ハ、結局實際上ノ問題トシテハ、此處數年ハ見込ガナイト云フコトニ、吾々トシテハ解釋スルヨリ外ハナイと思ヒマス、殊ニ財政ニ明ルイ大藏大臣ガ、十年計畫ノ中ニモ含ンデ居ラナイ、又國家内外ノ現狀ニ照シテ見マシテモ、財政ニ餘裕ガ生ズルト云フヤウナコトハ、中々一

○井上國務大臣 只今申シマスマウニ、一億五千萬圓ノ金ヲ交付公債デ整理ヲ致シテ見マスト、恆久財源ノ千萬圓ノ金ガ要リマス、千萬圓ノ金ヲ捻出サヘ出來レバ、成タケ早く整理ヲシヨウ、斯ウ云フコトハ農林大臣ノ言ハレル通りニ同ジ希望ヲ持ッテ居リマス、但シ昭和七年ナリ、次ノ議會マデニ、此整理ガ出來ルカ出來ナイカ、斯ウ御尋ネニ相成リマスナラバ、今日確定的ニ出來マス、斯ウ申上ゲマスマデノ程度ニ參ッテ居リマセヌ

○片野委員 併シ農林大臣ノ此御説明ハ、可ナリ思切ッテ御説明ト私ハ思ヒマス、萬難ヲ排シテモ是ハヤリタイ、ヤル決心ダト、斯ウ云フ風ニマデ私ハ解釋シテ宜シイダラウト思フデアリマス、多少懸念シテ居ル人モアラン、現内閣ノ政策トシテ議論ノ餘地モアラシ、私ハソレデモ構ハヌ位ノ考ヲ持ッテ居ル、來年カ再來年ニ相成レバ、交付公債トシテ損失ヲ埋合セナケレバナラヌ、全體會計法ガ惡イノダカラ、根本的ニ是ハ改メナケレバナラヌ、斯様ニ仰セラレテ居ル、是ハ唯言葉ニアル通りノ事ヲ骨ダケヲ抜イタノデアリマスガ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、只今大藏大臣ノ御話ダト、希望ダト言フ、サウハシタイケレドモト云フヤウナ位ノ御考デ、其處ニ殆ド連絡モ御打合モナイヤウニ考ヘル、此重大ナル國策、吾々ガ先ヅ此米穀法ノ改正ニハ、必ズ伴ッテ出ルベキモノト豫想確信ヲシテ居ッタ、是ハ天下ノ輿論デアルト思フ、デアリマスカラ斯様ナ問題

○井上國務大臣 只今申シマスマウニ、一億五千萬圓ノ金ヲ交付公債デ整理ヲ致シテ見マスト、恆久財源ノ千萬圓ノ金ガ要リマス、千萬圓ノ金ヲ捻出サヘ出來レバ、成タケ早く整理ヲシヨウ、斯ウ云フコトハ農林大臣ノ言ハレル通りニ同ジ希望ヲ持ッテ居リマス、但シ昭和七年ナリ、次ノ議會マデニ、此整理ガ出來ルカ出來ナイカ、斯ウ御尋ネニ相成リマスナラバ、今日確定的ニ出來マス、斯ウ申上ゲマスマデノ程度ニ參ッテ居リマセヌ

ニ付テハ、十分是ハ御研究ニナリ、御打合ヲ爲サレタコト、思フテ居ルニ拘ラズ、其處ニ非常ニ行違ヒガアルヤウニ思ヒマスガ、其點ニ付テハ如何デアリマスカ

○井上國務大臣 只今承ツタ所デハ、出來ルダケ之ヲ一般會計デ整理スルコトガ正シイ道ダ、米穀需給特別會計法ノ如キハ間違ッタモノデアルト云フコトハ、極ク兩者ノ意見ガ一致シテ居ルノデアリマス、唯具體的ニ何年カラ之ヲ實行スルカト仰シヤラレト、其點ハ御答スル程的確ニ申上ゲ兼ネルト、斯ウ云フ次第デアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○片野委員 ドウモ十分ニ諒解ハ致シ兼ネマスケレドモ、御話ノ向キダケハ承ツテ置クヨリ外ニ致シ方アリマセヌ、此農林大臣ノ御話ハ、兎ニ角此改正案ニ伴ッテ出サレナイト云フコトハ、全然私ハ反對ノ意見ヲ持ッテ居リマス、甚ダ此點ハ徹底ヲ缺イテ居ルシ遺憾ニ堪ヘナイ、併シ今日出サレナクテモ、先ツ來年カ再來年ニハ、必ズ是ハ交付公債デシナケレバナラナイ、自分デハ萬難ヲ排シテモヤル位ノ決心デ進ンデ居ルノダ、斯ウ云フ言葉デ御話ニナッテ居ル、是ハ非常ニ改善ノ策トシテ私御共鳴ヲ申上ゲル、併シ是ハ何モ農林大臣ノミノ説デハアリマセヌデ、先程モ

申上ゲマシタ通り、是ハ一種ノ輿論デアルト私ハ固ク信ジテ居ル、此莫大ナル損失——大藏大臣自ラ年度末ニハ一億五千萬圓ニ達スルトマデ認メラレテ居ル所ノ此損失ヲ、此儘ニ放置シテ行クト云フコトニ相成リマスナラバ、是ハ現實ナル國家ノ一ツノ債務デアル、當然是ハ國庫ノ負擔ニ歸屬シテ、之ヲ引受ケナケレバナラナイ一ツノ現實ノ事柄デアリマスカラ、晩カレ早カレシナケレバナラナイ、此問題ノ病根ヲ認メテ、會計法ガ不合理デアルコトヲ認メテ居ルニ拘ラズ、此御提案ヲ爲サレナイト云フコトハ、即チ其財政上ノ一ツノ病根ヲ其儘ニ放置スルト云フ結果

ニ相成リハセヌカ、隨テ大藏大臣ノ能ク御説明ニ相成リマス所ノ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フ御趣意カラハ甚ダ相反シタモノデハナイカ、或ハ私レマセヌケレドモ、所謂非募債主義ノ名前ヲ何トカシテ保チタイガ爲ニ、一時ヲ瞞化スルヤウナ譯デナイカ、病根ヲ其儘ニシテ放置シテ、所謂一時ヲ凌イデシマフト云フコトデアリマスルナラバ、洵ニ是ハ國家財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル所以デナイト思フ、此點ニ付テ

一ツ御所見ヲ承リタイト思ヒマス
○井上國務大臣 只今ノ御説ノ、吾々ノ非募債主義ト相容レタトカ、或ハ其點ニ付テノ考デヤナイカト云フコトハ毛頭ゴザイマセヌ、吾々ノ十大政綱ヲ發表致シマシタ場合ニモ、法律カラ來ル交付公債ハ別物ダ、斯ウ除イテアリマス、隨テ一億五千萬圓ノ交付公債ヲ渡ス其事柄ニ付テハ、何モ躊躇シテ居ラスノデアリマス、唯只今申上ゲル如ク、一億五千萬圓ノ交付公債ヲ出セバ、即チ一億五千萬圓ハ現金ノ損デアリマスカラ、公債ヲ假ニ一割下デ割引デ發行シタ、斯ウ致シマシテ、ソレニ整理基金モ加ヘマスト、千萬圓ノ金ガ永久ニ要ルノデアリマス、其恆久財源ヲ見付ケルノニ、今日ノ狀態デハ出來ナイノダト、東君ノ御問ニ對シテモ其通りニ答ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ只今ノ御説ノ如ク、此特別會計ハイカヌ、一般會計ニ之ヲ引取ッテ整理シナケレバイカヌ、立直サンケレバイカヌト云フコトハ、確ニ認メテ居ルノデアリマスカラ、ソレデ成タケ早ク之ヲ一般會計ニ引取ッテ整理シヨウ、隨テソレヲ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、千萬圓ノ恆久財源ヲ成タケ見付ケルヤウニ致シマセウ、斯ウ云フ決心ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○片野委員 併シ只今ノ御説明デハヤレナイカラシテヤラナイ、斯ウ仰セラレタガ、私ハヤル氣ガナイカラ、ヤレヌノデヤナイカト思フ、ヤル意思ガナ

イカラ、ヤル途ガ立ッテ來ナイ、總テオヤリニナッテ居ル順序カラ見マスト、何デモ其通り、中々最初ノ中ハ色々御澁リニナル風デモ、結局オヤリニナルト決マレバ、大抵ノモノハ出來ルヤウニナッテ來ル、全體はハ自分デヤラナイカラ出來ナイノデアアル、大藏大臣ハヤル氣ニナラナイカラ出來ナイノダ、斯ウ諒解スルヨリ外ニナイ、何トナレバ特別會計トシテ、借金ニシテ置キマシテモ利息ガ付クノデアアル、モウ現實是ダケノ借金ト云フモノガ出來テ居ッテ、當然國家ガ之ヲ負ハナケレバナラヌコト

ニナル、而モ其金額タルヤ莫大ニナッテ居ル、サウシテ一方ニ於キマシテハ、是ハ輿論トシテ、前ニ衆議院ニ於キマシテモ、殆ド一致ノ意見ニナッテ、改正ノ時ニハ一緒ニ之ヲ全廢セヌケレバナラナイト云フコトニナッテ居ル問題デアリマス、是カラ新シイ仕事ヲスルト云フ風ナ事柄ト違ッテ、財政ノ餘裕ヲ見出シテヤラウトカ、新規ニ仕事ヲ始メルト云フ事柄ト違ヒマシテ、放ッテ置ケバ置クダケ所謂利息ニ利息ガ加ハル、結局國家ノ上カラ見マシテモ、損得ノ點ニ於キマシテモ、此點ハ非常ナ違ヒニ相成ルト思フ、最後ニハ結局引受ケナケレバナラナイト云フコトニナルコトハ分リ切ッテ居ル、デアリマスカラ現實ニ交付公債ヲ發行シテ解決シテ進ン

ハ分リ切ッテ居ル、デアリマスカラ現實ニ交付公債ヲ發行シテ解決シテ進ン

デ行クト云フコト、ソレカラ此儘放
置シテ置キマシテ、預金部特別會計
シテノ計理ヲ立テ、當分ヤツテシマ
テ、其後デ引受ケルト云フコト、國
家ノ損失ノ上カラ見マシタナラバ如何
デゴザイマス、ソレデスカラ先程モ
申上デマシタガ、財政ノ鞏固ト云フ、
基礎ヲ固メルト云フコトニ對シテハ、
ドウ云フ御關係ニナルノデアリマス
カ、合セテ承リタイト思ヒマス

○井上國務大臣 御質問ノ御趣旨ハ一
寸私吞込メマセヌガ、私が假定シテ御
答致シマスガ、特別會計デ交付公債ヲ
渡シテ、サウシテ特別會計ニ依ッテ利拂
ナリ、減債基金ヲ持ツ、斯ウ云フ整理
デアリマス、只今デモ出來ルノデア
リマス、ソレハ私ハ東君ノ御問ニ對シ
テモ答ヘタ如ク、ソレデハ不徹底デス、
ソレナラバ私が言フ通りニ、一億五千
萬圓ノ交付公債ヲ渡シテ、其利拂ナリ
減債基金ヲ持テバ一般會計ニ行ッテ千
萬圓ノ此處ニ經常費ニ金ガナクテハナ
リマセヌ、其金ガ今日ノ財政狀態デハ
ゴザイマセヌト、斯ウ申シテ居ルノデ
アリマス、ソレデアリマスカラ、出來
マセヌデゴザイマシタ、斯ウ御説明申
上ゲテ居ルノデアリマス、アナタノ仰
シタル如ク、ソレハオ前ノ努力ガ足ラ
ヌ、努力ガ足ラヌカラ、モウ少シ努力
シテ歲出デモ減ズルカドウカシタナラ

バ、千萬圓ノ金ガ出來ヤウ、斯ウ云フ
御説モ御尤デアリマスガ、ソレハ御説
デアリマシテ、吾々ガ財政計畫ヲ立テ
マシタ時ニハ、出來ナカッタノデゴザイ
マス

○胎中委員 關聯シテ大藏大臣ニ御尋
ヲ致シタイト思ヒマス、今ノ質問ト御
答辯ニ依リマシテ、私共ガ懷キマスル
疑義ハ、大藏當局ハ此特別會計法ノ設
定ノ基礎ニ誤リガアルト云フコトモ認
メ、サウシテ是ハドウカシナケレバナ
ラナイト云フコトモ、過般來繰返サレ
テ居ルノデアリマス、要スルニ年度末ニ
マデ既ニ一億五千萬圓ノ損失ガアル、
加フルニ此米穀法ヲ維持繼續致シマス
レバ、年々少クトモ一千五百萬圓カラ
二千萬圓近イ所ノ金ガ當然要ッテ來ル、
或ハ又米穀法ノ運用ニ依ッテ米ヲ多ク
買入レルトカ云フヤウナ場合ニ今日マ
デノ事實ニ徴シマシテ、更ニ一層ノ損
失ヲ覺悟シテ置カナケレバナラス、ソコ
デ私ハ之ヲ一般會計ニ移スト云フコト
ニ付テハ、既ニ御話ガアリマシタ通り、
出來ルダケ早くシタイ、餘裕ガ出來タ
ラシタイ、斯ウ云フコトデアリマスカ
ラ、暫ク之ヲ當局ノ言葉ニ聽クト致シ
マシテモ、一億五千萬圓ノ借錢ガアル、
サウシテ其借錢ハ等シク今後必要デア
ル所ノ經常費ト共ニ五分五厘ノ利子ヲ
拂ッテ行カナケレバナラス、サウスルト

此一億五千萬圓ノ損失ダケカラ見マシ
テモ、之ニ年々五分五厘ノ利息ガ加ッ
テ來ル、是ガ段々複利式ニ加ッテ來ルコ
トハ、是ハ議論ガナイ、サウスルト此
一億五千萬圓ノ損失ダケカラ見マシテ
モ、此儘ニシテ置キマスレバ、是ガ將
來大ナル財政上ノ痛トナリ、國民ノ大
ナル負擔トシテ殘リ、サウシテ之ヲ決
濟スル場合ニ於テハ、勢ヒ増稅ヲモシ
ナケレバナラスト云フ結論ニ達シナイ
トハ斷言ガ出來ナイ、斯ウ云フ狀態デ
アリマス時ニ、若シ當局ニ之ヲ非ナル
モノトシテ、是ガ結末決濟ヲシヨウト
云フ意思ガアルナラバ、即チ片野君ガ
御聽キ申シタ所ノ趣意ハ此處デアラウ
ト思フ、當局ハ仕方ガナイ、金ガナイ、
ト言ハレル、私共ハ是ニ於テ非常ナ疑
ヲ持ツコトハ、斯ウ云フヤウナ國民ノ
非常ナ痛トナリ、サウシテ國家ノ財政
ノ上ニモ大ナル是ガ病トナリ、傷トナ
テ殘ッテ行ク、斯ウ云フ大ナル損失ヲ茲
ニ抱イテ居ッテ、一面ニハ何ヲ爲サル、
海軍ノ軍縮ニ依ル五億八百萬圓ノ中
デ、一億三千四百萬圓ト云フモノハ、現
ニ減稅ニ當テ、是ハ既ニ提案サレテ、
艦ヲ來ルベキ所ノ來月二日ニハ本會議
ニ上ルト云フコトニナッテ居ル、是ト對
照致シマシテ、一面ニハ國民ニ向ッテ甘
イ飴ヲヤルヤウニ減稅々々ト稱シテ居
リナガラ、其他面ニハ國民ノ知ラス中

ニ所謂大キナ痛ヲ抱カシムルト云フコ
トハ、私ハ非常ニ怪シカラヌト思フ、
此比較對照ト其輕重ヨリ見マシテ、當
局ニ於テ果シテ一億五千萬圓ノ現在ノ
損失ニ對スル所ノ決濟、始末ノ誠意ア
リヤ否ヤト云フコトヲ吾々ハ聽カント
欲スル此點ニ付テ大藏當局ノ御所見ヲ
伺ヒタイ

○井上國務大臣 洵ニ御尤ナ御質問デ
アリマスガ、吾々ハ一億五千萬圓ノ損
失ガアルト云フコトニ付テ、米穀法ノ
根本改正ノ必要ヲ認メテ居ル所デアリ
マス、ソレカラ特別會計ノ最モ惡イ所
ハ、事務費マデ利息ヲ生ム金デアルコ
トガ惡イノデアルカラ、一日モ早く是
ハ改正スルガ宜シイ、斯ウ考ヘテ居ル
ノデアリマス、ソレナラ早くヤルベキ
デハナイカ、御尤ナコトデアリマス、
併ナガラ一億五千萬圓ノ元金ニ對シテ
利息ヲ拂フコトハ、特別會計ニ於キマ
シテモ、一般會計ニ持ッテ來テモ、同ジ
コトナノデアリマス、唯、特別會計ノ損
ガ重ナルカ、或ハ一般會計デ經常費ヲ
見付ケ出シテ、ソレヲ拂フカ、斯ウ云
フダケノ損デアリマシテ、成ベク是ハ
早く整理スルコトガ、國家財政ノ爲ニ
宜イト考ヘテ居リマス、先刻カラ片野
君ノ御問ニ對シテ、出來ルダケ一ツ財
政上餘裕ヲ求メテ、成タケ早くシヨウ、
斯ウ考ヘテ居ル、其考ヲ申上ゲタ次第

デアリマス

○胎中委員 其點ナラ先程來片野君ヨリ繰返サレテ居ルコトデ承知シテ居リマス、是ニ於テ私ガ當局ノ誠意アリヤ否ヤト云フコト、彼ノ減稅ヲ行フト云フコト、相對照シテ私ハ聞イタノデアリマス、此借錢即チ利子ニ利子ヲ生ム所ノ大キナ借錢、サウシテ是ガ將來國民ノ痛トシテ殘ル所ノ此借錢、此借錢ヲ一面ニ於テ抱イテ居リナガラ、一面ニ於テ減稅ト云フ美名ノ下ニ、今日當局ニ於テハ國民ニ飴ヲ舐ラサウトシテ居ル、之ヲ對照シテノ御意見ヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス

○井上國務大臣 只今申上ゲル如ク、成ベク早く一般會計ニ餘裕ヲ求メテ此整理ヲシヤウト、斯ウ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレガ當局ノ今日申上ゲ得ル考デアリマス、何月何日カラ之ヲ實行スルカト云フ御問ニ對シテハ、今日マダ答ヘ得ル程度マデ參ッテ居リマセスト、斯ウ申上ゲテ居ルノデアリマ

○胎中委員 是ハ恐ラク私ガ重ネテ聞イテモ御答ニハナリマスマイ、何故ナラバ私ノ問フ所ニハ答ヘテ居ラヌ、此減稅ト云フコトニ大藏大臣ハ觸レテ居ラヌ、私ガ言フノハ、此減稅ヲ爲サルト云フコト、此大キナ借錢、即チ利子ニ利子ヲ生ム所ノ此借錢、サウシテ

應テハ是ガ國民ノ大ナル負擔トナリ、國家財政ノ上ニモ大ナル障礙トナル所ノ此大ナル借錢、是ト比較シテドウ考ヘテ居ルガト云フコトニ付テ御答ガナイ、私ハ是レ以上ハ要求シマセヌ、恐クハ是ハ御答ガ出來ナイモノト私ハ斷定シテ、私ノ關聯シタ質問ヲ終リマス

○片野委員 大藏大臣ノ御説明ヲ承リマスルト、ドウシテモ吾々ハ最後ニ當分是ハ整理サレル見込ガナイ、現當局ノ居リマスル以上ハ、見込ガナササウニヤハリ考ヘザルヲ得ナイ、ソレハ唯御話ダケデハヤル積リデ居ル、整理ダケハスルト、斯ウ仰セニナル、是ハ言葉ハドウニデモナルノデアリマスルガ、吾々ハ現内閣ニ對シテ、財政ノ大整理ヲヤリ、行政ノ大整理ヲヤリ遂ゲルダケノ御研究ト御熱心ガアルトハ思ッテ居ラナイシ、又財政ノ餘裕ヲ見出シタ時ト云フヤウナコトカラ考ヘテ見マシテ、此損失金ガ整理サレルト云フコトハ、恐クハ是ハ當分見込ガナイモノト思ハザルヲ得ナイ、然レドモ一方ニ於テ損失金ノ整理、又此概計表ノ中ノ不備ト云フコトカラ考ヘマシテ、是ハ即チ繰返シテ申上ゲルノデアアルガ、是ハ一ツノ輿論デアアル、必ズヤラナケレバナラナイ、其點ヲ御認メニナッテ居リナガラ、ヤル氣ガナイノダ、繰返シテ申上ゲルヤウデアリマスケレドモ、私

ハ斯様ニ言フノデアアル、併シ此點ハ私モ是レ以上重ネテ申上ゲナイガ、斯様ナコトハ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル所以デナイ、即チ財政ノ基礎ヲ不安ナラシメル一ツノ禍根ヲ胎シテ居ルモノデハアリマセヌカト、此事ヲ先程御問シタケレドモ御答ガナカッタ、斯ウ云フコトガ澤山アルヤウデハ、ヤハリ財政ノ基礎ト云フモノハ不安デアルト云フコトニナリマセヌカ、是ガ一ツ、ソレカラシテ同ジヤウナ、此特別會計ヤ、其他銀行融資ノヤウナモノ、又先般十二月暮カラ行ハレマシタ所ノ興業銀行ノ貸付ノヤウナモノモ、是ハ不良ナ貸ガ澤山アルコト、思フノデス、是ハ監督官トシテノ大藏大臣ガ強要シ、又ハ御勸メシテヤラセタコト、思フ、斯様ナ關係カラ致シマシテ、將來ハ此損失ハヤハリ當然國庫ニ是ハ歸サナケレバナラナイヤウナコトニ相成ルト思フ、ソレカラ更ニ昨年來ノ融資補償法、蠶絲家ノ補償ニ付テノ發動ニ依リマシタ損失ノヤウナモノ、斯様ナモノハ隨分澤山今日アラマシテ、近キ將來ニ於テモ、自然ニ是ハ公債ノ増發ヲ待ッテ、初メテ解決シナケレバナラナイ莫大ナモノガ、今日ブラ下ッテ居ルト私ハ思ッテ居ルガ、大藏當局ハ斯様ナモノニ付テ大凡ドレ程アルカ、今日御説明ヲ承ルコトガ出來ルナラバ幸デアリマス、ソレカ

ラ斯様ナ損失ノ埋合ト云フコトモ、是ハ色々從來カラノ損失モアリマスケレドモ、又アナタノ御責任モ大部分入ッテ居ルト思ヒマス、現ニ米穀法ノ損失金ノ中ニモ、アナタノ低物價政策ガ原因トナッテノ損失ガ大分アル、大分アルカラ、ドウシテモアナタガ解決シナケレバナラナイ、當面ノ責任ノアル大藏大臣トシテ財政ノ基礎ヲ固メ、斯様ナ不合理ノ會計ヤ損失ヲ整理シテ呉レナタニハ之ヲ整理スル責任ト義務ガアルト思フ、最後ノモノハ附ケタリデアリマスケレドモ、大體近キ將來ニ於テ、公債ノ肩代リヲセンケレバナラナイ、澤山ノ金ガアルヤウニ吾々ハ思フノデア

○井上國務大臣 米穀特別會計ハ年度末マデニ一億五千萬圓ニナリマス、交付公債ヲ以テヤレバ一億五千萬圓以上ハ渡サナケレバナリマスマイ、ソレカラ生絲補償法ノ方ハ幾ラニナルカ、只今ノ所デハ損ノ計算ハ恐クハ何人モ出來ヌノデアリマセウ、或ハ損ニナラナ

イカ、損ニナリマスカ、ナレバ交付公債ヲ渡サナケレバナラスト云フコトニナリマセウ、ソレカラ只今中間ニ御挾ミニナッタ興業銀行ノコトハ、何カ的確ナ證據ガアリマスカ知レマセヌガ、銀行ハ信用ヲ以テ成立ッテ居ルモノデアリマスカラ、餘リ根柢ノナイ議論ヲ私ハ致シタクナイト考ヘテ居リマス、アレハ特別銀行デアリマスガ、株主ノアル銀行デアリマスカラ、當局者ガ自分ノ責任ヲ以テ貸シタ金ニ、交付公債或ハ整理ト云フヤウナコトハ、一厘一毛關係ノナイコトデアリマス、ソレハドウゾサウ御承知願ッテ置キタウゴザイマス、ソレカラ私ノ責任ヲ御問ニナリマシタガ、大藏大臣トシテハ特別會計デアラウト、一般會計デアラウト、不完全ナモノガアッタナラバ完全ニシ、ソレヲ成タケ是正シテ、一般ノ財政計畫ヲ鞏固ニスルト云フコトハ、當然ノ義務デアリマスカラ、決シテ其責任ヲ辭スルモノデハアリマセヌ

○片野委員 財政ノ基礎ヲ安固ニシナイノデスカ

○井上國務大臣 ソレハ今申上ゲル如ク、決シテ此特別會計ハ完全ナモノトハ考ヘテ居ラヌカラ、成タケ早ク之ヲ整理シヤウ、斯ウ云フコトハ度々此處デ申上ゲテ居ル次第デアリマス

○片野委員 今御話ノ趣ハ分リマシ

タ、是レ以上ハ大藏大臣ニ御伺スルコトハアリマセヌ、次ニ御列席デゴザイマスカラ、大變機會ガ好イト思ヒマスノデ、特ニ農林大臣ニ最後ニ私御尋申上ゲタイ、此米穀法竝ニ特別會計ノ改正ハ、先程モ申上ゲマシタ通り、莫大ナル損失金——莫大デナクテモ差支アリマセヌケレドモ、現狀ハ莫大デアリマス、此損失金ノ整理ト相俟ッテ行ハナケレバ相成ラナイト云フコトハ、十分御認ニナッテ居ルト思ヒマス、然ルニ當局ハ之ヲ其儘ニ拋棄シテ置キマシテ、之ヲ合理化スルト云フコトモナク、即チ處置ヲ著ケルコトガナクシテ、法律ノ改正ヲ行ハントシテ居ル、斯様ニ相成リマスルナラバ、性質トシテ、又輿論ニ對シテ、非常ニ相反スル結果ニナルノミナラズ、現ニ先程モ農林大臣ノ答辯ニモアリマシタガ、斯様ナコトガ相俟ッテ此米穀法ノ運用ヲ非常ニ阻碍シテ、力ノナイモノニスル本ニナルト思フ、現ニ先程私ガ御尋申上ゲマシタ時ニモ、此儘デハ將來長イコト正當ノ運用ハ出來ナイト、斯ウ仰セラレタ、非常ニ吾々心細ク思ッテ、益、根本的改正デナイト云フ念ヲ強メマシタ、斯様ナ事カラ致シマシテモ、此改正案ノ出シ方ニ於キマシテ、此狀態デアリマスナラバ、根本的改正ト吾々ハドウシテモ言フコトガ出來ナイト言ハザルヲ得ナ

イト思フ、即チ米穀法ノ運用ヲ效果アラシムルコトニ對シテノ當局ノ誠意ト云フモノハ、認メルコトガ出來ナイヤウニ私ハ思フ、又一面ニ於キマシテハ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル所以デナイ、危クスルモノデアルト思フ、又先程ノ御答辯ニモ、生産費ト生計費ノ調査ガ完成スルナラバ、理論上或ハ率勢米價ニ對シテ支障ガ起キナイト云フコトハ保證シ難イ、斯ウ仰セラレテ居ル、斯様ナ風ニ考ヘテ見マス、益、暫定的、彌縫的ナ改正ニ過ギナイト思フノデアリマス、殊ニ唯一ノ基準トシテ率勢米價ヲ御執リニナルト云フ、率勢米價其モノニ付テ考ヘテ見マシテモ、吾々ノ現在ノ國民生活ト何等相關スル所ガナイデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ見マスナラバ、今回ノ改正案ノ提出ト云フモノニ付テハ、吾々ハ甚ダ心細ク、不安ヲ感ゼザルヲ得ナイト思フノデアリマス、是マデノ十數日來ノ質問ヲ重ネマシタコトニ付テ、吾々ノ意向モ十分御分リ下サッタコト、思フ、勿論中ニハ意見ノ相違モアルカモ知レマセヌケレドモ、私ハ斯様ナ意味ニ於テ、根本的改正ヲ期スル爲ニ一度之ヲ御撤回ニナッテ、サウシテ生計費、生産費ノ御調査ノ完了ヲ即行シテ、是ハ何時マデ掛ッテモ是デ完全ダト云フモノ、出來ナイコトハ、御互ニ意見ガ一致シテ居ル、ドノ程度デ

ヤルカト云フコトハ、大抵ノ所デ決メナケレバナラヌ問題デアル、生計費、生産費ト云フモノヲ取急イデ出シテ見テ、サウシテ一方ニ於テハ天下ノ輿論デアリ、必ズシナケレバナラナイ會計法改正ト相俟チマシテ御提案ニナリマシナラバ、是ハ吾々モ雙手ヲ舉ゲテ賛成スルニ吝デナイ、農林大臣ハ此點ニ付テ、一ツ案ヲ練リ直スト云フ御考ハアリマセヌカ

○町田國務大臣 只今ノ御尋ハ、先般來各員カラモ屢、御尋デアリマシテ、私ガ御諒解ヲ得ルコトガ出來ヤウト思フ點マデ屢、申シテ居リマス、只今ノ點モ特別會計ニ對スル點モ先刻申シマシタガ、片野君ノ御意見トシテ承ッテ置キマス、前ニ御答シタ質問ト大同小異デアリマスカラ、此際私ハ改メテ御答ハセズニ、唯御意見トシテ承ッテ置クニ止メマス

○片野委員 私ノ質問ハ是デ打切りマ

○東委員 私大藏大臣ニ聞クコトハ極メテ簡單デス、委員會ニ於テ屢、各委員カラ質問ガアリマシタガ、大體ノ要點ハ、只今片野君ノ質問モ至極尤ダト私ハ考ヘル、此以上私ハ申上ゲマセヌガ、私ガ豫算總會ノ時ニモ一寸申上ゲタコトガアッタ、サウシテ當委員會ノ席ニ於テ、各委員カラ屢、質問ガアリマシテ、農林大

臣ガ之ニ答辯ヲ致シテ居ルコトハ、農家ノ負債ノ整理ト云フコトデアリマスガ、農家ノ負債ノ整理ト云フコトニ付テハ、二様モ三様モアルト思ヒマス、先刻來モ農林大臣ハ大藏大臣ト協議致シテ、是非ハ何トカスル積リデ、今立案ヲ急イデ居ルノデアアル、斯ウ云フ誠意アル御説明ガアッタ、ソレデ私共ハ非常ニ國家ヲ憂フル點カラシテ考ヘテ居ルノデスガ、農家ノ負債ハ先ヅ五十億アルト云ハレテ居ルガ、此五十億ト云フ負債ガアッタカラト云ッテモ、是ハ決シテサウ心配ナモノデナイト私ハ思フ、是ハ何レノ場合デモ、國家ニ六千萬人、殊ニ農業ヲヤッテ居ル者ガ、五割或ハ六割ト云フ大衆ノ者ガアル以上ハ、何レノ場合デモ、五十億ヤ六十億ノ負債ハサウ驚ク程デナイ、是ハ各國デモ、獨逸デアラウトモ、佛蘭西デアラウトモ、何處デアラウトモ、此負債ノ調査ヲシタナラバ、必ズ斯ウ云フ數字ガ出ルニ相違ナイ、唯問題ハ此整理ヲスルニ付テノ、農家ノ經濟ヲ裕ニシテ、サウシテ收入ヲ多クスル、是サヘスレバ負債ト云フモノハ決シテ心配ハナイ、唯五十億トカ六十億ト云フ數字ハ非常ニ多イ數字デアリマスケレドモ、私ハ其點ハ大シタ重キヲ置イテ居ラス、現在ノ狀況カラ申シマス、農家ノ今後ノ經營ハ生産費ヲ引下ゲルヨリ外ナ

臣ハ、是ハ大藏大臣ノ昨年以來ノ御主張デアッテ、吾々モ至極之ニハ同感デア

ル、所ガ今日ノ狀況カラ見マス、政府ノ發表シテ吾々ノ手許ニ交付シタ農家ノ收入ガ、昨年ト本年デハチヨット十

二億圓ト云フ、農家ノ收入ガ激減シテ居ルト云フコトハ、吾々ノ手許ニ數字ガ明カナナッテ參ッテ居ル、サウナルト

今度ノ國家ノ基礎トモナルベキ所ノ農村ト云フモノハ、殆ド破産、倒産スルヨ

リ外ハナイ、ソレデ先ヅ租税ノ點カラ申シマシテモ、此農業ノ統計ハ大藏大

臣ハ御所管デナイカラシテ、詳シイコトハ御承知ナイカモ知レマセスケレド

モ、吾々ノ手許ニアル兵庫縣縣農會ノ調査、是ハ政府當局者モ認メテ居ル、此

調査ハ能ク出來テ居ル、價值ガアルト

言ッテ居ル、是ガ十町歩以上ノ土地ノ租

税公課ノ負擔ガ、全體ノ收入ニ對スル

七割ニナッテ居ル、是ハ十町歩以上ノ者

デ七割〇八厘ト云フコトニナッテ居ル、

ソレカラ自作農ノ一町一反歩ト云フモノ

、農家ノ收入ニ對スル租税公課ノ

負擔ガ三割八厘ニナッテ居ル、ソレカラ

同ジク養蠶地方ニ於ケル所ノ、農業收

入ニ對スル負擔ノ割合ガ五割一分ニ

ナッテ居ル、ソレカラ小作農ノ養蠶地方

ノ、農家收入ニ對スル負擔ハ四割八分

七厘、租税公課ト云フモノハ五割以上、

七割ト云フノハ大地主デアリマスガ、

普通デモ五割以上ノ租税公課ノ負擔ヲ

シテ居ル、サウシテ一方ニハ十二億萬

圓ト云フヤウナ農家ノ收入減、是デハ

大藏大臣ガ如何ニ考ヘテモ、農家經濟

ガ持テルトハ御考ヘニナラナイダラウ

ト思フ、又不景氣ガ漸次好轉スルト云フ

ガ、吾々ハサウハ思ハヌ、好轉ヲスル場

合ニハ、大抵ノ者ハ破産シテシマフト云

フコトニナッテ來ル、今日ノ各町村ノ狀

態ヲ見ルト、サウ云フ狀態ガアリ

ト現ハレテ居ルノデアリマス、サウス

ルト此負債ト云フモノ、整理ニ付テ、

大藏大臣ト農林大臣トノ間ニ打合ガ

アッテヤルト云フコトハ、私共洵ニ結構

ト思ッテ居リマスガ、此五十億カラノ負

債ノ中ニハ、無盡會社、賴母子講ト云

フモノモ入ッテ居ルト思ヒマスガ、先ヅ

預金部ノ方カラ申シマス、預金部ガ

普通資金ト特別資金ヲ出シテ居ル金ガ

三億萬圓預金部ガ普通資金ト特別資金

ヲ出シテ居ルモノガ三億萬圓差當リア

ル、此特別資金等ニ付テ昨今ノ農漁村

ノ貸付デアルトカ、養蠶資金トカ云フ

ヤウナ金ガ是ガ三億萬圓アリマスガ、

一番手近ノ負債ノ整理ト云フナラバ此

低利資金ノ運用ト思ヒマス、詰リ此貸

付ヲ何トカ御考ヘニナラナケレバナラ

ヌダラウト思フ、到底之ヲ完全ニ償還

スルコトハ今日ノ現狀デハ出來ナイ、

吾々ノ地方ニ於テモ既ニ三千七八百萬

圓程耕地整理ノ金ガ出テ居リマスガ、

是ハ全部償還ガ出來ナイト云フコトヲ

言ッテ居ル、又恐ラク各府縣ニ於ケル耕

地整理ハ、米價ガ大抵三十圓三十五圓

位デアッテ、サウシテ國家ガ之ニ低利資

金ヲ貸シ、補助金ヲ出シテ開墾助成或

ハ耕地整理ニ兼ネテ用排水ガ完全スル

ト云フヤウナコトハ、米價ガ三十圓以

上ヲ見當ニシテ今日マデヤッテ來テ居

ル、ソレガ十四五圓ニナッタト云フコト

デアルカラ、到底償還ガ出來ヌト云フ

コトハ明カデアアル、デアルカラシテ是

等ノ點ニ付テ農林大臣ト大藏大臣トノ

先日來誠意アル御答辯ガアッテ、吾々ハ

深ク満足シテ居ルノデアアルガ、是等ニ

對シテハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルノ

デアアルカ、唯何カ考ヘテ居ルト云フダ

ケデハ吾々ハ安心スルコトモ出來ナイ

シ、又是ガ拂ヒ得ル能力ガアルモノヲ

拂ハセスト云フ考ハ私共ハ毛頭持ッテ

居ラスノデアリマスガ、是ハ若シ腹案

ガアッテ吾々ニ説明スルコトガ出來ル

モノデアアルナラバ、斯様ナ方法ニデモ

シタラ宜カラウト云フヤウナ御考ガア

ルナラバ、丁度農林大臣ト大藏大臣ト

御揃ヒデアアルカラ申上ゲルガ、特ニ内

務大臣モ幸ニ御出席下サッテ居ルカラ、

非常ニ好イ機會ダト思ッテ居ルノデア

リマス、此點ニ付テ的確ナル御考ヲ伺

ヒタイト思ヒマス

○井上國務大臣 只今東君ノ言ハレル

通りニ私ハ農村ノ状態ヲ考ヘテ居ルノ
デアリマス、ソレデ爾ガ下ッタ、米ガ下ッ
タト云フコトデ、異常ナ困難ヲ來シテ
居ル今日ノ状態デアリマスカラ、之ニ
對シテ出來ルダケノコトヲシナケレバ
ナラスノデアリマスガ、一番先キニ考
ヘ付クモノハ農村ノ借金デアリマス、
借金ニ付テハ二ツ考ヘマシテ、一方ハ
政府關係ノ貸付金、一方ハ私ノ貸付金、
斯ウ考ヘマスト先ヅ今日ノ状態ニ對シ
テ預金部等カラ貸付ケテ居ル金ヲ年賦
ヲ延シテヤル、利息ヲ下ゲテヤル、是非
共其事柄ニ付テヤッテ見ヨウ、殊ニ只今
御舉ゲニナリマシタ耕地整理ノ如キハ
可ナリ年賦金ガ嵩ンデ居リマスカラ、
嵩ガ大キイノデアリマシテ、ソレ等ニ
付テ何トカシテ年賦ヲ少シ延シテ、年
々ノ年賦額ヲ少クシテヤラウト云フヤ
ウナコトデ、具體的ニ今段々調査ヲ進
メテ居リマス次第デアリマス

ソレカラ其次ノ個人ノ借金ノコトニ
付キマシテハ中々整理法ガムヅカシイ
ノデアリマシテ、根本ハ農民ノ負擔ヲ
輕クシテヤル、其輕クナッタ負擔ニ依ッ
テ段々自分達ノ借入金ノ整理ヲシテヤ
ル、利息ヲ安クシテヤリシナケレバナ
ラスト云フコトハ確カダラウト思フ、
併ナガラ根本ガ是マデノヤウナ状態デ
アルト、一方ニ借入金ノ整理ヲシテヤッ

テモ、ソレガ例ヘバ耕地整理トカ云フ、
ソレニ類似ノモノデアリマスト宜イノ
デアリマスガ、何ト言ヒマスカ、所謂
日常ノ生計、或ハ過去ニ多少生活ノ向
上シテ居ッタ關係デ年々殖エテ行クヤ
ウナ借金デアアルナラバ、其點ニ付テモ
餘程考ヘスト、唯、現在ノ借金ヲ整理シ
テモ次カラ次ニ殖エル、斯ウ云フヤウ
ナコトモアル次第デアリマスカラ、其
點ニ付テモ自分自身ニハ可ナリ考ヘテ
居リマスガ、只今申ス預金部カラノ關
係ノモノニ付テハ調査ヲ具體的ニ進メ
テ居リマス、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ
御答ニシタイト思ヒマス

○東委員

サウ云フ御考デアリマスル
ナラバ非常ニ結構デアラウト思フ、是
ハ中々償還ハ確實ニハ私ハ參ラスコト
ト思フテ居ル、ソコデ一般ノ負債ノ方デ
アリマスガ、四十八億ト云フ計算モ出
テ居ルシ、五十億ト云フ計算モ出テ居
リマス、是ガ一戸當リニ致シマスト八百
圓、千圓位ナ借金ヲ皆持ッテ居ル譯デア
リマス、ソレデ本年ナドノ狀況カラ見
マスト、農家ノ生活費ト云フモノハ最
少限度ノ生活費ガ、是モ各農業經濟ナ
ドノ生活費ヲ調べタモノヲ見マスト、一
箇月ニ先ヅ家族六人トシテ、六人位ノ
家族ノ生活費ノ——子供ガ三人、サウ
シテ夫婦年寄ト云フヤウナ風ニナッテ
居リマスガ、是ガ六百十一圓ト云フコ

トガ最少限度、サウスルト六百十一圓
ト云フコトニナルト、大體五十圓位ノ
收入デ一箇月ノ生活ヲシテ居ル、是ハ
今表ヲ持合シテ居ルカラ私大藏大臣ニ
御參考ニ申上ゲルノデスガ、自作農ノ
農業ノ收入ガ一町歩作ッテ居ル者ガ九
百二十圓、農業經營費ガ二百七十圓、
是ハ非常ニ細カイ計算ガ載ッテ居リマ
スガ、ソレハ時間ヲ要スルカラ申上ゲ
マセス、租稅公課ト云フモノガ百五十
圓、五割一分デ是ハ自作農一町歩デ
アリマス、サウシテ之ヲ差引キマスト
殘額ガ百三十八圓シカナイ、ソレカラ
養蠶ヲヤッテ居ル所ノ地方ノ小作人ノ
狀態ヲ見ルト云フト、農業收入ト農業
經營、サウシテ租稅公課ヲ差引キマス
ト六十八圓ト云フコトニナル、六十八
圓ナント云フヤウナ收入シカナイノデ
アリマスカラ、此計算デ假ニ致シマス
ト家族ニ成年男女ガ三人、年寄子供デ
四人、サウスルト農家ノ生活ト云フモノ
ハ一ヶ月ニ五圓六十錢ノ生活費シカナ
イ、ソレデ之ヲ一日ニ計算シテ見ルト
僅ニ一錢何厘ト云フコトニナッテ來ル、
到底是デハ毎年ノ收入ト云フモノヲ差
引イテ見マスト、五百圓乃至六百圓ト
云フ借金が毎年出テ來ル譯ニナル、是
ガ農家經濟ノ今日ノ状態デアル、是ハ
農林省ノ農家經濟ヤ、兵庫縣農會ナド
ノ調ニ依ッテ申シマス、十町歩以上

作ッテ居ル者ノ生活費ヲ差引キマスト
百八十何圓ト云フモノガ不足スル、生
活費ガ足りナイ、自作農ノ生活ニシテ
四百二十圓ト云フモノガ不足スル、斯
ウ云フヤウナ風ナ計算ニ皆ナ現ハレテ
參ッテ居ルノデアリマス、此五十億ノ負
債整理ヲスルト云フコトモ宜シイガ、
此儘デ行ケバ農村ノ經濟ト云フモノハ
全然破壊サレテシマッテ、今學校ハ閉鎖
シ、公課公租モ拂ヘナイ、サウシテ政府
カラ借りテ居ル低利資金モ返セナイ、
是ガ即チ明カナル數字ノ上ニ於テ示サ
レテ居ル所デアアル、デアアルカラシテ茲
ニ米穀法ヲ審議スルニ際シテ君々ガ率
勢米價ガ宜イカドウトカ云フ問題モア
リマスガ、兎モ角農家ノ經濟ノ立ツヤ
ウニシナケレバナラス、大藏大臣ハ生
產費ヲ低下スレバ農業經營ガ立ツヤウ
ニナルダラウト云フ御考ヲ持ッテ居ル
ト思ヒマスルガ、是ハ又大變ナ見様ガ
其處ニ違ッタ點ガアル、成程生產費ヲ低
下スルト云フコトハ必要デアリマスル
ガ、此農家ノ生產費ハ、租稅公課ガ先
程申上ゲタ如ク之ヲ平均致シマスト四
割一分何厘ト云フモノニナル、四割ト
云フモノハ租稅公課ニナッテ居ル、約半
分ハ租稅公課デアアル、ソレカラシテ肥
料代ト云フモノガヤハリ百分ノ十六ト
云フモノガ肥料ニナッテ居ル、租稅公課
ト云フモノガ、四十一、勞銀ト云フモ

ノガ三十一、資本利子ガ二十六、斯ウ云フ計算ニナッテ居ルカラシテ、其中カラ生産費ヲ低下スルト云フ途ガ無イ、然ラバ詰リ公課ヲ減ズルヨリ外ニナイ、肥料ヲ減ジタ所デ是ハ實ニ些々タルモノデアッテ、其以外ニハ詰リ生産費ノ低下ヲ圖ル途ガナイノデアルカラシテ、負債、整理ヲスルト云フコトモ非常ニ結構デアルガ、現在ノ狀況ヲ何ト御覽ニナリマスカ、此狀況ヲ見テサウシテ國家ノ永遠ノ對策、サウシテ國民生活ノ安定ト云フモノヲ期スルト云フコトハ是ハ申ス迄モナク政治ノ要諦デアルガ、之ニ付テ現在ノ世相ト云フモノハ極メテ險惡ニナリツ、アルト斯ウ考ヘテ居ル、デアルカラシテ是等ノ點ニ付テ大藏大臣ナドハ私ハモウ少シ御考ニナル必要ガアルデヤナカラウカ、農林大臣ハ此處ノ委員會ニ於テ屢、斯ウ云フ質問等ニ對シテ御辯明ヲシテ居ルノデアアルガ、之ニ對シテ大藏大臣ノ御所見ガ若シ御アリトスルナラバ私ハ伺ヒタイ、此儘行ッタナラバ私ハ到底イカスト考ヘテ居ル、今ノ米穀法改正ニシテモ十八圓ナント云フ現在ニ於テハ到底農家ノ生活ノ途ハ立タスト云フコトヲ確信シテ居ルモノデアルカラシテ此點ニ付テ何カ御考ガアルナラバ幸ヒ好イ機會デアリマスカラ御伺ヒ致ス次第デアリマス

○井上國務大臣 只今ノ繭ガ下リ、米ガ下ル、是ハ可ナリ異常ナ低落デゴザイマス、隨テ此原因カラ來マス問題ニ付テハ實ニ農家ノ今日ノ狀態ハ誰モ考ヘナクテハナラス、併ナガラ此點ニ付テハ米穀法ヲ運用スルト云フヤウナコトモ一案デアラウト思ヒマスガ、私ガ考ヘテ居リマスコトハ今ノ東君ノ云フヤウナ工合ニ公課ノ高イト云フコト農村ガ今日ノ農產物、殊ニ繭、米ノ下ッタル狀態カラ割出シマシタラ高イト云フコトハ議論ナカラウト思ヒマス、之ヲ下ゲ得ルカト云フト、下ゲルコトヲ努力ナクテハナラスガ、サウ中々急激ニ農家ノ負擔ヲ輕クスルト云フコトハ——努力センケレバナラス、勿論此點ハ政治ノ要點デアリマスカラ努力センケレバナラスガ、中々急ニハ行カヌ、併ナガラ只今言フ如ク借金ノ利息ヲ成タケ整理シテ負ケテヤルト云フコトハ一方カラ言ヘバ一時的デアアルガ、根本的ニハ私ハ非常ニ必要ナコト、實ハ考ヘテ居リマス、四十億アリマスカ、三十五億アルカ存ジマセヌガ農村ノ金利ノ高イモノヲ拂ッテ居ルト云フコトヲ考ヘテ見マスト、是ガ少シヅ、デモ下ゲ得ルナラソレハ非常ニ農村ニ對シテハ私ハ福音デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ所ニ根本的ノ整理ガ出來ルノデヤナイカ、ソレカラ只今云フ

公課ノ高イコトハ他ノ委員會ニ於キマシテモ非常ナ問題デアリマシタガ、地方稅ノ整理ト云フヤウナコトハ是ハ當然圖ラナケレバナラスコトデアリマシテ、昭和六年度ニ一體ドレダケノ效果ガ舉ガルカ知ラヌガ吾々ハ大ナル決心ヲ以テ中央地方ニ對シテ全體の二一ツ稅ノ更正ヲ圖リ、又地方稅等ニ付テハ殊ニ注意シテ一ツ調査研究シテ見ヨウと思ッテ居ル所ハ、サウ云フ所ニアリマス次第デアリマス、大體ニ東君ノ言ハレルコトニ付テハ私ハ憂ヲ同ジクシテ居ル者デアリマスカラ、段々サウ云フ途ニ對シテ努力センケレバナラスコトハ當然ノ儀ト考ヘテ居リマス

○東委員 私ハ此以上伺フ必要ハアリマセヌガ、唯最後ニドウカ之ヲ眞ニ眞面目ニ御考ヲ願ッテ、サウシテ此對策ヲ考究セラレンコトヲ此機會ニ申上ゲテ私ノ質問ヲ打切りマス

○西村委員長 胎中君

○胎中委員 私ハ內務大臣ニ御伺シタイト思ヒマスガ、委員會ハ食事モセヌデ繼續シマスカ

○西村委員長 モウ少シ八時位マデ繼續シタイト思ヒマス、アナタノ御質問ダケ一ツ……

○胎中委員 大臣ハ何時マデ居リマス

○安達國務大臣 モウ三十分——簡

單ト云フコトデアリマスカラ……

○胎中委員 無論私ハ簡單ニ致シマス、如何ナル場合モ努メテ簡單ニ申シテ居リマス

○安達國務大臣 成ベクナラ今夜御質問ヲ終ヘテ……

○西村委員長 ドウゾ胎中サン內務大臣ニ對スル質問ダケヲ願ヒマス

○胎中委員 先ヅ最初ニ伺ヒタイノハ御承知ノ通り昨年ハ非常ニ農產物ガ下落シ殊ニ米價ガ下落ヲ致シマシタ、因ッテ生ズル所ノ一般農家ノ非常ナ苦痛、ドウ云フ言葉デ申シマスカ或人ハ殆ド死線ニ彷徨シテ居ルト云フ此農家ノ狀態、斯ウ云フ場合ニ無論內務大臣ハ單リ內務大臣トシテバナク、殊ニ私共聞ク所ニ依ルト內務大臣ノ御夫人ハ東京市デアリマセウ、當時困ッテ居ル人々ニ、成ベク安イ米ヲ食ハシテヤリタイ、供給シテヤリタイト云フコトデ、慈善的ノ意味カ、大變御盡力ニナッタト云フコトヲ私共聞イテ居リマス、御夫人ニシテ既ニ左様デアリマスル時ニ、內務大臣ハ地方農村ガ米ノ暴落農產物ノ下落、隨テ米ト云フモノ、價ガ餘リ安過ギル、之ヲドウカシテヤラナケレバナラス、米ノ價ヲモウ少シ何トカ良クシテヤリタイト云フヤウナ御考ヲ無論持タレタコト、思フ、其考ハ進ンデハ其當時ニ於テ積極的ニ農林大臣トモ此米

ニ對スル方策對策ト云フコトニ付テ何カ御相談、御進言、デモナサタ事ガアリマス、之ヲ第一ニ御伺ヒ致シマス

○安達國務大臣 米價ノ下落、農産物ノ下落ト云フコトハ御話ノ通りデアリマシテ、實ニ我國ト致シマシテハ米ガ足リナクテ高クナッテモ困ルシ、又出來過ギテ下落シテモ農民ガ困ル、實ニ米價問題ト云フコトハ我國ノ政治ニ於テ困難ナ問題デアル、私はヨリ難カシイ問題ハナイト考ヘテ居リマス、度々農林大臣ニモ話シ合フ致シタコトハアリマスガ、中々名案ハナイ、前田君ノ際モ吾々在野黨トシテ、今ノ農林大臣ト一緒ニ政府當局ヲ訪ネテ御話シタ事モアリマス、色々考ヘテ見マスガ、中々米價對策ト云フコトハ難カシイ問題

デ、偏ニ是ハ農林省デヤッテ戴カネバナラヌト考ヘテ居リマス、唯先般來問題ニナッテ居リマシタガ、農村ノ救済ノ必要已ムヲ得ザル場合ニ限ッテハ、府縣ガ米穀ヲ買上ゲテ貯藏スルコトヲ得ルト云フコトニ致シタ次第アリマス、ソレカラ又地方ニ依リマシテハ、是ハ知事ノ働キデ、親ヲ買入レル團體ニ付テ補助ヲスルヤウナ事ヲヤッテ居ル次第デアリマス、要スルニ斯ウ云フ問題ハ當面ノ應急策デアッテ、根本的ニ米價問題ヲドウスルトカ云フコトニ付テハ、中々容易ナラザル問題ト考ヘテ居リマ

ス、偏ニ農林大臣ノ御考ニ俟ッテ居ル次第デアリマス、何か話シ合フシタコトガアルカト強ヒテ御尋デアレバ、今ノヤウナ事ヲ致シタト茲ニ申上ゲル外ハアリマセヌ

○胎中委員 今ノ御答辯ニ依リマスルト、農家ガ非常ニ困ッテ居ルカラ、此米價問題ニ付テ農家ガ立行クヤウニト心配ヲナサタト云フ風ニ了解シテ宜シイト思フ、ソコデ私共斯ウ思フ、ソレハ洵ニ結構ナ事デアル、ケレドモ私共ノ眼カラ見ルト、内務大臣ノ今ノ御答辯以上ニ非常ニ御苦心ノ點ヲ發見スル、ソレハドウカト云フト、御夫人ハ都市ニ於テ成ベク安イ米ヲ貧民階級ニ供給シテヤリタイト云フ、内務大臣ハ地方農村ノ生産者ノ米ヲ成ベクモット

値ヲ上ゲテヤリタイ、斯ウ云フヤウナ形ニ現ハレテ來テ居リマスカラ、此間ノ内務大臣ノ御苦心ハ察スルニ餘リアルト思フ(笑聲)

○安達國務大臣 何程アルカト云フ件

○胎中委員 必シモ的確ナ數字ヲ要トシマセヌガ、併シ大要ハ御判リデゴザイマセウ、ソレヲ一寸伺ヒタイ

○安達國務大臣 數十件位アルト云フコトデアリマス

○胎中委員 其點モ此處デ突然ニ御聽キスルノハ無理ト思ヒマスカラ、數十件デモ宜シイ、ソコデ私共ハ——是ハ獨リ私ノ考デハナイ、既ニ當時新聞等ニ於テモ發表サレマシタシ、世ノ中人モ非常ニ此點ニ目ヲ注イデ居ッタ、サウ云フ風ニ各地方カラ、無論米ノ問題ガ主デアリマスルガ、ソレ以前ニモ農家ノ收入減、農産物ノ下落ニ依ル其苦痛カラ、當局ニ屢、陳情ニ參ラウトシタ、其陳情ニ參ラウトスル時分ニ、或ハ其縣ニ於テ、或ハ或ル箇所ニ於テ、或ハ東京ノ入口ニ於テ屢、是等ノ陳情者ガ、内務當局ノ力ニ依ッテ——私ハ必

シモ之ヲ壓迫ト云ッテ宜イカ惡イカハ知リマセヌガ、兎ニ角或ル種ノ力ヲ以テ、是等ノ陳情者ノ上京スルコトヲ阻ンダト云フコトヲ聞イテ居リマスルガ、果シテ其事實アリヤ否ヤ、御答辯ヲ願ヒタイ

○安達國務大臣 陳情者ノ上京スルノヲ拒ンダト云フ事ハナイト考ヘマス、多數或ハ上ッテ來ルヤウナ場合ニ、其人

員ヲ制限シタヤウナ事ハアルカモ知レマセヌガ、陳情者ガ態、上京スルノヲ、ソレヲ阻止シタト云フ事ハ承ッテ居リマセヌ

○胎中委員 是モ此處デ其事實ヲ指摘シテ兎ヤ角言フ程ノ事ハナイ、唯關聯シテ私ハ之ヲ聽イテ置ケバ宜シイノデアリマス、其程度デソレハ宜シイ

次ニ御尋申シタイノハ内務大臣ガ過般我等ノ同僚原惣兵衛君ノ質問ニ答ヘラレマシタ其一目、即チ府縣債ヲ起シテ米ノ買入ヲ爲サシムル、是ハ内務當局トシテ、地方農村ノ米作者ガ非常ニ困ッテ居ル、之ヲ何トカシテ緩和シ、救ウテヤル一ツノ方法トシテスルノデアアル、斯ウ云フ御答ガアッタ、ソコデ原惣兵衛君ハ其内務大臣ノ御答ニ對シテ、今日ノ府縣ノ財政ト云フモノハ非常ニ窮迫シテ居ル、此窮迫シテ居ル府縣ニ向ッテ府縣債ヲ許スト云フ事ニナレバ、ソレハ非常ナ不安ヲ感ジハセヌカ、斯ウ云フ事ヲ御尋シタ、サウス

ルト此質問ニ對シテ内務大臣ハ、府縣ニ金ヲ貸スト云フ事ハ絕對ニ安心デアルト云フコトヲ仰シヤッタ、ソコデ私ハ更ニ御伺フ致シタイ、現内閣ハ七千萬圓ノ金ヲ以テ農村救済資金ヲ融通スルト云フコトデアリマスルガ、之ヲ以テ農村ヲ救済スルト云フコトデアルナラバ、何故一樣ニ各府縣ニ向ッテ同一

ノ態度ヲ御執リニナラナイカ、ソレハ何デアルカト云フト、神奈川縣ノ如キハ現ニ縣ノ收入ガ非常ニ減ジテ金ガ集マラス、ソコデ縣當局ニ於テモ財政上困ツタカラシテ、約百四五十萬圓ノ縣債ヲ起サウトシテ之ヲ願出タ、所ガ大藏當局ニ於テハ非常ニヤカマシイコトヲ言ッテ、色々ナ條件ヲ付ケテ容易ニ貸サナイ、ソコデドウスルカト云フト、今度ハ從來政府ガ貸付ケテアリマシタ所ノ低利資金ノ利息ヲ強制的ニ徵收スルト云フコトデアリマス、此事ガアリマ

シテ考ヘマスル時ニ、私共ハ神奈川縣若シ神奈川縣同様ナ差別ヲ受ケテ居リマスル他ノ府縣ガアルト致シマシタナラバ、神奈川同様ニ非常ナル差別的ノ待遇ヲ受ケテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマスガ、内務大臣ハ此點ニ付テ如何ニ御考ニナリマスカ

所ガ預金部ノ方ノ申分ハ、預金部ハ先ヅ銀行ト同ジヤウナ性質ノモノデア

コトデ、ドウシテモ承知シテ貰ヘナカッタノデアリマス、内務省ト致シマシテハ、是非ドウニカシテ貰ヒタイト云フコトヲ幾度トナク大藏省ノ方ヘ御頼ミシタノデアリマスガ、ドウモソレガ意ノ如ク參リマセンカッタコトハ、内務省トシテハ非常ニ迷惑ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、以上申上ゲマスヤウナ次第デアリマス

○安達國務大臣 神奈川縣ノ財政ノ疲弊シテ居ルコトハ私モ大體承知致シテ

居リマシテ、絶エズ同情ヲ以テ考ヘテ

○胎中委員 要スルニ此七千萬圓ニ致

スルコトニ依ッテ神奈川縣デハ非常ナ混雜ヲ致シテ居リマシテ、今尙ホ是ハ解決シテ居ラス、神奈川縣モヤハリ政府御所管ノ一地方デアリマス、大キク言ヒマスルナラバヤハリ等シク陛下ノ赤子デア、是ガ非常ニ窮迫シテ居テ、サウシテ等シキ恩恵ヲ受ケヨウト致シマスル時ニ、差別的ノ待遇ヲ爲サ

ハ地方局長カラ御答致シマス

居ル金ヲ返セナイト云フノハ實際財政

アリマス、詰リ政治的ニ見テ現在ノ農

○次田政府委員 神奈川縣ニ農村山村

居ナイ町村ニ對スル分——是ハ縣ヲ經

サウ云フヤウナ何カ規定ガアルトカ

ラウト云フノデア、私ノ聞ク所ニ依レバ他ニモ六七縣アルヤウニ聞イテ居リマスルガ、私共ノ最モ能ク知ッテ居ル神奈川縣カラ見マシテモ、此一ツノ事實ガアリマスル時ニ、曩ニ原惣兵衛君ノ質問ニ對シテ、七千萬圓ノ金ヲ融通スル、府縣債ヲ許シテ之ニ貸ス、原君ハ曰ク、府縣ニ金ヲ貸スト云フコトハ不安デハナイカ、不安デナイ、極メテ安全ダ、斯ウ云フ御答辯ト對照致シマ

ハ地方局長カラ御答致シマス

ト云フコトニナッテ居リマスルノデ、其

○安達國務大臣 今農林大臣ノ御話ニ

依リマスルト、其後段々諒解ガ付イテ
居ルト云フコトデアリマス——内務省
ト致シマシテハ今地方局長ガ御答致シ
マシタヤウニ、サウ云フ所ハ全然アナ
タノ御話ト同様ニ極力ニマデモ努メテ
居リマスシ、將來モ努メル積リデアリ
マス、唯預金部委員會ト云フモノガア
リマス爲ニ其處ノ關門ヲ通過シナケレ
バナラナイカラ若干ノ時日ヲ要スルコ
トデアリマスカラ、是ハ農林大臣ト共
ニ私モ特ニ努力ヲシヨウト考ヘテ居リ
マス

○胎中委員

ドウモ私ハ只今私ガ質問
致シマシタ御答トシテハ不満足デアリマ
ス、内務省デハ失業救済モヤルデセウ、
要スルニソレ等トテモ畢竟スルニ政治
的ノ意味ヨリシテ初メテ發動スルモノ
デアリ、他ノ事ハ姑ク措イテ、此七千
萬圓ト云フモノハ、其意味デ發動致シ
タモノデアルトスレバ、假令預金部ノ
方デサウ云フヤウナコトガアリマセウ
トモ、若シソレ等ノ障礙ノ爲ニ其恩惠
ヲ受ケナイモノガアルト云フナラバ、
之ニ對シテ相當執ルベキ所ノ途ガナケ
レバナラス、是ハ極メテ明瞭デアラウ
ト思フ、デアリマスカラシテ、若シサウ
云フヤウナ恩惠ヲ受ケ得ナイモノニ對
シテハドウ云フ御處置ヲ以テ其目的ヲ
達セラレカト云フコトヲハッキリ御
伺ヒ致シタイノデアリマス

○町田國務大臣

内務大臣カラ改メテ
御答辯ガアルカモ知レマセヌガ、私ノ
今執リツ、アル七千萬圓ノ貸出方法ニ
付テハ、胎中君ノ御尋ノ通り、農林省
トシテハ、御承知ノ通り此低利資金ハ
或ハ三五厘ト云フ國庫ガ多少補助ヲ
シテモ安クヤルト云フ形式ニ出テ居
ル、今ノ時局ニ對シテハ相當效果ノアル
方法ト考ヘテ居リマス、ソコデ預金部
ニ對シテハ、各府縣ノ割當ヲ農林省ガ
取調ベテ差出シタ時ニ、從來低利資金
ガ行ッテ居ル府縣ノ中ニ、マダ從來ノ利
息ヲ拂ハヌヤウナ縣ニ對シテハ、如何
ニシテモ預金部委員會ガ承認ヲセスト
云フコトデアリマシタ、其縣ハ今係ノ
方ニ問合ハサシテ居リマスガ、單リ神
奈川縣ノミナラズ、タシカ静岡縣、其
他七八縣アリマシタ、併シ其金高ハ今
御話ノ通り静岡縣ナドハ僅カデアッタ
ヤウニ思ヒマシテ、此低利ナ金ヲ得ル
爲ニ拂ッタノデス、拂ッタガ爲ニ此低利
ノ金ガ行クト云フ縣ガ静岡縣初メ相當
アリマシテ、或ハ府縣ノ名前ヲ一々申
上ゲルノハ如何カト思ヒマスガ、相當
十府縣ニ近イモノガアリマシテ、ソレガ
段々解ケマシテ、皆低利資金ガ行クヤ
ウニ相當片付イテ居リマス、神奈川縣
モ私ノ關係シタ限リハ從來ノ滞リヲ整
理シテ、多分最早解決ガ付イテ居ルノ
デハナイカト思ヒマスガ、其點ハハッキ

リシマセヌガ、今取調ベテ居リマス、
若シ不幸ニシテ預金部ガ從來ノ借入金
ニ對シテ利息ガ拂ヘヌト云フ點デ委員
會ガ通り惡イカラ、サウ云フモノハド
ウスルカト申セバ、遺憾デアリマスガ
「委員長退席風見理事著席」

斯様ナ縣ニ對シテハ勸業銀行農工銀行
ノ手ヲ經テ已ムヲ得ズヤルト云フ他ニ
ハ途ガナイ、此低利資金ハヤラスト云
フコトデアリマセヌガ貸出ス形式ガ
府縣デハナク勸業、農工銀行ヲ通シテ、
普通低利資金ガ常ニ通ル所ノ普通ノ道
行ヲ取ラシテ居ル、私共トシテハ之ヲ
勸業銀行農工銀行ノ手ヲ經テ其間ニ多
少ノ手数料ガハイツテハ面白クナイカ
ラ、應急策トシテハ府縣ハ府縣自ラ之
ニ當ッテ出來ルダケ低利デヤリタイト
云フ爲ニ、農林省ノ農村振興費ノ中ヲ
割イテ利息マデモ補助ヲシテヤッテ居
ルト云フ形ノモノガ數府縣アリマス、
ソレ等ガ勸業銀行ノ手ヲ經ズシテ縣廳
直接ニ行クト云フコトノ手續ガマダ濟
マヌデ殘ッテ居ルト思ヒマス、併シ從來
アリマシタヨリ餘程減ッテ只今静岡縣
ナド借入ノ手續ガ濟ンデ居リマス

○胎中委員

只今農林大臣ノ御話デア
リマシタガ、成程勸業若クハ農工銀行
ヲ通シテ借ルト云フ話モ私共聞イテ居
リマシタ、併ナガラ斯ル場合ハ金利ガ
高クナリマス、タシカ五厘カ高クナル、

一體利息モ拂ヘヌト云フノハ拂ヘナイ
ダケノ事情ガアル、ソレダケ多ク打撃
ヲ受ケタ處デアリ、隨テ斯カル犠牲ノ多
イ處ニ向ッテハ、本來政治的ニ一層ノ憫
ミヲ加ヘテヤラナケレバナラス、所ガ
是ガ平等ノ恩惠ニ浴セナイノミナラ
ズ、却テ農相ノ言ハレル通りトシテモ、
マダ神奈川縣ハ解決致シテ居リマセヌ
ガ、假ニ懸テ解決スルトシテモ、其方
法ニ依ルト、平等ノ恩惠ニ浴セズシテ、
高イ利子ヲ拂ハナケレバナラスコトニ
ナル、是デハ七千萬圓ノ融資ヲ發動サ
レタ御趣旨ニ副フマイト思フ、デアリ
マスカラ、先程モ申シマス通り、若シ
預金部ニ於テ困難ナ事情ガアリトスレ
バ、他ノ政治的手段ニ依ッテ平等ノ恩
惠ヲ受ケルヤウナ途ヲ講ジテ貰ヘナイ
カト云フコトヲ御聽キシタイノデアリ
マス

○安達國務大臣

此農林省ノ調ニ依リ
マシテモ、神奈川縣ハソレノ善後ノ處
置ガ進行中デアリマス、此前ノ日曜ニ
横濱デ知事ニ會ッタ時ニモ、未拂ノ處分
モ整理ガ付クト云フコトヲ聞キマシ
タ、今書類ニ依ッテモ進行中デアリマス
カラ、多分好都合ニ運ンデ、アナタノ
御希望ノヤウニナルト思ヒマス
○胎中委員 ソレデハ私ハ斯ウ云フ風
ニ解シテ宜シウゴザイマスガ、神奈川
縣モ他府縣ト同様ノ恩惠ヲ受ケルコト

ニ近ク進ムト解シテ宜シウゴザイマス

○次田政府委員 神奈川縣ノ問題ニ付

キマシテ、内務省ガ骨ヲ折ッテ居ルコトヲ御參考ニ申上ゲマス、神奈川縣ハ震災當時ニ借入レタ低利資金ノ未拂ガアル爲ニ、將來預金部低利資金ヲ貸出シマスニ付テヤカマシイ問題ハ、今度ノ七千萬圓ノ農山漁村失業對策ノ借金ノミナラズ、常ニ起ル問題デアリマス、此點ハモウ數年來内務省ガ惱ミ抜イテ居リマス、現在内務省ガ骨ヲ折ッテ居リマス所ハ、神奈川縣ノ總テノ町村ガ償還能力無シトハ考ヘラレマセヌ、只多クノ町村ハ金ヲ拂フ力、財政上ノ力ガアリマセヌガ、サウ云フ力ガアル所モナイトモ言ヘナイ、ソコデ各町村毎ニ其財政狀態ヲ調べマシテ、ドウシテモ支拂能力ガナイト云フコトデアレバ、是ハ已ムヲ得ナイノデアルカラ、預金部ノ方ニ御願致シマシテ、元利ノ償還ヲ待ッテ貰ヒ、年限ヲ延シテ貰フト云フコトニ致スノデアリマス、即チ今マデ未拂デアッタト云フ形式ガナクナル譯デアリマス、詰リ預金部ノ方デ今マデ未拂ニナッテ居ルモノヲイツノマデ待ッテヤル、十年先マデ待ッテヤルト云フコトニナリマスレバ、現在ニ於テ未拂ト云フモノハナクナルノデアリマス、未拂ト云フモノガナケレバ、預金部ノ

方ニ故障ガ事實上ナクナル譯デアリマス、預金部カラ低利ノ金ヲ融通シ得ルコトニナル譯デアリマス、預金部ノ方デモ非常ニ同情シテ、サウ云フヤウナ方法ヲ以テ他ノ縣同様ニ單リ此處ノ七千萬圓ノ借金ノミナラズ或ハ學校ヲ建タルトカ、用排水ヲ造ルトカ云フヤウナ時ニ、公債ヲ起シマスル際ニハ、ヤハリ預金部カラ他ノ縣同様ニ融通ヲシ得ルヤウニ致シタイト云フ方針ヲ以テ、今ハッキリ申上ゲルコトハドウカト思ヒマスガ、大體預金部ノ方ノ人ノ同情ヲ得マシテ、今頻リニ神奈川縣知事ニ命ジマシテ其町村毎ノ財政狀態ヲ調べテ、ドウシテモ拂ヘナイト云フモノデアルナラバ、拂ヘナイダケノ措置ヲシテ今後ノ借入ノ時ニ他ノ縣同様、他ノ町村同様ニ低利ノ金ヲ借入レルヤウニ致シタイト云フコトデ折角縣廳ノ方デモ取調ベテ居リマスシ、内務省ノ方デモ預金部ノ方ヘ懇願ヲシテ居ルヤウナ狀態デアリマス、ソレガ今ヤッテ居ル事柄デアリマス、左様御諒承願ヒマス

○胎中委員 今ノ御説明デ能ク諒解致シマシタ、併シ一ツ殘ル問題ハ負擔能力ノアル町村ノ識別デアリマシテ、是ハ餘程御考慮ノ上爲サルコトデアルト思ヒマスカラ、當局ニ信賴スル外ハナイ、ソコデ折角ソレ程マデ御心配下サッ

テ居リマスコトデスカラ、必ズ私ノ希望通り行クコト、私ハ信ジマス、唯私ハ此信ズルト云フコトニ依ッテ、サウシテ又今ノ御説明ニ依ッテ神奈川縣モ廳テ他ノ府縣ト同様他ノ市町村ト同様ナル等シイ恩惠ヲ受ケ得ラレルモノデアルト云フコトヲ、此議會ヲ通ジテ神奈川縣ノ縣民ガ知リ得ルコトヲ幸トシテ私ノ質同ハ是デ終リマス

○東郷委員 先程内務大臣ハ米價對策トシテ各府縣デソレト獎勵等ヲヤッテ、粗ノ貯藏等ニ骨折ッテ居ルト云フ御話デアッタト拜承シマシタ、ソレハ過日農林省カラ同ジヤウナ御話ガアリマシタ際ニ承ッタノデスガ、大體二ツニ別ケテアルヤウデス、府縣ニ於テ利子ノ補給ヲシテ粗ノ貯藏ヲサセル、ソレカラ府縣ニ於テ獎勵金ヲ交付シテ粗ノ貯藏ヲサセルモノト二種類アルヤウニ思ヒマスガ、先程内務大臣ノ仰セニナッタノハサウ云フ意味ノ御話デアリマシタラウカ、一寸御伺致シマス

○安達國務大臣 利子ノ補給及ビ獎勵金ト云フコトハ府縣知事限リデヤルコトデアリマシテ、是ハ内務省ヨリモ却テ農林省ノ方ニ詳シイコトガ分ッテ居ルト私ハ思ッテ居リマス

○東郷委員 サウスルト是ハ内務省デ御關係ニナッテ居ル譯デアリマセヌカ、利子ノ補給、ソレカラ獎勵金ヲ交付シテ粗ノ貯藏ヲヤッテ居ルト云フコトハ……

○安達國務大臣 大體ノ監督ハ致シテ居リマスガ、其詳シイコトハ、農林省ノ方ニ判ッテ居リマス

○東郷委員 ソレデモウ宜シウゴザイマス

○西村委員長 内務大臣ノ方ハ是デ宜シウゴザイマスネ

○松山委員 今理事ガ向ウデ、今晚デ打切ルカドウカト云フコトヲ相談シテ居ルヤウデアリマスカラ、其上デ私ハ致シタイト思ヒマス

○西村委員長 一寸此儘御待ヲ願ヒマス——ソレデハ大變長時間ノ間御願シマシテ、洵ニ相濟ミマセヌ、最早八時ニモ近ウゴザイマスカラ、今夕ハ是デ散會シマシテ、明後二日午前十時カラ開會スルコトニ致シマス

午後七時五十一分散會